



地区要覧

1986～87年度 国際ロータリー第251地区

ガバナー 三浦 祐晶

地区要覧の刊行にあたって

国際ロータリー第251地区

1986～87年度ガバナー

三 浦 祐 晶

わが第251地区では毎ロータリー年度における各種記録を総括編集して刊行するのが恒例になっております。これは1981～82年度の佐久間三八ガバナーが、その前年度の地区幹事であった故藤田芳英氏の収集した記録を受け継いで、地区の歴史その他それ迄の約5年間の地区の資料を整理して『地区要覧』として発行されたのがはじまりで、爾後1年毎に編集刊行されて本号が6冊目にあたるわけであります。この地区要覧は地区の1年間の活動状況を正確な記録として記載して次年度に引き継ぐもので、次期ガバナーならびに地区役員にとって大いに参考になるとともに、地区の歴史として後世に残る貴重な資料であります。本年度もこの趣旨に基づいて、地区役員の方々のご協力のもとに、地区事務所スタッフの総力を挙げて編集にあたり、漸く完成をみるに至りました。今度の地区要覧が従来のもとはやや異なる点は、単なる記録の羅列がややもすれば無味乾燥に流れがちになるのを避けて、地区委員会の各委員長の報告を取り入れ、また1年間の地区行事のスナップ写真を適宜選んで掲載してみました。この試みの可否については大方の各位のご批判に俟ちたいと考えております。

さてこの1年、カパラス会長のテーマ「ロータリーは希望をもたらす」のもとに、地区として7項目の重点目標を掲げて各クラブにその達成を呼びかけて参りましたが、幸いに各クラブのご理解とご支援を得て、おおよそ満足すべき

成果が得られたように思われます。特に本年度から本格的にはじめられたポリオ・プラス計画に対する醸金については、地区としての年度の目標額を越えることができました。これひとえに地区内ロータリアンの温かいご協力によるものであり、誠に感謝に堪えません。心から御礼申しあげます。反面年度内において新クラブの結成をみることはできませんでしたし、また会員増強も総体的に純増3%の目標に及ばなかったことは、地区全地域における構造的不況、主要産業の衰微、人口の減少という悪条件下にあったとしても、やはりガバナーとしての責を果たし得なかったものであり、慚愧の念に堪えないものがあります。しかし振り返ってみると、地区の至る処でロータリーの好意と友情に出合い、多くの知己を得て親睦を深めることができたのは幸甚の至りであります。本当にありがとうございました。

終りに皆様の方のご健勝とご多幸をお祈りして筆を擱く次第であります。

地区要覧目次

1. 地区の現勢

(1) 国際ロータリーのテーマ	1
(2) 地区運営方針と重点目標	2
(3) 地区組織図	3
(4) 分区編成・分区代理・クラブ会長・幹事一覧表	5
(5) クラブ別会員数の推移	6
(6) クラブ別年間出席率一覧表	7
(7) 地区ガバナー指名委員会規定改正	9

2. 地区内行事

(1) 地区大会	10
(2) 地区協議会	12
(3) クラブ会長エレクト研修セミナー	12
(4) 都市連合討論会（分區別 I G F）	12
(5) カパラス R I 会長歓迎合同例会	13
(6) ガバナー公式訪問日程表	14
(7) ガバナー公式訪問に関するお願い	15

3. 地区委員会報告

(1) 地区諮問委員会	17
(2) ガバナー指名委員会	17
(3) 分区代理会議	18
(4) 地区委員長会議	19
(5) 地区大会委員会	19
(6) クラブ奉仕委員会	20
(7) 職業奉仕委員会	21
(8) 社会奉仕委員会	21
(9) 国際奉仕委員会	22
(10) 国際共同委員会	22
(11) 青少年交換委員会	22
(12) 世界社会奉仕委員会	25
(13) 青少年奉仕委員会	27
(14) インターアクト委員会	27
(15) ローターアクト委員会	28
(16) 広報委員会	29
(17) 増強・拡大委員会	29
(18) ロータリー財団委員会	30
(19) 奨学生・学友委員会	30
(20) G S E 委員会	31
(21) ポリオ・プラス委員会	31
(22) 米山記念奨学会委員会	32
(23) 情報資料室	33

4. 青少年奉仕

(1) 青少年指導育成研修会	35
(2) インターアクト	37
(3) ローターアクト	39

5. 国際奉仕

(1) 地区内クラブの海外姉妹提携状況	41
(2) 海外地区との姉妹提携状況	41
(3) 青少年交換学生	42
(4) 地区世界社会奉仕(WCS)プロジェクトの参加状況	43
(5) 災害見舞	44

6. ロータリー財団

(1) 財団への年間寄付一覧表	45
(2) ポリオ・プラス寄付一覧表	46
(3) スター・フェロー	47
(4) ポール・ハリス・フェロー	47
(5) ポール・ハリス・準フェロー	48
(6) メモリアル・コントリビューター	48
(7) ポリオ・プラス協力法人	48
(8) ロータリー財団奨学生	49
(9) その他	50

7. 米山記念奨学会

(1) 米山記念奨学会寄付金納入明細表	51
(2) 米山奨学生	53
(3) 米山功労者	54
(4) 米山功労クラブ	54
(5) その他	54

8. 情報資料室

(1) 『情報資料室ニュース』各号の主な内容	55
(2) 備え付け貸し出し資料	56

9. 地区資金収支決算書

(1) 一般地区資金	59
(2) 特別地区資金	60
(3) 監査報告	60

10. その他

(1) 地区外公式行事	61
(2) 海外地区並びにクラブからの来信	62
(3) 記念式典開催状況	63
(4) 物故会員	64
(5) 地区内各月実施行事内容	65
(6) 表彰	69
(7) 『ガバナー月信』各号の主な内容	72
(8) 地区刊行物について	74
(9) その他	74
(10) ガバナー事務所	75

1. 地区の現勢

(1) 国際ロータリーのテーマ



RI会長 マテオ・マット・カパラス

ロータリアンの皆さん：

私達が友情を求めて入会したロータリーは大きな躍動的な力であります。ロータリーは、さまざまな形の奉仕を通じて、80年以上にわたって、貧しき人、障害のある人、失意の人の生活に手をさし伸べてまいりました。多くの時と場所で、ロータリーは、飢えた人にとって食糧であり、渇きに苦しむ人にとって貴い清浄な水であり、幼児にとって健全な未来であり、孤独な人にとって慰めであり、若い人にとってより輝ける幸せな世界であり、人生のたそがれにある人にとって光を与える存在でありました。かくして、ロータリーは、世界の多くの人々に対し、自分や子供達の生活向上の夢が、今まさに遠からず実現されるだろう、と輝かしくすみずみまで届く希望の光となりました。

ロータリーは、クラブの親睦の中に生まれ、職業奉仕にはぐくまれ、社会奉仕で前進し、国際奉仕を通じて発展しましたが、よりよい明日を目ざすこの希望を全人類に分ち合うばかりでなく、100万会員の理想と行動を通じて希望を実現するよう力を尽くしています。さまざまな国で、さまざまな生活環境の中で奉仕するロータリアンはこの希望を、数多くの奉仕という形で表しています——それを求めているすべて

の人々が理解できるような形、また絶望のふちに立つ人々をさえ奮い立たせるような形の奉仕であります。

私達はさまざまな国から集まってきています。言語も文化も異なります。宗教も多種多様です。しかし、それにもかかわらず、私達ロータリアンは、平和への希望において、また、すべての人々のよりよい生活を追求する上において、一つに結ばれています。多様性の中の調和と言ってもよいでしょう——背景や行動様式は異なっても調和があります。同胞に奉仕する方法は様々ではありませんが目的は一つです。私達は、私達の努力を受け継ぎ、希望をはぐくみ、それを実現する後継者のロータリアンと結ばれているように、平和な世界のよりよい生活の希望の灯をともした過去のロータリアンとも奉仕を通じて結ばれています。

ある賢者が言いました。「英知は希望によって測られる」と。さあ、いかなる希望を与えるかによって私達を見てもらいましょう。ロータリーのいう奉仕に積極的に献身し、ロータリーの組織を最大限に活用しましょう。そうすれば世界の人々は間違いなくこう言うでしょう——「ロータリーは希望をもたらす」と。

ROTARY BRINGS HOPE

ロータリーは希望をもたらす

(2) 地区運営方針と重点目標



ガバナー 三 浦 祐 晶

RI会長M.A.T.カバラス氏はアメリカ・テネシー州・ナッシュビルで開催された国際協議会において、“ROTARY BRINGS HOPE”・「ロータリーは希望をもたらす」という国際ロータリーのテーマを発表されました。そしてそのときのスピーチの中で、「希望とはよりよいものへの期待であり、人を動かす光であります。ロータリーはこれまでに非常に多くの国々で、非常に多くの方法で、非常に多くの人々に対して奉仕し、希望をもたらしてきました。私は、皆さんとともに、1986～87年度の希望の担い手の先頭に立ちます。ロータリーを通じてともに追求しましょう、生きがいのある人生を、そして平和な世界を」と力強く呼びかけられました。私は今年度の地区運営方針としてまずこのテーマをかかげて、ロータリー精神を助長し、組織を強化し、運動を拡大することに全力をあげたいと思います。

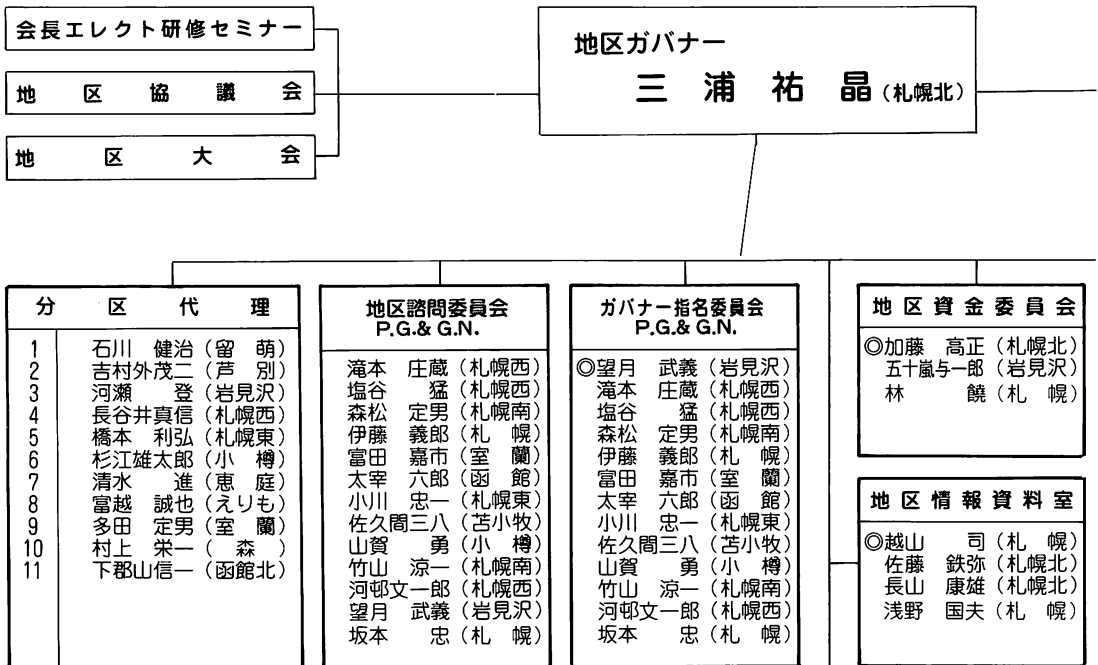
1. ロータリアンであることを自覚し、意欲と情熱をもって実践しましょう。ロータリアンとしての大きな夢と誇りを持ちましょう。
2. 新しい希望の光を、もっと多くの人々に、もっと多くの地域に注ぐために、ロータリーを増強し、拡大しましょう。

3. 例会の出席を奨励しましょう。例会を魅力のある楽しいものとし、お互いの親睦を深め、知己を広める機会にしましょう。
4. 次代を担う青少年の健全育成に努めることはロータリアンの責務です。インターアクト・ローターアクトクラブの結成を提唱し、地域の青少年活動を促進し、青少年奉仕団体への援助を強化しましょう。
5. 高齢者人口が急速に増加しつつある現在、援助を必要としている高齢者の数も増えています。そのような人達への奉仕活動を奨励し、地域における高齢者対策事業に協力しましょう。
6. 国際理解を促進し、国際的な青少年育成に資することの大きい青少年交換を推進しましょう。
7. 財団に対する支援を増大するとともに、ポリオ・プラス計画に協力して全世界の子供達、特に発展途上国の子供達に希望をもたらしましょう。

ロータリーの奉仕活動は、奉仕の精神によって種が播かれ、計画によって花が開き、実行によって実を結ぶのであります。実践のないところに実りはありません。ポール・ハリスは言われました。「ロータリーがわれわれにとってどのような意味があるにせよ、世界の人々はロータリーの実績によってロータリーを知ることになるだろう」と。それを実行するのは私達ロータリアンです。その活動が多くの人々に希望をもたらし、それはまた私達自身にも希望をもたらすのです。

もう一度申し上げます。「ロータリーは希望をもたらす」と。

(3) 1986～87年度 R I 第251地区組織図



地 区			
ク ラ ブ 奉 仕	国 際 奉 仕	青 少 年 奉 仕	広 報
カウンセラー 小 川 忠 一	カウンセラー 塩 谷 猛	カウンセラー 森 松 定 男	カウンセラー 富 田 嘉 市
◎河崎 義章 (小樽銭函) 深林 廣吉 (札幌) 寺沢 栄一 (札幌南) 戸井 康堯 (滝 川)	◎森松 定男 (札幌南) 河邨文一郎 (札幌西) 都留美都雄 (札幌北) 戸部 謙一 (札幌西) 石井福八朗 (札幌西) (国際共同委員会) ◎河邨文一郎 (札幌西) 森松 定男 (札幌南) 望月 武義 (岩見沢) 久郷 昌夫 (札幌) (青少年交換委員会) ◎都留美都雄 (札幌北) 田中 宏 (札幌北) 長沢 祐紀 (札幌東) 岩瀬 一郎 (札幌手稲) 洪谷 雄也 (札幌西) 松本 修 (函館北) 大坂 忠 (札幌手稲) (世界社会奉仕委員会) ◎戸部 謙一 (札幌西) 原崎 博 (札幌南) 石井福八朗 (札幌西) 指川 健 (真駒内)	◎高田 春夫 (札幌南) 田中 公 (札幌東) 宮沢 正 (札幌北) 神代 利臣 (札幌南) 谷口 良一 (札幌北) (インターアクト 委員会) ◎田中 公 (札幌東) 遠藤 広雄 (室蘭東) 土合 和英 (登 別) 秋山 孝二 (札幌) 内村 久吾 (岩見沢) 松浦 百秋 (五稜郭) (ローターアクト 委員会) ◎宮沢 正 (札幌北) 斎藤 紀一 (函館北) 千田 一彦 (岩見沢) 梅庭 昭寛 (岩 内) 楠本 誠治 (伊 達) 相馬 寛 (赤 平) 加藤 一夫 (札幌西)	◎富原 巖 (札幌) 山本 達雄 (札幌) 渡辺喜久雄 (札幌)
職 業 奉 仕			
カウンセラー 佐久間 三 八			
◎船本 達世 (真駒内) 新見 健 (蘭 越) 村田 吉隆 (深 川) 土谷 茂樹 (江 別)			
社 会 奉 仕			
カウンセラー 竹 山 涼 一			
◎宮崎 善夫 (苫小牧) 関寺 恭朗 (苫小牧北) 戸田 紀夫 (当 別) 宇佐美定男 (新札幌)			

ガバナーノミニー

坂本 忠（札幌）

国際ロータリー理事

伊藤 義郎（札幌）

地区大会委員会

委員長 佐藤 鉄弥（札幌北）
副委員長 高倉勤次郎（札幌北）
〃 長村 和雄（札幌北）
幹事 近藤 良一（札幌北）
S. A. A. 村川 舜一（札幌北）
会計 加藤 高正（札幌北）

地区幹事・会計

幹事 秦泉寺 寛（札幌北）
副幹事 近藤 良一（札幌北）
〃 葛西 克己（札幌北）
〃 金田 弘夫（札幌北）
〃 堀居 信次（札幌北）
〃 越山 文哉（札幌）
会計 茂木 常一（札幌北）

ロータリーの友委員会

委員
岡崎 純（札幌西）

米山記念奨学会

理事
森松 定男（札幌南）

委員会

増強・拡大	ロータリー財団		米山記念奨学会
カウンセラー 竹山 涼一 河邨 文一郎 望月 武義	カウンセラー 山賀 勇	カウンセラー 河邨 文一郎	カウンセラー 望月 武義
◎白石 欽一（札幌手稲） 石川 健治（留萌） 吉村外茂二（芦別） 河瀬 登（岩見沢） 長谷井真信（札幌西） 橋本 利弘（札幌東） 杉江雄太郎（小樽） 清水 進（恵庭） 富越 誠也（えりも） 多田 定男（室蘭） 村上 栄一（森） 下郡山信一（函館北）	◎西條 正博（札幌） 上井 鉄造（札幌西） 藤林 幸廣（札幌西北） 光銭 吉郎（函館東） （奨学生・学友委員会） ◎石垣 博美（札幌西） 金岡 祐一（札幌北） 浜口 貞雄（小樽南） 坂本 英治（室蘭北） （G.S.E.委員会） ◎小林 博（札幌北） 大久保五郎（札幌北） 根田 満（岩見沢）	（ポリオ・プラス委員会） ◎西條 正博（札幌） 上井 鉄造（札幌西） 光銭 吉郎（函館東） 坂本 英治（室蘭北） 根田 満（岩見沢）	◎斎藤 久名（札幌西） 三谷栄四郎（岩見沢） 市川 芳夫（函館北） 富樫 英治（札幌南） 笹原 克己（札幌西）

(4) 分区編成・分区代理・クラブ会長・幹事一覧表

分区	分区代理	クラブ名	会 長	幹 事	分区	分区代理	クラブ名	会 長	幹 事
1	石川 健治 (留 萌)	深 川	滝井 肇	林 正衛	6	杉江雄太郎 (小 樽)	小 樽 銭 函	佐々木康使	六条 祐二
		羽 幌	佐藤 猛	山本三次郎			蘭 越	吉崎 重仁	本間 義明
2	吉村外茂二 (芦 別)	妹 背 牛	佐藤 義明	菊入 崇之	7	清水 進 (恵 庭)	余 市	森 保一	長谷川栄治
		小 平	角谷 丞司	木下 昭一			千 歳	斎藤 公彦	佐藤 秀雄
3	河瀬 登 (岩見沢)	留 萌	二ノ宮節雄	井内 球雄	8	富越 誠也 (えりも)	恵 庭	弘中 正利	藤井 哲夫
		赤 平	柿沼 利雄	藤田 豊彦			北 広 島	加藤 寛治	鈴木 政夫
4	長谷井真信 (札幌西)	芦 別	大鎌 幸雄	青井 慎介	9	多田 定男 (室 蘭)	白 老	山川 力男	村上 和義
		砂 川	岩田 晟	山下 真史			苫 小 牧	吉鶴 松生	尾野 信夫
5	橋本 利弘 (札幌東)	滝 川	種田 良一	吉田 正治	10	村上 栄一 (森)	苫 小 牧 北	今井 重行	赤羽 喜六
		美 唄	岸山 皓次	馬場 敏			え り も	植木美代治	吉田 秀人
6	杉江雄太郎 (小 樽)	江 別	細田 正次	瀬川 榮一	11	下郡山信一 (函館北)	三 石	佐々木初之助	清水 道雄
		岩 見 沢	長谷川暢一	向田 甚市			様 似	酒井克比古	加藤 鉄二
7	河瀬 登 (岩見沢)	岩 見 沢 東	竹山 俊男	山口 宏道	12	函 館	静 内	高橋 正亘	蚊野 好美
		栗 沢	中村 一二	阿部 昭作	13	函 館 亀 田	浦 河	川越 清行	工藤 一雄
8	長谷井真信 (札幌西)	栗 山	金崎 哲也	高林 茂保	14	函 館 森	伊 達	稀玉 祐右	川南 忠三
		当 別	岡田 泰紀	平出理三郎	15	函 館 北	室 蘭	阿部 昭治	工藤 進
9	橋本 利弘 (札幌東)	札 幌	柿本 胤二	田上 健蔵	16	函 館 東	室 蘭	勝谷 亘	天谷 富雄
		札 幌 西	平佐 忍	北島 清	17	函 館 南	室 蘭	下地 晋	斎藤 泰成
10	杉江雄太郎 (小 樽)	札 幌 手 稲	亀卦川満男	梅田 恒	18	函 館 北	登 別	堂谷 一雄	吉田 亨
		札 幌 北	洪 悦郎	佐藤 章	19	函 館 南	洞 爺 湖	深山 和圀	渡辺 良方
11	橋本 利弘 (札幌東)	札 幌 西 北	須田 清勝	竹林 照格	20	函 館 南	函 館 南	深瀬 寛	渡辺 靖夫
	杉江雄太郎 (小 樽)	札 幌 南	菊池 正巳	村田 長市	21	函 館 東	函 館 南	坪山 元彦	安達 智紀
12	橋本 利弘 (札幌東)	札 幌 東	大谷 輝雄	丹田 均	22	函 館 東	函 館 東	岩田 卓一	湊 輝夫
	杉江雄太郎 (小 樽)	札 幌 幌 南	今崎 孝俊	関 正明	23	函 館 北	七 飯	美村 文雄	西谷 雅行
13	橋本 利弘 (札幌東)	札 幌 真駒内	金井 義司	神谷 英光	24	函 館 南	長 万 部	田中 敏夫	荒木 紀一
	杉江雄太郎 (小 樽)	新 札 幌	綱木 秀松	小野 修	25	函 館 南	江 差	田村 巖	田村 智
14	橋本 利弘 (札幌東)	岩 内	篠崎 俊雄	加藤 安敏	26	函 館 南	函 館 南	渡辺 泰峰	浜野 達夫
	杉江雄太郎 (小 樽)	俱 知 安	原 実	宗像 直孝	27	函 館 南	函 館 南	宮崎 安吉	小野 孝良
15	橋本 利弘 (札幌東)	小 樽	野口 信夫	吉村 克之	28	函 館 南	函 館 南	沢田 鶴造	石橋 輝男
	杉江雄太郎 (小 樽)	小 樽 南	野村 定玄	山谷 隆平	29	函 館 南	函 館 南	桑田 治	福原 栄市

注：赤平RCとえりもRCは年度中に幹事の異動があった。

(5) クラブ別会員数の推移

分 区	ク ラ ブ 名	会 員 数(名)			分 区	ク ラ ブ 名	会 員 数(名)			
		期 首	期 末	増 減			期 首	期 末	増 減	
1	深 川	71	72	+ 1	6	蘭 越	24	23	－ 1	
	羽 幌	41	44	+ 3		余 市	47	46	－ 1	
	妹 背 牛	20	18	－ 2		小 計			368	378
	小 平	10	10	0	7	千 歳	93	101	+ 8	
	留 萌	106	112	+ 6		恵 庭	41	45	+ 4	
小 計			248	256		+ 8	北 広 島	24	22	－ 2
2	赤 平	49	48	－ 1		白 老	28	29	+ 1	
	芦 別	55	56	+ 1		苫 小 牧	78	83	+ 5	
	砂 川	62	64	+ 2	苫小牧北	65	70	+ 5		
	滝 川	90	89	－ 1	小 計			329	350	+21
小 計			256	257	+ 1	8	え り も	23	23	0
3	美 唄	42	46	+ 4	三 石		19	21	+ 2	
	江 別	84	79	－ 5	様 似		35	37	+ 2	
	岩 見 沢	82	86	+ 4	静 内		50	57	+ 3	
	岩見沢東	32	37	+ 5	浦 河		48	50	+ 2	
	栗 沢	46	49	+ 3	小 計			179	188	+ 9
	栗 山	57	55	－ 2	9	伊 達	62	63	+ 1	
当 別	36	38	+ 2	室 蘭		99	101	+ 2		
小 計			379	390		+11	室 蘭 東	65	63	－ 2
4	札 幌	155	157	+ 2		室 蘭 北	57	61	+ 4	
	札 幌 西	133	139	+ 6		登 別	48	48	0	
	札 幌 手 稲	66	70	+ 4	洞 爺 湖	19	18	－ 1		
	札 幌 北	99	100	+ 1	小 計			350	354	+ 4
	札 幌 西 北	50	53	+ 3	10	函 館	119	119	0	
小 計			503	519		+16	函 館 亀 田	48	49	+ 1
5	札 幌 幌 南	131	137	+ 6		森	32	32	0	
	札 幌 東	143	141	－ 2		七 飯	32	32	0	
	札 幌 南	100	99	－ 1		長 万 部	23	22	－ 1	
	札幌真駒内	48	52	+ 4	小 計			254	254	0
	新 札 幌	40	43	+ 3	11	江 差	28	30	+ 2	
小 計			462	472		+10	函館五稜郭	57	59	+ 2
6	岩 内	54	54	0		函 館 東	76	68	－ 8	
	俱 知 安	40	43	+ 3		函 館 北	62	62	0	
	小 樽	106	110	+ 4		松 前	12	13	+ 1	
	小 樽 南	77	82	+ 5	小 計			235	232	－ 3
	小 樽 銭 函	20	20	0	合 計			3,563	3,650	+87

(6) クラブ別年間出席率一覧表

分区	月 クラブ名	1986年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	1987年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	年 間 平均(%)	会員数(名) 期首 期末
1	深 川	93.12	90.79	95.00	93.93	91.07	86.43	91.43	88.21	88.37	88.81	90.68	85.87	90.31	71 72
	羽 幌	90.73	90.86	93.29	91.47	94.51	88.37	90.70	86.05	78.49	75.81	84.56	90.34	87.93	41 44
	妹 背 牛	85.00	86.25	81.66	88.00	86.25	93.75	90.55	92.59	93.05	88.88	94.44	94.44	89.57	20 18
	小 平	84.00	82.50	87.50	82.50	90.00	85.00	90.00	80.00	85.00	97.50	96.00	92.50	87.71	10 10
	留 萌	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	106 112
小 計		90.57	90.08	91.49	91.18	92.37	90.71	92.54	89.37	88.98	90.20	93.14	92.63	91.11	248 256
2	赤 平	89.60	88.29	91.66	90.06	85.93	84.70	88.90	95.13	95.35	89.89	90.07	90.18	89.98	49 48
	芦 別	100	100	99.53	100	100	100	98.14	99.54	98.65	98.58	97.52	94.20	98.85	55 56
	砂 川	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	62 64
	滝 川	90.61	91.14	92.00	90.49	92.10	91.00	88.00	92.24	90.52	85.30	93.10	95.56	91.01	90 89
小 計		95.05	94.86	95.80	95.14	94.51	93.93	93.76	96.73	96.13	93.44	95.17	94.99	94.96	256 257
3	美 唄	95.19	98.78	96.34	97.62	95.24	96.02	93.28	97.16	95.62	96.66	98.35	98.37	96.55	42 46
	江 別	85.06	88.96	85.97	87.61	87.91	89.37	92.14	89.61	90.00	88.09	90.81	89.08	88.72	84 79
	岩 見 沢	94.82	93.60	90.19	95.17	96.85	96.31	94.66	94.60	96.36	94.25	94.73	94.60	94.68	82 86
	岩見沢東	100	97.65	96.89	94.84	95.58	96.07	92.35	94.44	92.05	95.19	92.79	94.04	95.16	32 37
	栗 沢	93.36	95.11	88.04	93.48	91.85	98.70	94.02	91.90	92.27	92.29	90.38	87.20	92.38	46 49
	栗 山	94.23	93.83	93.87	93.87	92.93	96.22	94.34	91.89	91.57	91.34	98.67	94.77	93.96	57 55
	当 別	100	98.61	99.31	98.61	100	95.00	95.81	96.52	98.88	97.11	100	96.41	98.02	36 38
小 計		94.67	95.22	92.94	94.46	94.34	95.38	93.80	93.73	93.82	93.56	95.10	93.50	94.21	379 390
4	札 幌	97.82	98.11	98.51	99.34	97.90	98.96	98.37	98.71	98.83	99.50	98.36	98.16	98.55	155 157
	札 幌 西	97.81	98.08	97.73	96.81	97.94	97.12	98.10	97.36	96.77	99.08	98.75	98.80	97.86	133 139
	札 幌 手 稲	98.52	97.64	97.43	97.06	97.65	99.63	99.30	97.16	99.03	98.59	99.43	99.29	98.39	66 70
	札 幌 北	99.75	100	99.74	100	98.46	100	99.49	98.72	98.78	98.74	98.31	99.00	99.25	99 100
	札 幌 西 北	98.80	99.50	98.53	100	98.50	99.02	98.03	98.58	95.18	98.45	98.56	96.16	98.28	50 53
小 計		98.54	98.67	98.39	98.64	98.09	98.76	98.66	98.11	97.72	98.87	98.68	98.28	98.44	503 519
5	札 幌 南	99.00	97.25	98.03	98.64	98.81	97.52	98.23	98.40	99.02	99.16	98.41	98.42	98.41	131 137
	札 幌 東	99.29	98.04	99.64	99.86	99.29	99.46	99.27	99.28	99.11	98.41	100	99.11	99.23	143 141
	札 幌 幌 南	100	99.59	100	98.97	99.74	100	100	100	100	100	100	100	99.86	100 99
	札幌真駒内	98.28	97.87	97.33	98.70	98.92	97.90	99.48	98.64	99.50	99.00	99.48	98.56	98.64	48 52
	新 札 幌	95.69	96.70	93.10	96.02	95.91	96.57	96.58	94.38	96.21	95.46	97.27	95.45	95.78	40 43
小 計		98.45	97.89	97.62	98.44	98.53	98.29	98.71	98.14	98.77	98.41	99.03	98.31	98.38	462 472
6	岩 内	80.38	83.44	87.26	80.37	76.89	81.32	78.43	80.18	85.91	83.75	84.72	90.96	82.80	54 54
	俱 知 安	88.10	87.50	77.50	82.34	86.80	91.50	90.05	100	95.90	90.02	88.80	86.60	88.76	40 43
	小 樽	95.92	98.72	98.02	97.27	98.74	97.79	98.26	97.23	97.60	97.25	97.33	97.44	97.63	106 110
	小 樽 南	96.88	93.58	95.78	95.77	95.77	93.24	93.06	94.12	91.61	92.92	91.13	95.46	94.11	77 82
	小 樽 銭 函	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00	80.00	85.00	80.00	80.00	85.00	83.75	20 20

分区	クラブ名	1986年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	1987年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	年間 平均%	会員数 期首	期末
6	蘭越	82.61	66.36	81.17	79.35	81.52	83.66	81.13	79.35	82.29	88.54	81.66	83.19	80.78	24	23
	余市	92.80	87.48	92.40	92.40	94.50	93.50	93.40	89.60	90.00	90.60	90.20	87.80	91.22	47	46
	小計	88.81	86.01	88.16	87.50	88.46	89.43	88.48	88.64	89.76	89.01	87.69	89.49	88.45	368	378
7	千歳	97.41	93.64	93.12	93.49	94.79	92.74	93.68	90.86	92.61	93.30	89.60	93.32	93.21	93	101
	恵庭	88.50	88.12	90.60	92.00	93.20	88.40	88.60	99.10	95.80	91.80	92.10	95.40	91.97	41	45
	北広島	94.90	92.40	90.30	90.14	90.31	94.74	83.33	94.00	93.76	92.50	90.22	88.60	91.27	24	22
	白老	84.64	83.62	90.35	80.92	83.00	89.00	87.35	86.40	87.90	89.00	85.10	91.60	86.57	28	29
	苫小牧	94.33	92.92	92.81	94.17	92.67	92.53	93.56	92.75	94.67	92.84	91.78	90.61	92.97	78	83
	苫小牧北	96.62	99.60	99.21	99.59	100	99.36	98.15	100	99.12	98.90	99.52	97.97	99.00	65	70
小計		92.73	91.72	92.73	91.72	92.33	92.80	90.78	93.85	93.98	93.06	91.39	92.92	92.50	329	350
8	えりも	75.00	76.10	79.20	69.17	68.75	71.88	80.55	76.04	66.67	66.66	76.28	67.40	72.81	23	23
	三石	84.16	78.95	80.26	73.68	76.32	72.63	72.37	71.05	70.53	72.37	70.18	70.47	74.41	19	21
	様似	82.14	87.22	83.82	83.85	70.22	77.08	75.69	73.60	61.80	65.72	82.00	100	78.60	35	37
	静内	85.93	84.93	78.79	81.85	75.47	89.63	82.92	83.90	83.07	75.43	85.40	86.40	82.81	54	57
	浦河	83.16	85.15	79.68	89.06	79.17	93.10	79.00	79.00	77.60	89.50	93.33	91.60	84.95	48	50
小計		82.08	82.47	80.35	79.52	73.99	80.86	78.11	75.89	71.93	73.94	81.44	83.17	78.65	179	188
9	伊達	97.42	100	100	100	100	100	95.16	91.13	95.15	94.84	100	100	97.81	62	63
	室蘭	93.00	95.00	100	100	100	96.00	89.00	87.00	95.00	100	100	100	96.25	99	101
	室蘭東	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	65	63
	室蘭北	86.32	85.35	94.30	100	100	100	100	100	96.00	86.48	92.89	89.00	94.20	57	61
	登別	91.49	82.04	86.46	82.29	86.60	88.54	87.69	87.75	83.82	81.58	82.50	80.00	85.06	48	48
	洞爺湖	70.83	76.38	90.27	72.05	100	89.41	76.47	76.47	86.47	69.11	100	70.59	81.50	19	18
小計		89.84	89.80	95.17	92.39	97.77	95.66	91.39	90.39	92.74	88.67	95.66	89.93	92.45	350	354
10	函館	97.47	95.97	95.26	95.59	93.90	91.64	90.27	91.36	92.41	91.70	92.41	92.90	93.41	119	119
	函館亀田	86.73	85.04	91.49	88.83	92.55	82.92	86.53	80.85	81.05	77.04	85.89	84.80	85.31	48	49
	森	86.40	87.85	86.23	85.74	87.03	88.32	88.60	100	87.80	87.85	90.30	87.00	88.59	32	32
	七飯	90.00	86.71	92.74	89.51	89.51	88.70	87.90	88.70	88.13	89.06	90.63	88.13	89.14	32	32
	長万部	79.31	78.41	80.68	76.14	75.00	81.60	78.57	90.48	74.28	72.62	92.06	75.24	79.53	23	22
小計		87.98	86.80	89.28	87.16	87.60	86.64	86.37	90.28	84.73	83.65	90.26	85.61	87.03	254	254
11	江差	81.42	82.14	81.00	80.00	80.25	81.37	83.23	82.72	84.32	80.07	82.50	82.35	81.78	28	30
	函館五稜郭	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	57	59
	函館東	94.16	93.75	93.38	91.09	93.75	94.50	92.45	91.48	90.30	90.36	92.35	92.50	92.51	76	68
	函館北	90.16	90.15	89.57	85.61	88.29	93.04	93.13	93.37	90.53	90.49	88.63	89.18	90.18	62	62
	松前	86.20	83.00	91.00	100	90.00	91.00	92.00	92.00	92.00	92.00	100	100	92.43	12	13
小計		90.39	89.81	90.99	91.34	90.46	91.98	92.16	91.91	91.43	90.58	92.70	92.81	91.38	235	232
合計		91.74	91.21	92.08	91.59	91.68	92.22	91.34	91.55	90.91	90.31	92.77	91.97	91.61	3,563	3,650

(7) 地区ガバナー指名委員会規定改正

第 1 条 (任 務)

地区ガバナー指名委員会の任務は、当該ノミニーが国際大会で地区ガバナーに選挙されるロータリー年度の直前2年度以内に、ガバナー・ノミニーとしての最適の就任可能者を選出することである。

第 2 条 (構成及び任命)

地区ガバナー指名委員会は、パスト・ガバナー及び既に選出されたガバナー・ノミニーをもって構成するものとし、委員長は地区ガバナーが任命する。

なお、地区ガバナーは職権により審議に参加するものとする。

第 3 条 (選出手続き)

地区ガバナー指名委員会は、地区ガバナーの指示に基づき、定められた年度の地区ガバナー・ノミニー候補者として、指名委員会の審議を希望するクラブが所定の期日までに提案するよう、地区内のクラブ幹事宛に通知しなければならない。

前項にかかわらず、地区ガバナー指名委員会は独自に適任と思われる有資格者を候補者として提案することができる。

地区ガバナー指名委員会は、定められた期限内に受理した適法の処置をされたクラブ提案による候補者と、委員会の提案による候補者を併せて審議し、それらの中から最適の就任可能者を合意により選出する。

第 4 条 (改 廃)

本規定は、地区大会の決議によってこれを改廃することができる。

附 則

この規定は1986年10月10日から施行する。1986年10月、1986～87年度国際ロータリー第251地区年次大会（札幌市）決議第12号。

2. 地区内行事

(1) 地区大会



開催月日	1986年10月9日(木)～11日(土)		
開催地	札幌市		
会場	北海道厚生年金会館		
ホストクラブ	札幌北RC		
参加クラブ	地区内 60クラブ	地区外 2クラブ	
登録人員	来賓 40名	地区外会員 2名	そのご家族 1名
	地区内会員 1,593名	そのご家族 159名	
	ローターアクター、インターアクター、財団奨学生、米山奨学生、 GSE・学友および交換学生等 102名		
	総	数	1,897名

大会テーマ 「希望をもたらす奉仕のあり方」



大会プログラム

10月9日(木)

● 記念ゴルフ大会 (クラーク・カントリー・クラブ)

7:30 スタート
18ホールズ・ストローク・プレイ(A・B組別)

● 会長・幹事懇談会 (於：札幌パークホテル・エメラルドの間)

16:00 登録開始
16:30 点鐘、国歌斉唱、ロータリーソング、開会のことば、来賓紹介、
RⅠ会長代理挨拶、RⅠ理事会の近況について
17:00 協議
——休憩・移動——
18:00 RⅠ会長代理歓迎夕食会
乾杯、ロータリーソング「手に手つないで」、諸事お知らせ、
閉会のことば
点 鐘

10月10日(金)

● 大会第1日目 (於：北海道厚生年金会館大ホール)

8:00 登録開始
開会セレモニー並びに来賓紹介
点鐘、開会宣言、国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」、
開会のことば、参加クラブ・インターアクター・ロータリーアクター
交換学生・財団奨学生・米山奨学生・REX紹介
9:40 登録委員会報告、物故会員への黙禱及び追悼
10:00 歓迎のことば、来賓祝辞、祝電披露、挨拶、地区現況報告
10:45 RⅠ会長メッセージ、RⅠ理事挨拶
11:15 信任状委員会報告、選挙管理委員会報告、ガバナー・ノミネー
紹介、ガバナー・ノミネー挨拶
11:25 決議委員会報告、決議採択、記念寄付贈呈、謝辞
11:40 ロータリー現況報告、ポリオ・プラス計画について
12:05 諸事お知らせ
12:10 一 食
13:00 分科会(クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)
15:00 記念講演「日本文化に特殊性はあるか」 前文化庁長官 三浦 朱門
16:50 記 念 演 奏 東海大学第四高等学校吹奏楽部
17:20 諸事お知らせ
17:30 点 鐘

● 並行プログラム (13:00～)

○ 婦人プログラム (於：北海道厚生年金会館大ホール)
1. 講話「ロータリーにおける夫人の役割」
望月直前ガバナー夫人 望月 泰子
札幌北RCさつき会初代会長 小川 アイ
2. 特別講演「情報化時代のテレビの見方」
NHKニュースキャスター 曾我 健

○ 青少年プログラム
1. インターアクト・ワークショップ
——於：札幌市教育文化会館3F 特別会議室
2. ローターアクト・ワークショップ
——於：北海道厚生年金会館3F 鈴蘭の間
3. 交換学生・米山奨学生等 国際親善と理解のためのウォッチング、

● 記念大懇親会 (18:40～ 於：札幌パークホテル・パークプラザ)

18:40 開会のことば、挨拶、乾杯、親睦ゴルフ大会表彰
19:00 アトラクション
20:00 乾杯、閉会のことば
20:10 ロータリーソング「手に手つないで」

10月11日(土)

● 朝 食 会 (8:00～札幌第一ホテル2F)

7:30 登録開始
8:00 挨拶
8:30 閉 会

● 大会第2日目 (於：北海道厚生年金会館大ホール)

9:00 点鐘、閉会のことば、ロータリーソング「ロータリー讃歌」
RⅠ会長代理に記念品贈呈
9:10 表 彰
ロータリー財団貢献優秀クラブ、出席優秀クラブ、米山記念奨
学会寄付金1,000万円達成クラブ、米山功労クラブ、高齢者、米
山功労者、新ポール・ハリス・フェロー、新準ポール・ハリス・フ
ェロー、永年100%出席者(30年、25年、20年、15年、10年)、RⅠ
会長賞、ガバナー賞
10:10 分科会報告、次期開催地発表、次期大会ホストクラブ会長挨拶
11:20 RⅠ会長代理所感、ガバナー謝辞、ロータリーソング「手に手
つないで」、閉会のことば
12:00 点 鐘

(2) 地 区 協 議 会

開 催 月 日 1987年 5 月11日(日)
 開 催 地 札幌市
 会 場 共済サロン
 ホストクラブ 札幌幌南 R C
 参 加 ク ラ ブ 地区内全クラブ (60 R C)
 部 門 別 協 議 会長、幹事、クラブ奉仕、
 職業奉仕、 社会奉仕、
 国際奉仕、会員増強の 7 部門



(3) クラブ会長エレクト研修セミナー



開 催 月 日 1987年 4 月 5 日(日)
 会 場 ホテル新札幌
 ホストクラブ 新札幌 R C
 参 加 ク ラ ブ 地区内全クラブ (60 R C)

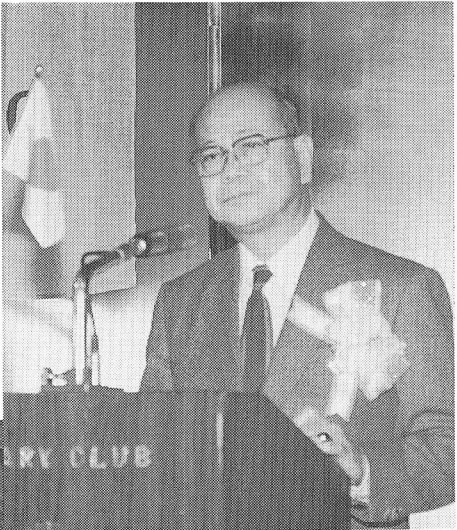
(4) 都市連合討論会(分區別 I G F)

分 区	フォーラム・リニダー	開 催 日 (1987年)	開 催 地 ・ 会 場	ホストクラブ	討 論 主 題	登録者数
第1分区	石川 健治	6月21日	留萌市・中央公民館	留 萌 R C	いい語らいロータリー いいふれあいロータリー	220名
第2分区	吉村外茂二	5月17日	芦別市・福祉センター	芦 別 R C	ポリオ・プラス計画 地域社会の実情に対応 するロータリー活動	199名
第3分区	河瀬 登	3月15日	岩見沢市・文化センター	岩見沢 R C	ロータリーを知ろう ポリオ・プラス計画	248名
第4・5 分区合同	長谷井真信 橋本 利弘	4月11日	札幌市・ローヤルホテル	札幌西 R C 札幌東 R C	会員増強の問題点 ポリオ・プラス計画 青少年奉仕活動の推進	491名
第6分区	杉江雄太郎	3月28日	小樽市・北海ホテル	小 樽 R C	会員の増強、炉辺会合 交換学生の受け入れ 高齢化社会での奉仕	151名
第7分区	清水 進	2月22日	恵庭市・市民会館	恵 庭 R C	ポリオ・プラス計画 皆で語ろうロータリー 高齢化社会への対応	237名

分 区	フォーラム ・リニダニ	開催月日	開催地・会場	ホストクラブ	討 論 主 題	登録者数
第8分区	富越 誠也	5月17日	えりも町・福祉センター	えりもRC	ポリオ・プラス計画 各クラブの奉仕事例発表	178名
第9分区	多田 定男	3月8日	室蘭市・プリンスホテル	室 蘭 RC	ポリオ・プラス計画 奉仕部門別分科会	212名
第10・11 分区合同	村上 栄一 下郡山信一	2月25日	森 町 ・ 公 民 館	森 R C 函館北RC	ロータリーは希望をもたらす ポリオ・プラス計画	322名

(5) カパラスRI会長歓迎合同例会

開 催 日 時 1987年4月13日(月) 12時30分
会 場 札幌パークホテル・パークホール
参 加 者 札幌市内10クラブ 計710名
ホ ス 札幌RC
司 会 札幌RC会長 柿本胤二氏
通 訳 東京RC会長 玉村文夫氏



(6) ガバナー公式訪問日程表

クラブ名	会長・幹事懇談会			クラブ協議会	例会出席			クラブ名	会長・幹事懇談会			クラブ協議会	例会出席		
深川	7月14日	月	16:30	18:30	7月15日	火	12:30	洞爺湖	9月22日	月	9:00	10:30	9月22日	月	12:30
留萌	7月15日	火	16:30	17:30	7月16日	水	12:15	岩見沢東	9月30日	火	9:30	10:30	9月30日	火	12:30
羽幌	7月16日	水	16:30	18:30	7月17日	木	12:15	砂川	9月30日	火	16:30	18:30	10月1日	水	12:30
小平	7月17日	木	15:30	17:00	7月17日	木	18:30	美唄	10月1日	水	16:30	18:30	10月2日	木	12:15
赤平	7月21日	月	16:30	18:30	7月22日	火	12:30	蘭越	10月16日	木	16:30	18:30	10月17日	金	12:15
妹背牛	7月22日	火	16:30	18:30	7月23日	水	12:30	苫小牧北	10月20日	月	16:30	18:30	10月21日	火	12:30
滝川	7月23日	水	16:30	18:30	7月24日	木	12:30	白老	10月21日	火	17:30	19:00	10月22日	水	12:30
芦別	7月24日	木	16:30	18:30	7月25日	金	12:15	千歳	10月22日	水	16:30	18:30	10月23日	木	12:30
当別	7月28日	月	16:30	18:00	7月29日	火	12:30	長万部	10月28日	火	15:00	16:00	10月28日	火	18:00
栗山	8月11日	月	16:30	18:00	8月12日	火	12:30	倶知安	10月29日	水	9:00	10:30	10月29日	水	12:15
栗沢	8月12日	火	16:30	18:30	8月13日	水	12:10	岩内	10月29日	水	16:30	18:30	10月30日	木	12:30
三石	8月18日	月	9:30	10:30	8月18日	月	12:30	小樽	11月4日	火	9:30	10:30	11月4日	火	12:30
浦河	8月18日	月	16:30	18:30	8月19日	火	12:30	余市	11月4日	火	16:30	18:30	11月5日	水	12:30
静内	8月19日	火	16:30	18:30	8月20日	水	12:30	小樽銭函	11月5日	水	16:30	18:30	11月6日	木	12:30
えりも	8月20日	水	16:00	17:30	8月20日	水	19:30	小樽南	11月6日	木	16:30	18:30	11月7日	金	12:30
様似	8月21日	木	15:00	16:30	8月21日	木	18:30	新札幌	11月7日	金	16:30	18:30	11月8日	土	12:30
函館北	8月26日	火	16:30	18:30	8月27日	水	12:30	室蘭北	11月10日	月	16:30	18:30	11月11日	火	12:30
函館	8月27日	水	16:30	18:30	8月28日	木	12:30	恵庭	11月11日	火	16:30	18:30	11月12日	水	12:30
函館五稜郭	8月28日	木	16:30	18:30	8月29日	金	12:30	江別	11月12日	水	16:30	18:30	11月13日	木	12:30
函館亀田	9月1日	月	9:00	10:30	9月1日	月	12:30	苫小牧	11月13日	木	16:30	18:30	11月14日	金	12:30
函館東	9月1日	月	16:30	18:30	9月2日	火	12:30	札幌手稲	11月14日	金	16:00	18:30	11月15日	土	12:30
松前	9月3日	水	9:00	10:30	9月3日	水	12:00	札幌南	11月17日	月	9:00	10:30	11月17日	月	12:30
江差	9月3日	水	16:30	18:30	9月4日	木	12:30	札幌西	11月17日	月	16:30	18:30	11月18日	火	12:30
岩見沢	9月5日	金	9:00	10:30	9月5日	金	12:30	札幌真駒内	11月18日	火	16:00	18:30	11月19日	水	12:30
七飯	9月9日	火	15:00	16:30	9月9日	火	18:30	札幌東	11月19日	水	16:30	18:30	11月20日	木	12:30
森	9月10日	水	9:00	10:30	9月10日	水	12:30	札幌幌南	11月20日	木	16:30	18:30	11月21日	金	12:30
伊達	9月16日	火	9:00	10:30	9月16日	火	12:30	札幌	11月25日	火	16:00	18:30	11月26日	水	12:30
室蘭東	9月16日	火	16:30	18:30	9月17日	水	12:30	札幌西北	11月26日	水	16:00	18:30	11月27日	木	12:30
室蘭	9月17日	水	16:30	18:30	9月18日	木	12:30	北広島	11月27日	木	15:00	18:30	11月27日	木	18:30
登別	9月18日	木	16:30	18:30	9月19日	金	12:30	札幌北	12月8日	月	9:00	10:30	12月8日	月	12:30

(7) ガバナー公式訪問に関するお願い

ガバナー 三 浦 祐 晶

次年度の公式訪問は、日程案（資料参照）のごとくきたる7月14日から始まります。貴クラブへの訪問を実り多いものにするために、準備その他のことをお願いしておきたいことがございますので、何卒よろしく御用意、御手配下さると幸いに存じます。

A. 公式訪問の際の必要書類

訪問2週間前迄に次の書類を必ずガバナー事務所へお送り下さい。まえもって貴クラブの概要を承知しておきたいと思います。

1. クラブ計画および目標の要約…2部（用紙は協議会の会長資料の中に入れてあります）
2. アンケート回答…1部（同上）
3. クラブ定款と細則
4. 本年度クラブ活動計画書および前年度活動報告書（なければ前年度活動計画書）
5. 充填・未充填職業分類一覧表
6. 会員名簿
7. クラブ会報（最近のもの5週分。今年度のものがなければ前年度分を含める）
8. 過去3年度分の入退会員の状況
9. 本年度の会員増強計画とその推移

B. 会長・幹事懇談会について

1. 出席者は会長、幹事と私および分区代理（同行しているとき）の4人です。約1時間を予定しております。
- * 2. 貴クラブの運営および計画面で特色のある点と、もっとも困っている点をまとめておいて下さるようお願い致します。
3. 次の資料を整理して御用意下さい。
 - a. あらかじめガバナー事務所にお送り頂いた必要書類（上記A.）控
 - b. クラブ理事会議事録、各委員会報告書等の書類綴
 - c. R I 事務局、日本支局との往復書簡類綴
 - d. ガバナー事務所との往復書簡類綴
 - e. クラブ資金の収支予算書および会計検査書類綴
 - f. ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付の記録
 - g. 財 産 目 録
 - h. 『ガバナー月信』綴

C. クラブ協議会について

1. 例会前夜に開催の場合は、夕食後の午後6時半から約2時間を予定しております。夕食を済ませてから御参会下さると宜しいかと存じます。
2. 出席者はクラブ理事・役員および各委員会委員長（小委員会委員長を含む。欠席の時は代理者）

のほか、なるべく多くの会員、特に入会后1年未満の新会員を参加させて下さい。

3. 司会は会長がお務め下さい。委員長全員による説明は省略し、4大奉仕部門および情報・増強・拡大部門でそれぞれ2、3の議題を御用意下さい。

D. クラブ例会について

1. できるだけ多くの会員に出席を奨励して下さい。

3. 私の講演は食事後25分程度にさせていただきます。

E. 特別な御招宴や記念品などは勝手ながら固く御辞退致したく存じますので、何卒御無用に願います。

*印の項で特に重要とお考えの事柄については、必要書類を送付される際にあらかじめ文書にしてお送り下さると好都合かと存じます。

3. 地区委員会報告

(1) 地区諮問委員会

第1回委員会（1986年6月14日(土)、於センチュリーローヤルホテル札幌一）

報告 1. 国際大会について

2. 地区協議会について

議題 1. 1986～87年度国際ロータリーのテーマ「ロータリーは希望をもたらす」について

2. 次年度第251地区運営方針について

3. ポリオ・プラス計画について

4. 会員増強目標カードについて

5. 地区資金予算について

6. 地区委員及び地区組織について

7. 旅費規程について

8. 公式訪問について

9. 地区大会について

(イ)地区大会役員・運営委員会について

(ロ)そ の 他

10. そ の 他

第2回委員会（1986年9月21日(日)、於センチュリーローヤルホテル札幌一）

議題 1. 地区大会の準備とその進行状況

2. R I 会長代理大橋章一氏のプロフィールとスケジュールについて

3. 地区大会のプログラムの概要

4. 分科会テーマ及びその会場について

5. 大会決議案第1号から第12号、特に地区規程（1）地区ガバナー指名委員会規程の改正について

6. アジア第1・第3ゾーンロータリー研究会の札幌開催について

7. 次年度地区大会について

8. その他ポリオ・プラス計画、地区WCSプログラム、RVC構想等について

第3回委員会（1986年12月3日(水)、於センチュリーローヤルホテル札幌一）

議題 1. ガバナー会の報告

2. クラブ定款・細則の変更について

3. GSEについて

4. IGFについて

5. 1986～87年度クラブ会長エレクト研修セミナーについて

6. 1988～89年度ロータリー財団奨学金（6口）について

7. 1986年日韓親善連絡委員会について

8. そ の 他

(1)地区出席報告の順位について

(2)その他

第4回委員会（1987年2月4日(水)、於札幌国際ホテル）

議題 1. 地区内現況について

2. 下半期の計画について

3. そ の 他

(2) ガバナー指名委員会



委員長
望月 武義
(岩見沢)

第1回 昭和61年9月21日(日)

センチュリーローヤルホテル（札幌）

第2回 昭和61年12月3日(水)

センチュリーローヤルホテル（札幌）

第3回 昭和62年4月27日(月)

札幌パークホテル

第4回 昭和62年5月26日(火)

センチュリーローヤルホテル (札幌)

10月末日を期日とし1988～89年度ガバナー・

ノミニー候補者を募ったが、いずれのクラブからも候補者の推薦がなかったため、指名委員会は上記の日程により慎重審議を重ねた結果、大橋康次氏(札幌東RC)を同年度ガバナー・

ノミニーに選出、指名した。

これにより三浦ガバナーは、6月25日、月信を通じてその決定を地区内に宣言した。

(3) 分区代理会議

第1回会議 (1986年6月15日(日)、於札幌国際ホテル)

報告 1. 国際大会について

2. 地区協議会について

議題 1. 1986～87年度国際ロータリーのテーマ
「ロータリーは希望をもたらす」について

2. 次年度第251地区運営方針について

3. ポリオ・プラス計画について

4. 会員増強目標カードについて

5. 地区資金予算について

6. 地区委員及び地区組織について

7. 地区委員会事業計画及び予算案について

8. 地区大会について

(1)地区大会役員及び運営委員会について

(2)その他

9. 公式訪問について

10. IGFについて

11. その他

第2回会議 (1986年7月20日(日)、於共済サロン一札幌一)

議題 1. 会員増強と地区拡大について

2. その他

第3回会議 (1987年1月24日(土)、於定山溪グランドホテル一札幌一)

議題 1. 分区内各クラブの会員増強について

2. 新クラブの結成促進について

(1)目標地域

(2)特別代表の任命

3. インターアクト及びローターアクトクラブの結成促進について

(1)目標クラブ

4. 分区内各クラブの重点計画の推進について

(1)RI会長賞候補クラブ

(2)ガバナー賞候補クラブ

5. IGFの開催について

(1)討論の主要テーマ

6. ローター財団、ポリオ・プラス、及び米山記念奨学会寄付の促進について

7. WCSプロジェクトへの協力について

8. 第4回日韓親善会議への出席奨励について

9. 第24回国際ロータリー親睦ゴルフ大会への参加について

10. その他

議題 1. 『ガバナー月信』クラブ出席報告の順位廃止について

2. ローターアクト海外研修旅行について

3. GSE計画について

4. 韓国第370地区ローターアクトの来札について

5. 第16回アジア第1・第3ゾーンロータリー研究会について

6. 下期主要行事の予告について

7. その他

(4) 地区委員長会議

第1回会議（1986年6月15日(日)、於札幌国際ホテル）

当日は、第1回分区代理会議と合同で開催された為、報告事項、協議事項については第1回分区代理会議の項に同じ。

(5) 地区大会委員会



委員長
佐藤 鉄弥
(札幌北)

今回の年次大会は札幌北RCにとって創立16年目にして初めて担う最大の行事で、先輩クラブの記録を参考に準備を進めましたが、大会経験者が一人もいないため試行錯誤の連続でした。

中でも一番苦労したのは会員登録数の設定と各委員会の予算額の割当でした。

会員登録数については会場の収容力と予想される総費用から1,600名を目標と決め、各クラブに夫々希望人員をお願いする一方、札幌市内及びその近郊クラブには大会役員が直接伺ってお願いする他、手紙作戦やポスターの配付等もやりながら目標数到達に全力を投入致しました。結果、登録期日の9月10日に1,500名を若干上回る程度であったのが、最終的には当日登録を含め1,595名となり、各クラブ会長・幹事さんのご協力に心から感謝申し上げた次第です。

次に委員会予算の方は、先輩クラブの実績と今大会の各委員会活動の内容を考慮し最も適正と思われる額を夫々計上したつもりでしたが、進行過程で随所に過不足が生じたため各委員長の了解を得、止むなく修正した苦労も忘れられない思い出です。

お陰様で当日は天候にも恵まれ、ロータリア

ンの厚い友情と親睦の輪、そして関係各位のご協力のもと、ご家族、青少年も含め約1,900名ものご参加を頂き成功裡に終了できましたことは誠に感謝に堪えません。

以下は活動の記録です。

■大会役員会（14回）

昭和60年

11月16日、11月24日、11月29日、12月9日

昭和61年

1月14日、1月28日、2月1日、3月7日

3月10日、5月2日、5月19日、6月9日

6月23日、10月6日

■大会実行委員会

昭和60年

12月12日 委員長・副委員長

昭和61年

3月26日 委員長・副委員長

8月25日 総務、登録、広報、接待、パーティー

8月26日 青少年、追悼、表彰、救護、婦人プログラム

8月27日 会場設営、食事、資料

9月2日 音楽、記録、ゴルフ

9月22日 会計

■地区役員との打ち合せ（8回）

昭和61年

1月6日、2月8日、5月19日、6月13日

6月28日、7月19日、8月13日、9月9日

■そ の 他

昭和60年

12月27日 三浦ノミニー・佐藤大会委員長連
名による挨拶状発送

昭和61年

4月5日 IGFで大会出席勧誘
6月4日 記念講演の講師に三浦朱門氏決定
6月6日 仮登録申し込み用紙発送
6月20日 札幌市内クラブ新旧合同会長・幹
事会で大会協力要請
6月30日 大会オープニングにつき打ち合せ
7月4日 婦人プログラムの講師に曾我健氏
決定
7月20日 分区代理会議で出席要請と概要説
明
7月21日 札幌市内及びその近郊クラブを訪
問、大会出席要請（～8月中旬）
7月25日 知事、市長に招待状発送
8月18日 手紙作戦開始
8月29日 大会PRポスター発送
9月4日 RI会長代理に大橋章一氏決定
9月13日 分科会役員合同会議
9月17日 登録総数1,802名となる
9月21日 地区諮問委員会で登録状況他報告
10月4日 大会シナリオ決定
10月7日 RI会長代理の日程、及び大会全
日程の総チェック

10月8日 袋詰め、RI会長代理を囲み夕食
会

10月9日 リハーサル



(6) クラブ奉仕委員会



委員長
河崎 義章
(小樽銭函)

昭和61年5月11日(日)札幌市で開催された1985
～86年度地区協議会分科会のクラブ奉仕部門に

おいてリーダーを務めさせて頂き、出席、親睦、
クラブ会報などについて出された意見をまとめ、
報告致しました。

また10月9～11日、同じく札幌市で開催され
た1986～87年度地区年次大会分科会のクラブ奉
仕部門においても、同様にクラブの活性化、ロ
ータリー情報、会員増強について討論の結果を
報告致しました。

(7) 職業奉仕委員会



委員長
船本 達世
(札幌真駒内)

地区協議会の時に職業奉仕委員が集って今年度の方針を立てましたが、実行出来ぬままに1年を経てしまいました。活動の要点のみを記します。

1. 職業奉仕月間に各クラブの委員長に活性ある計画をお願いした。

1. 地区協議会においてクラブ委員長に職業奉仕の基本的考えとその活動方針について討論頂いた。
1. 地区大会の職業奉仕部門では「職業奉仕の基本的考え方とその活動、というテーマで討論頂いた。
1. 今年度地区内の計画を立てたが実行出来なかったもので、その代りとして、第268地区が地区内各クラブ職業奉仕委員会の活動状況を取りまとめて編集した小冊子『われらの職業奉仕』を各クラブの委員長に参考として送付した。

(8) 社会奉仕委員会



委員長
宮崎 善夫
(苫小牧)

年度初めに当り三浦ガバナーは、地区の本年度運営計画として、ロータリー精神を助長し組織を強化し、運営を拡大するため全力投入を重点として7大目標を掲げられました。

年度の終りに顧れば、各クラブともロータリーの基本とも言うべき社会奉仕に関しては充分検討を加え、千差万別ながら熱心に実行して夫々の目的を達成し得たことと思います。

しかしガバナーは、社会奉仕活動の中に特に7大目標の1つとして高齢者に対する奉仕活動を奨励し、地域に於ける高齢者対策事業に協力すること等を力説されていましたが、果して各クラブでは如何に対応したでしょうか。この意を体して積極的に高齢者対策に取り組んだクラブの実施例を参考までに列挙すると、

1. 老人ホーム等への奉仕
訪問、慰問。1日園長。娯楽、趣味、保健に必要な品物の寄贈。運動会に協力。例会や楽しい会合への招待。
2. 高齢者問題に取り組んでいる団体、当局に寄附。
3. 独居老人の見舞、慰問。
4. 例会に於て高齢者問題の専門家の講演を聞く。

等々で、細分すれば文字通り多様多彩で、各クラブ委員の方々が工夫を凝らされたことがよく分かります。

因みに地区内各クラブ活動計画を参照すれば、60クラブ中37クラブでは老人福祉は組み入れていません。そして24クラブでは計画に入れてはいるが、実施したのは22クラブとなっています。思うにガバナーが公表された重点目標に関しては、規模の大小は別としても、全クラブが何らかの形でその計画に組み込むべきではないか、一考を要すると思います。

(9) 国際奉仕委員会



委員長

森松 定男
(札幌南)

当年度の私共の委員会は、カウンセラーを塩谷猛パスト・ガバナーとし、河邨文一郎、都留美都雄、戸部謙一、石井禧八朗の皆さんを委員とし、それに私が加わっての構成でありました。

国際奉仕関係には、国際共同委員会、青少年交換委員会、世界社会奉仕委員会、それに米山記念奨学会委員会、ロータリー財団委員会があり、財団関係は更に奨学生・学友委員会、G. S. E. 委員会、ポリオ・プラス委員会が設けられ、夫々に活動をされました。

当年度を顧みますと、3月には宮崎市で第4

回日韓親善会議が開かれ、日韓親善連絡委員の当地区竹山涼一パスト・ガバナーはその討論会にパネリストとして参加され、他に姉妹提携のクラブなどからも参加されました。感銘深い音楽会なども特に印象が深く、会議の成果を挙げられたと聞いております。また札幌西RCの金本会員も通訳として奉仕され喜ばれたと伺いました。

『ガバナー月信』第9号には現在地区で8クラブが韓国、台湾、フィリピン、アメリカ、カナダの5ヶ国の10クラブと姉妹提携をしていることや留萌RCと論山RCの交流の報告があります。また第8号には、私の世界理解月間に因んだ国際交流の短文を掲載して頂きました。

ガバナーのご熱意溢れるご指導と、各委員会の皆さんのご献身に深く敬意と感謝を捧げます。

(10) 国際共同委員会



委員長

河邨文一郎
(札幌西)

この委員会は周知の如くフィリピンの第379、380、382地区との間に締結されたもので第3年

度を迎えました。例年、ロータリアンの交流、ローターアクターの交換、世界社会奉仕推進の土台づくりに貢献して参りましたが、今年度は先方国の政変のため、世界社会奉仕の基盤づくりの他には殆ど見るべき活動がなかったのは残念です。来年度の再活性化に大いに期待したいと思います。

(11) 青少年交換委員会



委員長

都留美都雄
(札幌北)

1. 当地区の青少年交換活動の現状とその問題点

- (1) 1986～87年度における青少年交換委員会の活動は、従前の委員会の活動を継承し、当地区とアメリカ・カナダ・オーストラリアの3国との交換は総計12名に及んだ。この数字は過去3年間変わっていない。

つまり、過去3年間現状を維持することが出来たということであり、もう一方の見方をすると、過去3年間交換の数が増えていないということである。

この12名という数字をどう評価するかは、色々な観点があるので一概に評することは出来ないが、私としては、この年間12名の青少年交換を継続・実現出来たことは、それなりに評価できると思う。12名の交換学生を受け入れるということは、毎年12の新しい国際理解の種がアメリカやカナダ、そしてオーストラリアでまかれてきたことを意味するものであると考える。

逆に、当地区からも12名の学生を派遣し、これらの派遣学生が先方の国々で色々な経験を積む中で国際理解を深めて行くことを考え合わせるならば、12の倍の24の種がまかれたことになる。

そして、その学生には夫々、当然のことであるが両親がいるはずであり、また兄弟もいることであろう。そうすると、我々が青少年交換を通じてまいた国際理解の種というのは、存外まいた個数も多いし、その将来における成果もそれなりに期待できると考えている次第である。ただ、数だけが青少年交換活動を評価するものではないことは当然であり、質の高い内容が伴って初めて良質の種がまかれると思慮するものである。

(2) 派遣学生の募集について

派遣学生を募集するということは、スポンサーとなるクラブが必要であることは言うまでもない。そして、スポンサーとなったクラブは自動的にホストクラブとなるのが原則である。受け入れと派遣は引き換えだからである。

さて、ホストクラブになろうとするクラブでは、次年度の理事が次期理事会において年間計画を立て、その一環としてホスト

クラブとしての活動を実践する。従って、もし青少年交換のホストをしようとか、或はスポンサークラブになろうとか考えるクラブがあるとすれば、それ相当の準備期間を要する筈である。そうだとするならば、毎年5～6月頃、当委員会が『ガバナー月信』において派遣学生募集のお知らせを出す以前に、各クラブで、今年青少年交換を行うのかどうか決めているはずである。その情報を、青少年交換委員会がより早くキャッチする必要があるだろう。

何故なら、今述べたように、突然今年ホスト及びスポンサーをお願いしたいと申し出ても、受け入れの計画のないクラブや受け入れの余裕のないクラブは受け入れることは出来ないだろうし、また、受け入れを希望しているクラブがあっても、派遣すべき学生がおらず派遣が出来ない可能性もあるだろう。

従って、交換学生の募集をする遙か以前の段階での調整が必要となるだろう。

勿論、その調整の作業は当委員会が担わねばならないであろう。

ところが、当委員会では、これまで（私が青少年交換委員会に関与した2年に限ってであるが）かかる配慮はなかったし、調整作業を行ったこともなかった。

従って、今年度のようにアメリカ希望の募集学生が少ないという事態も生じたものである。これらの事態を回避するためには、地区の青少年交換委員会で相当突っ込んだ情報の把握が必要である。その取得した情報いかにによっては、鋭意スポンサークラブになってくれそうだと見込みのつけられるクラブに対しお願いするなどして、事前の対策を講じるべきであると考ええる。今後に残された重要な課題である。

なお、最後に青少年交換活動の主体はあくまでもクラブであり、決して地区ではな

いこと、地区の青少年交換委員会は単なるクラブとクラブの仲介者（go-between）にすぎないことを銘記すべきである。

(3) 交換学生ホストファミリーにおける処遇について

交換学生は、毎月1度、委員会に対しマンスリー・レポートを提出することになっている。そのレポートの内容は、主に健康状態、学校での生活、ホストファミリーにおける生活、あるいはロータリーの活動についてである。問題は、当委員会で全ての受け入れ学生の管理をすることは困難であり、そもそもそれは、地区の役目ではなくホストをしているクラブ（特にそのクラブの国際奉仕委員会）の役割であると考えられる。従って、ホストクラブとなったクラブでは、何名かいるホストファミリーの間において、どのような処遇をしているのかを常に報告を受けるなどして、本人の健康状態、精神状態、学校生活、そして日本に対する理解等を把握すべきであると考えられる。また、ホストファミリー間における処遇の違いが当委員会にクレームとなって登場することがある。全く馬鹿げたことであると思うが、ホストファミリー間においてその受け入れ学生についての情報の伝達がなく、且つ処遇方法についての引き継ぎが全く行われていないという例もあった。また、ホストファミリーに受け入れ学生のアプリケーションフォームの情報が伝えられていないことが一再ならずあった。このような場合、ホストファミリーとなろうとする方が、全く手探りの状態で受け入れ学生と対することになる。事前の情報が、処遇上必要なことは言うまでもないことであろう。さらにホストクラブの国際奉仕委員長は、常に受け入れ学生がどのように処遇され、どのように生活しているのかを逐一監督し得る状態にしておくことが望ましいと考える。もし、

かかる引き継ぎ、あるいは情報交換がホストファミリー間で行われていないクラブは今からでも行うことが望ましいと考える。

(4) ホストスクールにおける処遇について

今年度初めて、当委員会が主催して交換学生受け入れ高校担当者懇談会を開催した。この懇談会には12校17名の先生方が出席され、意見交換を行った。その内容については、要約が『ガバナー月信』第13号に載っているため参照されたい。ホストスクールの悩みは大変なものである。そのホストスクールに対し、ホストクラブは一体どのような関わりかたをしていただろうか。その点が最も問題である。受け入れの時にお願いに行くのは当然として、受け入れ後の処遇状況について、クラブはどう把握しているだろうか。状況把握のために受け入れ高校と意見交換等をどう実現しているだろうか。夫々の受け入れ高校で創意と工夫を凝らし、且つ、先生方の無償の奉仕によりこの青少年交換プログラムが成り立っていると言っても過言ではない。この点についてホストスクールにおける受け入れ学生の処遇について、当委員会・ホストクラブで十分な把握をしていなかったことは誠に改めて反省すべきことである。また当地区委員会とホストクラブが、如何にホストスクールとのコンタクトが不足していたかも指摘されよう。この度の懇談会を終えて痛切にそのことが感じられた次第である。

(5) 青少年交換委員会の専従職員の必要性について

地区青少年交換委員会は毎年委員が交替し（いつの頃からか不明であるが、任期が3年を目途とするという不文律が形成されたとのことである）、新しい血がどんどん入ってくることになる。しかしながら、この青少年交換の事務レベルにおける作業は大変特殊な要素を含んでいる。つまり、派

遣・受け入れとも外国語を介して行われることが一つ、又その特殊なドキュメントの作成など、はっきり言って誰でもが行える状態にはない。

委員である多くのロータリアンは、自らの専門的職業人もしくは実業人としての多忙な業務を抱えている。その中で、交換プログラムを実行するに当たり、受け入れと派遣の事務作業を行うのである。

しかも、それは委員が自ら行わなければならない性格のものであるため作業は往々にして遅れがちである。そのため、前記の各クラブの次年度の活動計画が把握されにくいという状況も生まれる。そこで提案であるが、今日通信機器が飛躍的に向上していることから、青少年交換委員会専属もしくは半ば専属の職員を雇用し、その方にこの全ての作業をお願いしてはどうだろうか。

その職員のいるオフィスには必ずファックスを設置し、ガバナー事務所がたとえ札幌から離れて函館、あるいは苫小牧といったところに移ったとしてもその作業ができる状態にしてはいかがだろうか。今年度の活動の事務作業のうち、アメリカ・カナダとの接渉は渋谷委員が担当し、オーストラリアとの接渉は大坂委員が担当した。また、各クラブ、各委員宛の文書の作成と送付、及びその連絡は私の勤務先の職員が實際上担当した。これらの作業は膨大な作業量であった。とにかく、行事が大変立て込んでい

ること、その上実務的な瑣末な作業が大変多く、ロータリアンだけでは作業を消化し切れないこと、また関係文書の保管場所も一定していることが望ましいこと、こうした点に鑑みて、かかる提案をするものである。

2. 最後に私ごとにと及んで恐縮であるが、委員長である私自身、昨年来病魔に襲われ、委員長として十分な働きをすることができなかったことを遺憾に思うと共に、この間、委員各位が私の不在中種々努力をされ、委員会活動を支障なく継続してきたことに深く感謝する次第である。

3. 今年度の派遣学生及び受け入れ学生は、別表(42頁)記載の通りである。



(12) 世界社会奉仕委員会



委員長
戸部 謙一
(札幌西)

年度当初、文書にて地区内60クラブ宛に地区の5つのプロジェクトに対して参加を求めました。本年度の当委員会の予算は一般地区資金15万円、特別地区資金213万円でしたが、これに各クラブからの協力金56万2千6百円を加え、活動資金284万2千6百円となり、これに消防自動

車2台、救急車3台をもって活動することとなりました。

プロジェクトNo.1（払い下げ消防自動車の贈呈）及びNo.2（救急車等の贈呈）は、札幌西RCの国際奉仕委員会が、1981～82年度より1984～85年度迄の4年間に11台の消防自動車の払い下げを地方自治体より受け独自の活動として行っていたものを、1985～86年度の地区WCS委員会がその活動の拡大を計画し、地区としてこの活動を探り上げ、東南アジア諸国へ消防自動車5台、救急車2台を贈呈してきたものです。引き続き今年度も、消防自動車2台、救急車3台の提供を北広島・札幌西・静内RCより夫々受け、また11万円の協力金を岩見沢・静内RCより頂きました。この大型物品の贈呈には多くの時間と綿密な準備が必要であり、贈呈先クラブとは上半期の半ばから連絡を取り合って参りました。その結果、北広島RCの消防車はマレーシアのパナンRCに贈呈されるべく現在は横浜港で船積みを待っており、救急車はフィリピンのマニラRC、バギオRC、サンホセデルモンテRCに各1台宛贈呈されることになり、この5月・6月に既に船積みされています。静内RCからの消防自動車のお申し出は年度末であったために、当該年度には贈呈できず、現在消防自動車の贈与を受けたい旨連絡が来ているタイの第330地区と交渉を継続中であります。

プロジェクトNo.3（バギオ日本人会へのスカラシップ贈呈）は1987年5月26日に札幌西RCの例会に於て、ご来道されていたシスター・テレシア海野に直接贈呈する機会に恵まれました。例会ではバギオ日本人会での活動、スカラシップを受けた日系人及びフィリピンの青少年の卒業後の活躍等感銘深いスピーチを頂き、当地区内各クラブ会員への感謝のお言葉が述べられていたことをご報告申し上げます。

プロジェクトNo.4（図書寄贈）は1975～76年度からの継続活動であり、韓国のソウル南RCを通して東国大学図書館に『大日本続蔵経』第

61巻～70巻を1986年7月30日に寄贈致しました。

プロジェクトNo.5（青年の技術習得に対する援助）は本年度当委員会が新たに計画した活動で、RIには青少年交換、GSE等、日本には米山記念奨学会、又クラブ単位でも海外との交流や活動等がありますが、それらとは異なった人的交流により国際理解を深めることができないものかを調査研究し、実行しようとして試みたものです。結果は、新規の計画であったために調査研究のみにて今年度は終了し、何らの活動も行えずに終わってしまいました。しかし、この調査結果が次年度の活動に少しでもお役に立てば幸いです。

次に、カパラス会長は「1986～87年度におけるクラブ・レベルでの顕著な50件のWCSプロジェクトに特別賞を贈呈」という提唱をされました。これに対し、当地区より札幌西RCと北広島RCを三浦ガバナーが推薦されましたが、その結果、札幌西RCがその50件の1つに選ばれカパラス会長より賞状が送られて参りました。また『ロータリーの友』3月号40頁に北広島RCの提供された消防自動車及び救急車の記事が掲載されました。

最後に、今年度地区内各クラブの会長・幹事、国際奉仕委員長、そして会員の皆様方からお寄せ頂いたご好意と友情、そして暖かいご協力に対し心より感謝申し上げます。



(13) 青少年奉仕委員会



委員長
高田 春夫
(札幌幌南)

4月23日(木)午後6時より、センチュリーローヤルホテル(札幌)において第1回青少年奉仕委員会が開催されました。

三浦ガバナーを始め、森松カウンセラー、地区役員各位のご臨席を得て、田中公、宮澤正、神代利臣、及び谷口良一の各委員らは「青少年の指導はどうあるべきか」の命題のもと、活発な意見の交換と討議を行い、最後に三浦ガバナーのご提案によるロータリアンを対象とした「青少年指導育成研修会」を6月28日に開催することにして、具体的な検討に入りました。

6月28日(日)午前9時より、大同生命ビル(札幌)12階において「ロータリー青少年指導育成研修会」を開催致しました。

三浦ガバナー、坂本ガバナー・エレクト及び森松カウンセラーを始めとして、58名のロータリアンが第251地区の各クラブから参集し、熱のこもった1日研修が実施されました。即ち、日本ボーイスカウト北海道連盟岩井コミッショナーによる研修講演を皮切りに、ワークショップ「青少年とのつき合い方」、ワークショップ「インターアクトおよびローターアクトの指導」、研修討論「青少年の心とからだ」がグループ単位によって討論が行われ、その成果は感想文の提出によってクライマックスとなり、高い価値観による評価とともに次期への継続の声となって無事終了致しました。

(14) インターアクト委員会



委員長
田中 公
(札幌東)

活動方針として年度当初に計画した如く、活動する機会を多く捉え、また自らの企画によりその機会を生み出し得るよう委員一同挙げて努力しました。特に「各ロータリアンは青少年の模範、という標語に表現されているように、まずロータリアンが青少年に接触する機会を多く持つことに全てが始まるものと考え、インターアクトクラブの活動とロータリークラブの活動において、でき得る限り共同の活動、共同の行動をとるように配慮されるべく色々な機会に提言をさせて頂きました。インターアクト年次大会においては、交換学生を交じえての大会とし、

諸外国人の指導力、意識等を理解するための機会を持つ等企画し、目指した方針に沿って行動しました。

1. 活動計画

地区委員会等において夫々情報の交換を行ない、各クラブの活動の促進を計った。現在スケールメリットを考えて数クラブ合同の事業として実施されているものもあるが、ロータリークラブとの協同事業については未だしの感が強い。

2. 国際理解の推進

交換学生としては北海高校IACより1名の派遣があった。受け入れ交換学生との交歓会が1回実施された。実施方法について一段の研究と訓練を要する。

3. 研修活動の活発化

研修旅行の実施について、本年は時期的な都合と研修先との調整がとれず中止のやむな

きに至ったので、顧問教師について、第255地区、土浦・水戸両地域において、問題点を挙げての研修を実施した。

4. 新クラブの提唱

新しいクラブの提唱については別途検討し、再考慮の要あり。

5. 研修旅行団の受け入れ

例年の如く百景園において交歓会を実施し

て終了した。

6. 年次大会、1日研修会

夫々予定通り実施して終了した。

(15) ローターアクト委員会



委員長
宮澤 正
(札幌北)

若い人達と共に行動し、楽しく過ごした1年でありました。新クラブの結成は力不足で見ることではできませんでしたが、三浦ガバナーのご提案で実施させて頂いたRC地区大会でのローターアクトの店、一村一品が参加ロータリアン、ご夫人のご協力で大成功を納めました。アクター諸君も、ロータリーの地区大会に初めて参加した者が多く、そのスケールの大きさとロータリアンの暖かいご協力に皆感激しておりました。この出店の成功で各クラブの資金調達もでき、これを契機として各クラブとも会員の増強、そしてクラブの活性化に大きく前進し、次年度以降に明るい希望を持つことができました。また今年度は各クラブの創立記念の行事が多く、多忙な1年でありました。

以下1年間の主な行事をご報告致します。

- 7月19日 地区RA委員会、運営委員会開催
- 20日 提唱RCのRA委員長会議及びRA会長・幹事会
- 8月24日 室蘭RAC創立15周年記念式典
- 9月6日 函館RAC創立10周年記念式典
- 10月5日 札幌西RAC創立15周年記念式典
- 10月10日 RC年次大会参加(～11日)

RAの店出店(11クラブ)

- 11月1日 RA年次大会(～2日)
ホスト伊達RAC
コ・ホスト伊達RC
地区委員会、運営委員会
- 11月8日 RA五大学交流会
ホスト岩見沢RAC
- 12月19日 韓国RA受け入れ打ち合わせ委員会
- 1月8日 グァム島研修旅行の委員会
- 1月9日 韓国RA受け入れ(於韓国領事館)
- 2月1日 グァム島研修旅行結団式
- 2月4日 韓国RA訪日受け入れ(～6日)
- 2月8日 グァム島研修旅行(～12日)
- 3月7日 RA地区代表会議(～8日、於成田)
- 4月26日 岩内RAC創立10周年記念式典
- 5月24日 RA地区協議会
ホスト室蘭RAC
コ・ホスト室蘭RC
- 6月20日 RA五大学交流会
ホスト函館大学RAC

(16) 広報委員会



委員長
富原 薫
(札幌)

昭和61年9月16日(火)午後6～8時、札幌グランドホテル別館4F「すずらん」において地区役員、地区大会役員同席のもと地区広報委員会

を開催し、10月9～11日開催の1986～87年度R I 第251地区年次大会について、報道機関への取材依頼（殊にポリオ・プラス計画をアピール）やR I 会長代理の記者会見（於札幌パークホテル）の方法等協議致しました。

また昭和62年4月のカパラスR I 会長ご夫妻ご来札の折にもマスコミに働きかけ、そのインタビューや歓迎合同例会の様子が北海道新聞、HBC等で報道されました。

(17) 増強・拡大委員会



委員長
白石 欽一
(札幌手稲)

本年度地区増強・拡大委員長のご指名を受けこの大役をどの様に果すかということに悩んだ訳ですが、7月3日、東京に於けるアジア第1・第3ゾーンの会員増強セミナーに参加させて頂き、国内各地区の色々な実情を伺い大いに得る所がありました。7月20日の地区増強・拡大委員会において、各分区代理さんに、分区内の増強を強力に推進して頂きカパラスR I 会長の要望される純増3%を何とかして達成させるべくお願いをした次第です。

アッという間に1年が経過し、この程地区内の会員増強状況がまとまりましたが、残念なことに純増2.44%と目標を下回る結果に終わりました。

1986年7月1日(期首)	会員数	3,563名
1987年6月30日(期末)	〃	3,650名
	純増	87名 (2.44%)

各分区毎の純増は、

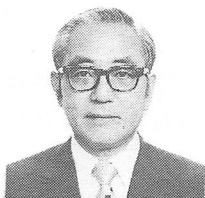
第1分区	3.2%	第7分区	6.3%
第2分区	0.3%	第8分区	5.0%
第3分区	2.9%	第9分区	1.1%
第4分区	3.1%	第10分区	0%
第5分区	2.1%	第11分区	-(3名)
第6分区	2.7%		

以上のように分区毎にバラツキがあります。やはり分区毎の色々な条件が大きく影響しているものと考えられます。1987～88年度のご参考になればと存じます。

拡大については私の立場で到底取扱えるものではなく、全て三浦ガバナーにお任せすることになり申し訳なく思っております。

東京のセミナーに出席して判ったことですが、日本の各地区の半数位はパスト・ガバナーが地区増強・拡大委員長になっていらっしゃるようです。そしてその方々のご発言は、やはりガバナーをご経験されたキャリア、識見、迫力等、到底我々の遠く及ばざるものを感じました。地区に於ても毎年増強、拡大が最重点に挙げられていますので、これを強力に訴え推進して行くにはパスト・ガバナーのお力をお借りするのがベストではないかという感じを強く致しました。

(18) ロータリー財団委員会



委員長
西條 正博
(札幌)

1. 寄付の概況 1987年3月31日現在
全世界457地区中

ロータリー財団への寄付

52位 121,900ドル

ポリオ・プラスへの寄付

44位 331,500ドル

財団への累積額総計

24位 1,711,000ドル

これを支えた大きな要因は

ポール・ハリス・フェロー 89名

他に、ポリオ・プラス指定 17名

スター・フェロー 13名

合計 119名

と、かつて無い多数のポール・ハリス・フェローの誕生であります。

2. ロータリー財団月間への働きかけ

① 「ロータリー財団」というパンフレットを作成し、地区内全会員に1部宛配布しました。

② 札幌市内、その近隣、及び函館市内の各数クラブからご依頼を受け、委員長、委員がスピーチを致しました。

3. 委員会開催

ポリオ・プラス委員会は、年度中4回委員会を開催しましたが、その第4回目の2月13日(金)を当委員会との合同委員会として、意見を交換し、特に、各分区のIGFに対する働きかけを討論しました。

(19) 奨学生・学友委員会



委員長
石垣 博美
(札幌西)

三浦ガバナーを始め地区役員の方々のご支援を得て、当委員会の期首における目標は、おおむね達成することができました。また当委員会の委員、カウンセラーの方々にも、お忙しい中を度重なる会合にご足労頂き、その都度適切な助言やご指導を頂きました。お陰様でこの一年は、楽しく且つ有意義なプログラムを実施することができたと思います。深く感謝申しあげます。

当委員会の基本方針として、私共は次の3点に重点を置きました。

1つは、財団奨学生選考試験方法を従来とは

一味違ったものに工夫したことです。これまで選考基準は、①推薦RC分布、②男女比率、③課程分布、④専門別、⑤派遣国分布から成っていました。これに今年度は、⑥なるべく職業研修やジャーナリズムなどによる地域還元度、つまり定着性の高い候補者を選びたいという気持ちを加味しました。学生・研究者中心の英才教育だけではなく、北海道の地域特性から見て今求められている人材教育とは何か、ということを考えてのことであります（『ガバナー月信』第10号参照）。

第2には、今年選抜された奨学生たちの結束を固めることを委員会活動の柱としたことあります。これがないため、学友会の動きに飽き足りない者が出てくると考えたからです。そこで正候補者の奨学生達を、出発前のオリエンテーションやカウンセリングのかたわら、できるだけ頻繁に集めて、互いの親睦を深め、ば

らばらにならないよう工夫しました(『FELLOW』第3号参照)。

最後に、学友会誌『FELLOW』に関する新機軸です。現在第4号を編集していますが、せっかくこのようなコミュニケーション・プラザが継続されているので、これに米山奨学生やローターアクターの人達を参加させるように呼びかけたことです。このような試みが成功するかどうか、米山記念奨学会委員会やローターアク

ト関係各位からもご協力頂ければと願っております。

終わりにひと言。身辺多忙のため委員長として十分な働きもできませんでしたのに、どうやら無事に任務を全うすることができましたのは偏に皆様のお陰であります。重ねてお礼を申しあげ、活動報告と致します。

(20) G S E 委員会



委員長
小林 博
(札幌北)

昭和61年11月13日(木)、ガバナー事務所において三浦ガバナー、坂本ガバナー・ノミニ、越山次年度地区幹事、そして前年度地区GSE委員会の洪委員長同席のもとGSE委員会を開催

し、次回のGSEにつき1987～88年度(次年度)に計画を進め、1988～89年度に実施することとしました。交換地区には米国の717、719、510地区が候補に挙げられましたが、その決定については、2月にナッシュビルで開催される国際協議会において坂本ノミニが、これら三地区のガバナー・ノミニと談合の後、改めて協議することとなりました。(しかし残念ながら同協議会でコンタクトは取れなかった模様である)

(21) ポリオ・プラス委員会



委員長
西條 正博
(札幌)

1. 寄付の概況

日本ポリオ・プラス委員会調査による

1987年5月31日現在の寄付実績は14,716,704円で、日本全国27地区中15位であった。

2. 地区内クラブへの働きかけ

- (1) 河邨文一郎カウンセラー作成のスライドを上映するよう機会ある毎に啓蒙し、その成果はあったと思う。

- (2) 『ガバナー月信』、『情報資料室ニュース』に随時文章を掲載して頂き、クラブの協力を求めた。

- (3) 地区大会の分科会、地区協議会、IGF等、大きな集会において、ガバナーのご指導の下、講演、意見の発表、討論等を行いポリオ・プラスに対する認識を深めて頂くことに努力した。

3. 第3回アジア第1・第3ゾーンロータリー財団増進セミナーへの出席

1986年8月12日(金)、於東京ステーションホテル

ロータリー財団委員長が全員出席し、向笠ロータリー財団管理委員を中心に、今回は日本におけるポリオ・プラスの重要人物全員を網羅

して、徹底した教育を受けた。

詳細な報告書を作成して三浦ガバナーに提出した他、このコピーを関係者数十名に差し上げてご参考に供した。

4. 委員会の開催

第1回 6月14日(土)14:30～15:30

於センチュリーローヤルホテル(札幌)

議題 地区の募金目標の決定

第2回 7月22日(火)15:00～17:00

於北海道防災センタービル(札幌)

議題 スライド「ポリオ・プラスー挑戦すべき課題」の台本等の検討

第3回 10月30日(木)17:00～18:40

於北海道防災センタービル(札幌)

議題 スライド2種類の映写と意見の交換

第4回 2月13日(金)18:30～20:45

於共済サロン(札幌)

ロータリー財団委員会との合同委員会

議題 IGFに備えてスライドを中心に討議

5. その他

昭和61年11月14日、国際平和年を記念し、世界各国に平和のメッセージを届けながら地球を一周するファースト・アース・ランの前夜祭(於京王プラザホテル札幌)に出席して協賛した。

(22) 米山記念奨学会委員会



委員長
齊藤 久名
(札幌西)

ロータリーの奉仕活動は多岐に亘り、夫々に或る程度の成果が認められますが、或る種の諸活動、諸行事等については、会員一般が十分な意義と理解を持つことは難しい。クラブの在籍年数や地域差、資質や個性の違いから精粗のばらつきが目立つように思います。

ときの地区ガバナーは、この現実を踏まえて年度当初重点施策を発表し、ターゲットを示すのですが、この方針は必ずしも徹底しないようです。

ロータリー米山奨学事業もその一つで、他の奉仕活動に比べて理解が浸透しているとは思えません。今年度第251地区三浦ガバナーは、米山事業の振興に力点を置き、あらゆる機会を捉えて熱心に説得されたことは高く評価し敬意を表する次第です。

米山委員会としても、この意図の延長線上で、如何に効果の高い有益な事業であるか、を中心に、折ある都度主張してきた処であります。残念ながら期待通りの協力は得られませんでした。全国27地区中、寄付総額は現在でも極めて低位にランクされたままです。地区委員会のみならず、各クラブ執行部に於ても、米山事業の見直しと反省が必要ではないでしょうか。

1986～87年度の地区米山奨学事業の活動の主なものを次に記します。

1. 米山記念奨学会評議員会

1986年8月28日(木)

於東京プリンスホテル

各地区米山評議員出席

2. 米山記念奨学委員長全国会議

1986年8月29日(金)

於東京プリンスホテル

各地区米山委員長出席

3. 第251地区米山記念奨学委員会

1987年1月17日(土)

於センチュリーローヤルホテル(札幌)

三浦ガバナー、森松米山理事・P G、
坂本ガバナー・ノミニー、望月米山委
員会カウンセラー・P G、斉藤委員長
秦泉寺地区幹事、三谷地区委員、金田
地区副幹事出席

4. 第251地区米山奨学生を囲む座談会・夕食
会

1987年1月17日(土)
於センチュリーローヤルホテル(札幌)
三浦ガバナー、森松米山理事・P G、
坂本ガバナー・ノミニー、望月米山委
員会カウンセラー・P G、斉藤委員長
三谷地区委員、米山奨学生8名、指導
教官3名、カウンセラー6名出席

5. 米山記念奨学生選考試験

1987年3月22日(日)
於札幌パークホテル
選考委員5名、米山受験学生21名出席
面接考査

6. 米山奨学生のオリエンテーション・昼食会

1987年5月15日(金)

於札幌国際ホテル

三浦ガバナー、坂本ガバナー・ノミニ
ー、森松米山理事・P G、望月米山委
員会カウンセラー・P G、米山新規学
生7名、カウンセラー6名出席。

7. 第251地区年次大会・国際奉仕分科会

1986年9月9日(木)・10日(金)

於北海道厚生年金会館

米山についても討議、報告がなされた。

8. 米山月間(10月)

地区内各クラブからの要請により、米山月
間に因んだスピーチのため講師派遣。クラブ
例会に米山奨学生の日常体験、感想などを聞
くプログラムを組んでもらった。

なお10月に限らず、希望があれば例会始め
各種会合に積極的に講師が出席した。

(23) 情報資料室



室 長
越山 司
(札幌)

★委員会

・昭和61年6月13日 於三浦ノミニー事務所
年度計画を次のように策定した。

- ① 前年度に引続き地区情報誌を発行
するが、隔月発行に変更すると共に
『情報資料室ニュース』と改称し、
主な配布先を地区内ロータリー情報
委員長あてとする。
- ② 編集に当たっては、身近な情報を

適時に掲載する方針とし、そのため
ガバナー、パスト・ガバナーに寄稿
を願うほか、地区内ロータリアンの
投書も歓迎する。

- ③ 貸し出しスライドセット及び貸し
出し図書を整備し、利用の活発化を
図る。

・昭和61年8月25日 於三浦ガバナー事務所
年度活動計画の細部につき検討した。

★『情報資料室ニュース』の発行

- ・『情報資料室ニュース』第1号(1986年7
月号)から第6号(1987年6月号)まで隔
月に6回発行した。
- ・最終第6号は、ロータリアンの「声」欄の
特集とした。

- ・これに加えて、1986年7月号付録として「スライド・図書貸し出しリスト」を発行して地区内クラブに送付した。
- ・更に、前項貸し出しリストを再整備して『情報資料室ニュース』特集号とし、1987年5月10日地区協議会（会長・幹事分科会）において地区内クラブに配布した。

★貸し出しスライド・図書利用状況

- ・年度内貸し出し件数は32件であったが、その約半数はポリオ・プラス関係で、しかも当地区特別製作にかかる「ポリオ・プラス——われらの挑戦」に申し込みが集中したため、急速2セットを追加購入して貸し出しに応じた他、R I 製作の『なぜポリオ・プラスなのでしょうか』には日本語テープが付いていないので、利用促進のため日本語カセットテープ2本を特製して貸し出しに供した。
- ・ポリオ・プラス以外は、ロータリー財団月間に際しての利用が7件あったほか、ライラ4件、会員増強2件で、例年に比し低調であった。
- ・図書貸し出しについては、『Rotary Q&A』『ロータリー職業奉仕事例集』、『ロータリーニュース』の僅か3件に止まった。

総 括

- ・地区情報資料室の存在については、やや地区内クラブに浸透しつつあるよう感ぜられるが、『情報資料室ニュース』がクラブの情報委員長の手元にとどまって会員に円滑に伝達されていない場合が多い。
- ・当委員会の活動は、その性格上倦むことなく継続することが肝要と考えられるので、地区大会、地区協議会等あらゆる機会を利用し、情報資料室委員が任務を分担するなどして、ロータリー情報＝ロータリー教育の意欲をもって活動を続けられるよう期待致します。

- ・特に、I G Fは具体的問題が討議されることが多いので、提起された問題に対して適確なロータリー情報を提供出来るように、分区代理と密接な連絡を取って事前に議題を承知しておき、分区代理に適当な資料を提供すれば大変有効と考えます。
- ・スライド・図書貸し出し利用状況を通観すると、これを利用するクラブは毎年利用するが、関心の全く無いクラブもあり、利用に甚だしく偏りがあります。関心の薄いクラブには、情報資料室から利用を勧奨するなど積極的呼び掛けが必要であります。

4. 青少年奉仕

(1) 青少年指導育成研修会

目的 ロータリーにおける「青少年の指導育成はどうあるべきか」をテーマに、地区内各クラブの青少年奉仕活動に関心のあるロータリアンが一堂に会し、具体的指導方法を研究討論するとともに、指導者として研鑽を積むものである。

日時 昭和62年6月28日(日) 9:00～15:40

場所 大同生命ビル 12F 大会議室
(札幌市中央区北3条西3丁目)

出席者 総参加者数 67名

三浦 祐晶 (札幌北・ガバナー)
坂本 忠 (札幌・ガバナーエレクト)
森松 定男 (札幌南・青少年奉仕委員会カウンセラー)
秦泉寺 寛 (札幌北・幹事)
高田 春夫 (札幌南・青少年奉仕委員長)
田中 公 (札幌東・IA委員農)
宮澤 正 (札幌北・RA委員長)
谷口 良一 (札幌北・青少年奉仕委員)
内村 久吾 (岩見沢・IA委員)
松浦 百秋 (函館五稜郭・IA委員)
斉藤 紀一 (函館北・RA委員)
千田一一彦 (岩見沢・RA委員)
近藤 良一 (札幌北・副幹事)
葛西 克巳 (札幌北・副幹事)
堀居 信次 (札幌北・副幹事)
越山 文哉 (札幌・副幹事)
加藤 高正 (札幌北・資金委員長)
茂木 常一 (札幌北・会計)
岡崎 純 (札幌西・ロータリーの友委員)
小田 幸晴 (深川) 山腰 修司 (滝川)
太田 昌利 (〃) 毛利 清徳 (美唄)
澤田 茂 (留萌) 伊原 洋三 (〃)
渡部 芳巳 (赤平) 西村 孚 (江別)
松田 光幸 (〃) 古石 允雄 (〃)
木村 正勝 (砂川) 山崎 稔 (岩見沢)
野上 次夫 (滝川) 太田 信康 (〃)

植田 英隆 (札幌) 河合 浩司 (白老)
倭 昭三 (札幌西) 脇本 徹哉 (苫小牧)
辻 與一 (札幌手稲) 今井 重行 (苫小牧北)
村木 靖雄 (〃) 藤倉 澄雄 (〃)
高橋 直喜 (札幌北) 佐藤 幸雄 (えりも)
後藤 憲市 (〃) 二本柳重典 (静内)
桐生 泰夫 (札幌西北) 田口 邦臣 (浦河)
武部 實 (札幌南) 高田 弘之 (〃)
野村 昭光 (札幌東) 勝谷 亘 (室蘭東)
田澤 泰明 (札幌南) 立木 正美 (〃)
池田 淑治 (小樽) 大北 健雄 (函館亀田)
高慶 繁博 (千歳) 村上 教忍 (函館北)
佐藤寛太郎 (北広島)

実施要領

1. 班の編成 A、B、C、D、E、F、G、Hの8班編成(各班10名以下)
2. ワークショップは、司会者から提起された問題点を班毎に徹底的に討論協議し、その班の代表者が意見を発表し、更に全体で自由交見して、司会者の「まとめ」で終わる。
3. その他食事等生活は全て班単位で行うこととし、参加者の連帯感の高揚に努めた。



プログラム

9:00 登 録 開 始 総合司会——地区副幹事 堀居 信次
 9:20 オリエンテーション 地区幹事 秦泉寺 寛
 9:30 挨拶と講演
 「青少年奉仕活動の問題点を掘り下げよう」
 地区ガバナー 三浦 祐晶

9:50 研 修 講 演
 「青少年の指導はどうあるべきか〜
 〜ボーイスカウトにおける指導の実際〜」
 日本ボーイスカウト北海道連盟コミッショナー 岩井 泰夫

10:30 質 疑 応 答 司会——地区副幹事 堀居 信次
 10:50 オリエンテーション 地区幹事 秦泉寺 寛
 11:00 ワーク・ショップその1
 「青少年との付き合い方」

司会——地区青少年奉仕委員長 高田 春夫
 司会——地区青少年奉仕委員 谷口 良一

12:00 昼 食
 13:00 研 修 討 論
 13:00 「青少年の心とからだ」

司会——地区幹事 秦泉寺 寛
 司会——地区副幹事 近藤 良一

13:40 ワーク・ショップその2
 「インターアクトの指導について」
 司会——地区IA委員長 田中 公
 「ローターアクトの指導について」
 司会——地区RA委員長 宮澤 正

15:00 休憩・感想文提出
 15:20 総 括 地区青少年奉仕委員長 高田 春夫
 15:30 所 感 地区ガバナー 三浦 祐晶
 15:40 閉 会 ・ 散 会 地区青少年奉仕委員会カウンセラー 森松 定男

実行委員

ガバナー 三浦祐晶 地区幹事 秦泉寺寛
 ガバナー・エレクト 坂本 忠 地区副幹事 近藤良一
 地区青少年奉仕委員会カウンセラー 森松定男 〃 葛西克巳
 地区青少年奉仕委員長 高田春夫 〃 堀居信次
 地区青少年奉仕委員 谷口良一 〃 越山文哉
 地区インターアクト委員長 田中 公 地区会計 茂木常一
 地区ローターアクト委員長 宮澤 正 地区資金委員長 加藤高正
 ロータリーの友委員 岡崎 純



(2) インターアクト

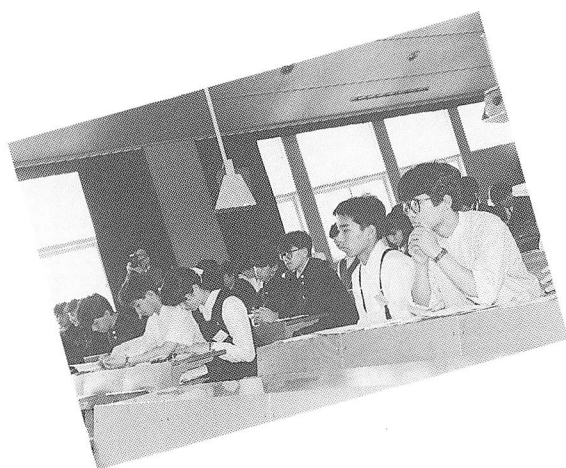
(a) 年次大会

開催月日 1986年10月18日(土)～19日(日)
 開催地 札幌市
 会場 手稲山記念ランド研修センター
 ホストクラブ 札幌第一高等学校 I A C
 コ・ホストクラブ 札幌 R C
 分科会テーマ 「今、留学生は」
 参加者数 インターアクター 65名
 顧問教師 10名
 ロータリアン 17名
 ホストクラブ・ロータリアン 9名
 計 101名



(b) 1 日研修会

開催月日 1987年6月21日(日)
 開催地 札幌市
 会場 札幌商業高等学校視聴覚教室
 ホストクラブ 札幌商業高校 I A C
 コ・ホストクラブ 札幌南 R C
 分科会テーマ ・インターアクター
 「生き生きとした活動作り」
 「活動報告・情報交換」
 ・ロータリアン
 「この1年間を振り返って」



参加者数 インターアクター 42名
 顧問教師 7名
 ロータリアン 11名
 ホストクラブ・ロータリアン 14名
 計 76名

(c) R I 第255地区へインターアクト

顧問教師研修旅行団派遣

日程 1987年7月2日(木)～4日(土)
 派遣先 R I 第255地区(土浦 R C、水戸 R C)
 参加者
 ・ロータリアン
 田中 公 (地区インターアクト委員長・札幌東)
 岩崎鉄男 (次年度地区インターアクト委員長・札幌)



・顧問教師

太田慎一（室蘭大谷高校）
 遊佐悦大（函館ラ・サール高校）
 畑田雅延（駒大附属岩見沢高校）
 高田 衛（札幌商業高校）
 足利芳文（登別大谷高校）
 上島幸嗣（札幌第一高校）

(d)第255地区とのインターアクト交歓会

R I 第255地区インターアクト研修旅行団（
 保坂正雄団長他94名）が東北地方を廻りなが
 ら当地区に7月25日到着した。

歓迎交歓会 1986年7月25日(金)

於アサヒビール百景園(札幌)

参加者数 165名

なお、旅行団は翌日元気よく函館に向った。



(e)地区内インターアクトクラブ状況(1987年3月末日現在)

地区代表：山田耕士(函館ラ・サール高校IAC)

インターアクトクラブ	スポンサー クラブ	発会日	会 員 数 (名)	例会日	開 会 時 間	例 会 場	会 長	幹 事
室 蘭 大 谷 高 校	室 蘭 東	1965.5.7	9	金	14:15	部 室	東條美和子	伊藤由佳子
札 幌 商 業 高 校	札 幌 幌 南	1966.6.20	4	水	15:15	図 書 室	本間 啓一	竹内 義幸
函館ラ・サール高校	函館五稜郭	1966.11.12	17	不定	不 定	社会科教室	古川 真	船越 英人
希望学園札幌第一高校	札 幌	1966.11.15	14	水	15:30	部 室	島田 吉美	松沢 朋子
駒沢大附属岩見沢高校	岩 見 沢	1967.2.11	8	第1・3水	16:00	校 内	立田 理香	新谷 明美
北 海 高 校	札 幌 東	1971.6.5	16	第1月	14:30	教 室	白崎 智	吉田 章人 若山 義行
登 別 大 谷 高 校	登 別	1979.6.29	16	木	14:30	校 内	坂木 照寿	野宮 一

(3) ローターアクト

(a) 年次大会 (第14回)

開催月日 1986年11月1日(土)～2日(日)

開催地 伊達市

会場 ロイヤル

ホストクラブ 伊達RAC

コ・ホストクラブ 伊達RC

大会テーマ 「レッツ アクティブ!! レッツ ビギン!!」

参加者来賓	15名
ロータリアン	45名
ローターアクター	100名
ロービー	12名
交換学生	1名
計	173名



(b) グアム島研修旅行

日程 1987年2月8日(日)～12日(木)4泊5日

団長 梶 雅之 (札幌西RAC)

副団長 佐々木春美さん (伊達RAC)

参加者	ロータリアン・家族	4名
	ローターアクター	15名
	その他	3名
計		22名



(c) ローターアクト地区代表会議

開催月日 1987年3月7日(土)～8日(日)

開催地 成田市

会場 ホテル日航成田

参加者 宮澤正 (地区ローターアクト委員長・札幌北RC)
山本裕二 (ローターアクト地区代表・伊達RAC)
常盤美恵子 (次年度ローターアクト地区代表・札幌大学RAC)

(d) 地区協議会

開催月日 1987年5月24日(日)

開催地 室蘭市

会場 室蘭文化センター

ホストクラブ 室蘭RAC

コ・ホストクラブ 室蘭RC

全体テーマ 「不況を考える」



- 分 科 会 1. 会長・幹事部門
2. クラブ奉仕部門
3. 社会奉仕部門
4. 国際・職業奉仕部門

参 加 者 ロータリアン 16名
ローターアクト 78名
計 94名

なお、旅行団は翌5日(木)北海道大学、札幌雪まつり等を見学の後、次の訪問地東京に向った。

(e)韓国ローターアクト研修旅行団来札

R I 第370地区(大邸・慶州地方)ローターアクト交流訪日団一行17名が、同地区ガバナ一車完鎔氏ご夫妻をはじめ呂朝淵団長に引率されて2月4日(水)夜来札された。

歓迎レセプション 1986年2月4日(水)

於ホテルアカシヤ
参 加 者 ロータリアン 22名
ローターアクト 16名
そ の 他 2名
計 40名



(f)地区内ローターアクトクラブ状況(1987年6月現在)

地区代表:山本裕二(伊達RAC)

ローターアクトクラブ	スポンサー ク ラ ブ	発会日	会 員 数 (名)	例会日	開 会 時 間	例 会 場	会 長	幹 事
岩 見 沢	岩 見 沢	1968.7.1	14	月・水	月12:00 水15:00	学 内	糟谷 勉	岩田 真人
北 海 道 拓 殖 短 大	深 川	1970.5.30	18	第1・3水	19:00	納 内 町 コイ ミセニター	青木 孝慶	一橋 千佳
函 館 大 学	函 館 東	1971.1.27	10	月	12:30	学 内	藤原 徹	曹 永樹
室 蘭 北	室 蘭 北	1971.11.26	35	隔週水	16:00	文化女子大 学室蘭短大	田村 恵	及川 佳子
室 蘭	室 蘭	1972.3.21	16	第1・3火	18:30	室蘭プリン スホテル	佐藤 幸	護摩堂利子
札 幌	西 札 幌	1972.6.27	12	第1・3火	18:30	共済サロン	細井 和義	斉藤 敏文
留 萌	留 萌	1973.4.1	19	第2・4火	19:00	ニューホテル カクセン	阿部千恵子	堀井くみ子
伊 達	伊 達	1973.11.27	16	第1・3金	19:00	ローヤル	小林 進	伝庄美智子
札 幌 大 学	札 幌 幌 南	1974.6.21	21	木	12:20	学 内 サ クル 会 館	常盤美恵子	川畑 智子
函 館	函 館	1976.4.29	10	第1・3木	19:00	五島軒本店	高島隆三郎	鹿内久美子
赤 平	赤 平	1976.5.20	10	第1・3木	19:00	赤平市勤労 青少年ホーム	伊藤 嘉悦	中沢 晴美
岩 内	岩 内	1977.3.3	13	第2・4水	19:30	朝 日 生 命 ビル 3 階	小川 尚登	丸井 宣仁
函 館 北 部	函 館 北	1978.6.15	23	第2・4火	19:00	函 館 国 際 ホ テ ル	浜中 等	酒井 信裕
札 幌	札 幌 北	1978.12.11	16	第1・3金	19:00	札 幌 共 済 ビ ル	森 康雄	亀山 亨 坂本 幸嗣

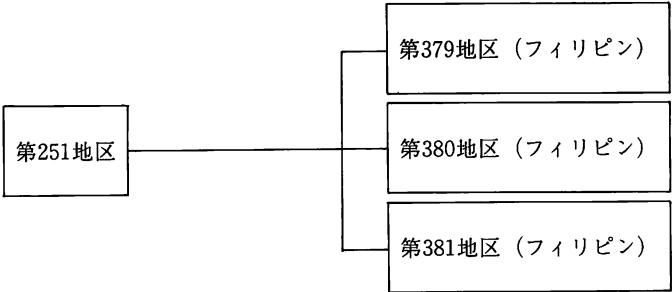
注:札幌北RACは年度中に幹事の異動があった(下が異動後)。

5 . 国 際 奉 仕

(1) 地区内クラブの海外姉妹提携状況

第1分区	深 川	姉妹クラブ	韓国、南海ＲＣ（D366）
	留 萌	姉妹クラブ	韓国、論山ＲＣ（D368）
第2分区	砂 川		アメリカ、エヤーＲＣ（D791）との友好を維持する
	滝 川		アルゼンチン、ロザリオＲＣ（D488）、ベルグラノーＲＣ（D489）と夫々友好文通中
	〃		オーストラリア、ギルガードラＲＣ、ブロークウッドＲＣと文通継続
第3分区	江 別		アメリカ、グレシャムＲＣ（D510）と交流
第4分区	札幌西	姉妹クラブ	フィリピン、西ダバオＲＣ（D386）
	〃	〃	フィリピン、マカティ西ＲＣ（D382）
	〃	〃	アメリカ、ユチカＲＣ（D715）
第5分区	札幌東	姉妹クラブ	アメリカ、北ポートランドＲＣ（D510）
第6分区	岩 内	姉妹クラブ	アメリカ、ピータースバーグＲＣ（D503）
第7分区	千 歳		千歳市の姉妹都市であるアメリカ、アンカレッジＲＣ（D503）と提携を検討中
	恵 庭		台湾、永和ＲＣ（D345）と姉妹締結交渉中
	白 老	姉妹クラブ	カナダ、ケネルＲＣ（D504）と1980年に締結
第8分区	浦 河	姉妹クラブ	韓国、平沢ＲＣ(D369)、台湾、中壢ＲＣ(D345)と姉妹クラブを締結
第9分区	伊 達		スウェーデン、ピテオＲＣ（D232）と交渉中
	室蘭北		文通による交流を計画中
第10分区	函 館	姉妹クラブ	台湾、澎湖ＲＣ（D346）との交流を一層深めたい。
第11分区	函館東	友好クラブ	韓国、ソウル汝矣島ＲＣ（D365）
	函館北	友好クラブ	台湾、台北東北ＲＣ（D345）

(2) 海外地区との姉妹提携状況



(3) 青少年交換学生

オーストラリア関係交換学生 (1985～86年度)

受け入れ学生氏名	スポンサー地区	ホストスクール	派遣学生氏名	ホストクラブ スポンサークラブ
Matthew Butler	975	北海高校	佐々木 律	札幌西北
Robert Clark	980	札幌北高校	佐藤 明美	札幌北
Cherie Desreux	971	函館遺愛女子高校	小 泉 核保	函館北
Rachael Field	965	札幌東高校	伊 藤 詩	札幌東
Mardi L. Francou	950	札幌平岸高校	矢 橋 潤一郎	札幌西
Liesl Pica	952	札幌西陵高校	吹 田 好恵	札幌手稲
Andrea Thew	964	岩見沢西高校	阿 部 豪紀	栗 沢

オーストラリア関係交換学生 (1986～87年度)

受け入れ学生氏名	スポンサー地区	ホストスクール	派遣学生氏名	ホストクラブ スポンサークラブ
Rachel Walker	965	札幌北高校	佐 藤 恒太郎	札幌北
Felice Osborne	952	札幌西陵高校	山 本 律子	札幌手稲
Linda Ann Wilson	950	小樽潮陵高校	神 田 康子	小 樽
Catherine Faulks	971	函館遺愛女子高校	堺 谷 陽子	函館東
Warwick Matthews	980	札幌光星高校	田 所 光博	札幌幌南
Kylie Burke	964	大谷女子高校	村 上 雄一	恵 庭
Kenneth Fowlie	975	札幌新川高校	中 田 英伸	札 幌

アメリカ関係交換学生 (1986～87年度)

受け入れ学生氏名	スポンサー地区	ホストスクール	派遣学生氏名	ホストクラブ スポンサークラブ
Joyce E. Gresko	715	札幌藻岩高校	渡 井 桂	札幌西
Michael G. Prince	510	伊達緑ヶ丘高校	藤 本 祐加	伊 達
Renell C. Welch	717	室蘭ベネディクト 女子高校	黒 田 真佐子	室 蘭
Megan L. Taylor	510	札幌東高校	青 木 志保	札幌東

カナダ関係交換学生 (1986～87年度)

受け入れ学生氏名	スポンサー地区	ホストスクール	派遣学生氏名	ホストクラブ スポンサークラブ
Teresa A. Shock	536	岩見沢西高校	宮 入 敬子	岩 見 沢

(4) 地区世界社会奉仕(WCS)プロジェクトの参加状況

プロジェクトとその内容	対象国	対 象 R C	援助の内容	予 算 額	地区内クラブ 参 加 実 績
1. 払い下げ消防 自動車の贈呈	フィリピン	サンフェルナンド (D.379)	サンフェルナン ド市の災害予防	整備費 20万円/台 予備費 10万円/台 2～3台 600,000～900,000 円	岩見沢 80,000円 北広島 消防車(1台) 静 内 消防車(1台)
	フィリピン	カガヤンデオロシティ (D.387)	カガヤンデオロ 市の災害予防		
	フィリピン	バギオ (D.379)	バギオ市の災害予防		
2. 救急車或はレント ゲン車、パトロー ルカー、自動二輪車、 無線機等の贈呈	フィリピン	バギオ (D.379)	災害救助	整備費 20万円/台 予備費 10万円/台 2～3台 600,000～900,000 円	札幌西 救急車(2台) 北広島 救急車(1台) 静 内 30,000円
	フィリピン	サンホセデルモンテ (D.380)	災害救助		
	マレーシア	ペナン (D.330)	災害救助		
3. バギオ日本人 会へのスカラ シップの贈呈	フィリピン	バギオ (D.379)	日比混血人に対 する援助	U S \$ 1,000 (160,000円)	滝 川 40,000円 室蘭東 50,000円
4. 図書の寄贈	韓 国	ソウル南 (D.365)		100,000円 (毎年10万円計上)	苫小牧 20,000円
5. 青年の技術習 得に対する援 助	東南アジア 諸国に求め る。		各国青年に日本 への理解を深め てもらい、又、 技術習得により 相手国の技術の 向上に役立てて もらう。国際交 流・理解を深め る為。	1人約 約1,800,000 ／10ヶ月	江 別 80,000円 当 別 20,000円 白 老 58,000円 札幌真駒内 52,000円 美 唄 40,000円

プロジェクト指定なし

栗 沢 46,000円
蘭 越 20,000円
三 石 26,600円

(5) 災 害 見 舞

1986～87年度中に、R I本部又は日本支局より次の各災害の被害状況の知らせを受けた。当地区としては、これを随時各号のガバナー月信に掲載し、各クラブ、各個人のできる範囲で救援資金・物資の寄付方を依頼した。

国 名	R I 地区	災害の種類	災 害 の 内 容
イ ン ド	第315地区	大 豪 雨	• 500名以上が死亡 • 100万人以上の人々が家が失った • 家畜や農作物に大きな被害
台 湾	第345地区	強 大 な 台 風	• 100人以上が死亡 • 3 万人以上の人々が家を失った。 • 養魚場、学校が破壊、農作物に大きな被害
カ メ ル ー ン	第915地区	地下ガスの噴出	• 多くの人々に甚大な被害
ギ リ シ ャ	第247地区	地 震	• カラマタ市を中心に20人以上が死亡 • 400人以上の人々が負傷 • 何万人もの人々が家を失った
イ ン ド	第329地区	洪 水	• 100名以上が死亡 • 10万人以上の人々が家を失った
エル・サルバドル	第424地区	地 震	• 1,000人以上の人々が死亡 • 多数の人々が家を失った
パ ラ グ ア イ 及 び ア ル ゼ ン チ ン	第484地区	豪 雨	• 建物が破壊 • 農作物に被害 • 2 万人以上の人々が家を失った
チ リ	第434地区	暴 風 雨	• 洪水、雪崩、土砂崩れ • 数万人の人々が家を失った
ジ ャ マ イ カ	第404地区	洪 水	• 50人以上の人々が死亡 • 家屋及び作物に被害
ブ ラ ジ ル	第450地区	地 震	• ジェン・カマラ市の大半が破壊 • 住民が困窮した
エ ク ア ド ル	第440地区	地 震	• 1,000人以上の人々が死亡 • 多数の人々が家を失った

6. ロータリー財団

(1) 財団への年間寄付一覧表

(1986年7月1日～1987年6月30日)

CLUB NUMBER NAME	MBRS 12/85	+	NON RESTRICTED (REWARD UNIT)	+	+	RESTRICTED POLIO PLUS	+	OTHER	+	YEAR TO DATE TOTAL DOLLARS
			MONTH	YEAR	MONTH	YEAR	MONTH	YEAR		
013555 AKABIRA	50		10.68	5,230.56	.00	1,499.97	.00	.00		6,730.53
013556 ASHIBETSU	56		.00	85.00	.00	.00	.00	.00		85.00
013557 BIBAI	41		100.00	182.00	.00	1,051.28	.00	.00		1,233.28
013558 CHITOSE	93		.00	2,600.94	2,630.14	2,630.14	.00	.00		5,231.08
013559 DATE	62		20.00	1,867.73	.00	.00	.00	.00		1,867.73
013560 EBETSU	79		10.00	1,334.00	1,000.00	1,600.00	.00	.00		2,934.00
013561 ENIWA	40		239.72	1,286.90	.00	525.64	.00	.00		1,812.54
013562 ERIMO	23		.00	23.00	.00	615.38	.00	.00		638.38
013563 ESASHI	29		.00	28.00	.00	.00	.00	.00		28.00
013564 FUKAGAWA	67		.00	181.00	.00	.00	.00	.00		181.00
013565 HABORO	42		.00	3,828.24	.00	.00	.00	.00		3,828.24
013566 HAKODATE	123		500.00	13,567.62	.00	1,538.40	.00	.00		15,106.02
013567 HAKODATE EAST	80		10.00	265.00	2,095.89	3,057.43	.00	.00		3,322.43
013568 HAKODATE GORYOKAKU	60		10.00	120.63	821.92	1,591.15	.00	.00		1,711.78
013569 HAKODATE KAMEDA	47		.00	4,488.00	.00	576.92	.00	.00		5,064.92
013570 HAKODATE NORTH	67		.00	665.84	.00	794.87	.00	.00		1,460.71
013571 IWAMIZAWA	78		10.00	2,592.00	.00	2,409.60	.00	.00		5,001.60
013572 IWANAI	55		21.37	517.81	.00	1,435.90	.00	.00		1,953.71
013573 KITAHIROSHIMA	25		.00	294.00	.00	628.20	.00	.00		922.20
013574 KURISAWA	41		1,010.68	1,056.68	.00	294.87	.00	.00		1,351.55
013575 KURIYAMA	56		.00	57.00	600.00	971.79	.00	.00		1,028.79
013576 KUTCHAN	39		.00	107.17	1,000.00	1,512.80	.00	.00		1,619.97
013577 MATSUMAE	11		.00	36.19	.00	.00	.00	.00		36.19
013578 MITSUISHI	19		.00	19.00	1,000.00	1,000.00	.00	.00		1,019.00
013579 MORI	32		.00	42.00	.00	.00	.00	.00		42.00
013580 MOSEUSHI	20		.00	20.00	.00	.00	.00	.00		20.00
013581 MURORAN	99		.00	1,169.00	1,000.00	2,000.00	.00	.00		3,169.00
013582 MURORAN EAST	65		.00	526.15	200.00	200.00	.00	.00		726.15
013583 MURORAN-NORTH	57		40.00	317.00	.00	1,564.10	.00	.00		1,881.10
013584 NANA E	35		438.35	438.35	.00	410.24	.00	.00		848.59
013585 NOBORIBETSU	52		.00	.00	.00	.00	.00	.00		.00
013586 OBIRA	10		.00	20.00	.00	114.28	.00	.00		134.28
013587 OSHAMANBE	28		.00	.00	1,000.00	1,000.00	.00	.00		1,000.00
013588 OTARU	110		2,010.68	3,187.14	.00	.00	.00	.00		3,187.14
013589 OTARU SOUTH	74		.00	1,627.00	2,000.00	3,500.00	.00	.00		5,127.00
013590 OTARU ZENIBAKO	23		.00	1,031.08	1,547.95	1,547.95	.00	.00		2,579.03
013591 RANKOSHI	24		.00	54.00	.00	615.38	.00	.00		669.38
013592 RUMOI	103		800.00	1,346.51	.00	711.54	.00	.00		2,058.05
013593 SAMANI	36		.00	265.77	.00	923.08	.00	.00		1,188.85
013594 SAPPORO	168		106.16	7,423.98	3,287.67	9,159.35	.00	384.60		16,967.93
013595 SAPPORO EAST	138		120.00	11,183.25	2,123.29	5,841.24	.00	.00		17,024.49
013596 SAPPORO-KONAN	101		.00	3,098.83	.00	1,282.00	.00	.00		4,380.83
013597 SAPPORO-MAKOMANAI	50		1,826.42	4,014.42	1,000.00	2,269.21	.00	.00		6,283.63
013598 SAPPORO-NORTH	103		10.00	1,179.00	8,000.00	10,589.74	.00	.00		11,768.74
013599 SAPPORO SEIHOKU	53		479.17	2,626.20	684.93	1,992.60	.00	.00		4,618.80
013600 SAPPORO-SOUTH	130		.00	3,162.00	.00	3,435.83	.00	.00		6,597.83
013601 SAPPORO-TEINE	68		764.38	4,699.87	1,000.00	1,858.94	.00	.00		6,558.81
013602 SAPPORO WEST	133		480.69	4,408.70	2,876.71	4,633.05	.00	.00		9,041.75
013603 SHIRAOI	29		.00	48.00	.00	346.15	.00	.00		394.15
013604 SHIZUNAI	56		.00	2,726.40	.00	.00	.00	.00		2,726.40
013605 SUNAGAWA	60		213.69	1,139.69	.00	.00	.00	.00		1,139.69
013606 TAKIKAWA	90		.00	2,868.00	.00	2,320.51	.00	.00		5,188.51
013607 TOBETSU	38		.00	2,036.00	.00	872.94	.00	.00		2,908.94
013608 TOMAKOMAI	86		409.34	3,030.08	1,000.00	3,102.52	.00	.00		6,132.60
013609 TOMAKOMAI-NORTH	62		741.73	2,820.60	4,000.00	4,598.10	.00	.00		7,418.70
013610 TOYAKO	21		.00	37.00	.00	.00	.00	.00		37.00
013611 URAKAWA	53		.00	797.35	6,000.00	6,000.00	.00	.00		6,797.35
013612 YOICHI	44		10.66	429.74	630.14	630.14	.00	.00		1,059.88
021118 IWAMIZAWA EAST	34		30.00	104.44	.00	.00	.00	.00		104.44
021985 SHIN-SAPPORO	37		1,582.69	1,887.44	.00	.00	.00	.00		1,887.44
904251 DISTRICT CONTRIBUTIONS	0		.00	.00	.00	.00	.00	.00		.00
DISTRICT TOTALS	3,605		12,006.41	110,199.30	45,498.64	95,253.23	.00	384.60		205,837.13

1985-86 CONTRIBUTION CARRYOVER 1,268.49

THIS REPORT INCLUDES ALL CONTRIBUTIONS, FISCAL AGENT REPORTS AND BANK STATEMENT INFORMATION RECEIVED AND CREDITED AT THE CENTRAL OFFICE THROUGH 30 JUNE 1987
IT DOES NOT REFLECT POLIOPUS CONTRIBUTIONS THAT ARE PENDING TRANSMITTAL FROM NATIONAL/MULTINATIONAL POLIOPUS CAMPAIGN COMMITTEES.

この表には日本ポリオ・プラス委員会からの6月末現在の送金額が全て含まれているとは限らない
ので、次頁のポリオ寄付額とは必ずしも一致しない。

(2) ポリオ・プラス寄付一覧表

■地区内クラブ別

クラブ名	寄付額 (円)
赤	234,000
芦	342,600
美	526,360
千	384,000
伊	260,000
江	250,400
恵	164,000
え	96,000
り	0
江	100,000
深	172,000
羽	490,000
函	254,400
館	614,600
五	90,000
館	268,000
函	437,600
函	148,800
岩	224,000
見	120,400
沢	184,000
内	254,000
島	236,000
沢	0
山	156,000
安	128,000
前	102,200
石	458,000
牛	264,800
蘭	244,000
東	274,400
北	100,000
飯	44,800
別	244,000
平	420,558
部	730,000
樟	244,000
南	96,000
函	482,400
越	144,000
萌	1,432,000
似	890,000
幌	1,732,800
東	548,400
北	351,200
南	560,000
内	304,000
幌	308,800
真	176,000
駒	121,600
西	232,000
手	271,200
札	362,800
新	474,000
白	733,164
静	297,200
砂	8,000
滝	936,000
苦	384,000
小	
牧	
爺	
洞	
浦	
余	
計	20,811,482

■国内地区別

地 区	寄付額 (円)
2 5 0	16,643,745
2 5 1	20,811,482
2 5 2	17,473,781
2 5 3	21,904,027
2 5 4	15,232,884
2 5 5	30,267,567
2 5 6	39,686,063
2 5 7	38,222,748
2 5 8	22,953,173
2 5 9	27,624,983
2 6 0	53,250,202
2 6 1	20,183,392
2 6 2	27,248,353
2 6 3	22,230,792
2 6 4	29,024,505
2 6 5	29,813,100
2 6 6	30,185,600
2 6 7	21,515,101
2 6 8	28,997,518
2 6 9	21,894,659
2 7 0	13,417,651
2 7 1	18,069,925
2 7 2	22,636,637
2 7 3	16,483,745
2 7 4	7,851,068
2 7 5	30,828,037
2 7 9	18,046,088
合 計	662,496,826

※日本ポリオプラス委員会の資料による

(1987年6月30日現在)

(3) スター・フェロー

札幌	西	条	正	博	札幌	北	高	倉	勤次郎	札幌	東	大	谷	輝	雄
〃	伊	藤	義	郎	函館	東	光	銭	吉郎	三	石	佐々木	初之助		
〃	坂	本	忠		長	万	部	赤	塚	繁	夫	浦	河	木戸口	幸吉
札幌	西	河	邨	文一郎	札幌	北	三	浦	祐	晶	札幌	幌	南	山	際
札幌	北	佐々木	利	昭	札幌	真駒内	指	川	健						

(4) ポール・ハリス・フェロー

羽	幌	佐藤	猛		札幌	東	藤田	八束	南原	康二					
妹背	牛	藤原	康男				磯場	勇一	三浦	寅夫					
赤	平	菱田	正則	竹俣 紀一			野村	昭光	福原	信吾					
		清水	潔顕				米沢	和夫							
砂	川	岩田	晟	沖田比呂志	札幌	幌	南	原崎	博	山本 雄司					
		山本	洋					今崎孝博(会員令息)							
滝	川	渡辺	恭久		札幌	真駒内	神谷	英光	吉村	洋吉					
美	唄	岨角谷弘一	岸山 皓次				藤本	善吉	岡田	円作					
		三浦	武美		俱	知	安	岩井	宏						
江	別	玉木	俊平	田中 睦人	小		樽	杉江雄太郎	今井	尚明					
		梶野	芳章					大本 勤							
栗	沢	井馬	煌一		小	樽	南	野村	定玄	山谷 隆平					
当	別	片岡	弘二	岡田 泰紀				山田	幸雄	西 信博					
札幌	幌	田上	健蔵	潮田 隆				大島	昭夫						
		伊藤寿美子(会員令室)			小	樽	銭	函	河崎	義章	和田	英伸			
		池田嘉久蔵			余		市	谷川	淑郎	目黒	幸夫				
札幌	西	山田	実	笹田 武	千		歳	新沼	武雄						
		石丸	文蔵		恵		庭	村上	利雄	山岸 貢					
札幌	手稲	中島	忠美	犬飼 好清				野口	幸男						
		中川	喬雄	久末 満三	苫	小	牧	松井	郁夫	藤澤	正明				
札幌	北	佐藤	鉄弥	金田 弘夫	苫	小	牧	北	田辺	信夫	加藤	一若			
		茂木	常一	岩崎 輝明				鈴木	隆	山崎	正寿				
		吉田	陽一	堀居 信次				山口	武雄	渡辺	兼市				
札幌	西	北	多米 豊					今井	重行	谷沢	鉄也				
札幌	南	菊池	正巳	伊藤 孝	静		内	吉田	晃	姥谷	尚宏				
		金井	英明	川浦 試	浦		河	田中	久雄						
		野原	俊司	佐野 肇	伊		達	稀玉	祐右	楠本	誠治				
		梅野弥太郎	柳田 隆		室		蘭	鴨井	清一	関 謙吉					
札幌	東	丹田	均	青木 功喜				斉藤	成樹	多田	定男				
		大谷	輝雄	石岡 巖											

室 蘭 東 市来 仲 田村 武夫
 函 館 大鎌 又一 深瀬 寛
 北村 実 杉崎清二郎
 額賀吉之助 太斎 公男
 及能正二郎 大坂谷道三
 葛西 知二 池田 佑吉
 蔦井 孝彦 梅田 栄一

函 館 若山徳次郎
 函 館 亀田 坪山 元彦 埴山 一弥
 佐々木一郎 対馬 孝一
 森 島崎 武
 七 飯 美村 文雄
 函 館 北 伊藤 康男 中野 亮

(5) ポール・ハリス・準フェロー

羽 幌 松谷 吉男 横井喜二郎
 松山 進 佐々木 武
 今前田照夫 齊藤要次郎
 留 萌 野沢 栄一
 芦 別 石岡 雅 中本 良吉
 青井 慎介 大鎌 幸雄
 中山 幸雄 松本 豊
 滝 川 中山 邦雄 野上 次夫
 岩 見 沢 荒木 英雄 藤波 仁史
 杉野 敏一
 栗 山 金崎 哲也 高林 茂保
 木村 忠正 関 司
 磯見 豪希
 札 幌 荒 紀男 塚本 勲
 札 幌 手稲 高橋 紀幸
 札 幌 南 西川 哲也 佐藤 久二
 島 一元
 札 幌 東 原 賢司 星野 恭亮
 河路 康 田中 四郎

札 幌 東 小田切房之 大西 一之
 計良 健司 大 公一郎
 小林 益明 小野 隆央
 札 幌 幌 南 今崎 達也(会員令息)
 麦倉 元
 札幌真駒内 里見 健次 佐々木 敦
 千 歳 中村 堅次 長沢 邦雄
 田中 達昭 末広 孝
 苫 小 牧 北 丸屋 憲一
 静 内 村田 成光 佐藤 雅裕
 室 蘭 東 山口 秀雄 石田 実
 金沢 智光 松田 幹人
 室 蘭 北 佐藤 功
 函 館 亀田 安田 智紀 森 光春
 山本 英介 松浦 富男
 函 館 東 杉本 武彦 大脇 健介
 安田 昌秀 吉村 昭二
 近江 登 戸嶋 宏
 菅原 憲夫 嵐 賢治

(6) メモリアル・コントリビューター

札 幌 伊 藤 太 郎
 (ご令息信氏を追悼して)

札 幌 駒 野 幸 一
 (ご尊父七郎平氏を追悼して)

(7) ポリオ・プラス協力法人

(有)三枝牧場 社 長 三枝 実(浦 河)
 (株)ホクチク 代表取締役 谷川 利男()
 (株)アミヤ薬局 社 長 網谷 敏夫()

(株)丸井水産 社 長 中井 正幸(浦 河)
 医療法人三樹会病院 理事長・院長 丹田 均(札幌東)

(8) ロータリー財団奨学生

1986～87年度受け入れ（1名）

注：※印 大学院課程奨学生 △印 大学課程奨学生 ○印 職業研修奨学生 ◇印 ジャーナリズム奨学生

種別	氏 名	性別	スポンサークラブ	留 学 先	ホストクラブ	カウンセラー
※	Steven Charles Gonzales	男	Claremont, Ca., U.S.A.	北大(経済学部)	札幌北	金岡 祐一

1986～87年度派遣（6名）

種別	氏 名	性別	スポンサークラブ	留学国	留 学 先	住所(上段現住所、下段実家)	出身校	勤務先
※	鈴木 典子	女	札幌北	アメリカ	University of Pennsylvania (ペンシルバニア大学)	〒001 札幌市北区北21条西9丁目 TEL (011) 758-8018	北 大 (文学部英文科)	
※	一之瀬高博	男	札幌北	オーストリア	University Wien (ウィーン大学)	〒001 札幌市北区北7条西8丁目3 宮腰方 TEL (011) 737-1079 〒399-75 長野県東筑摩郡本城村 西条4050 TEL (0263) 66-2224	北 大 学 院 (環境科学研究科修士課程)	
◇	坂田 普恵	女	札幌南	アメリカ	Iowa State University (アイオワ州立大学)	〒064 札幌市中央区南25条西9丁目南25条マンション205号室 TEL (011) 511-0623 〒063 札幌市西区西野1条5丁目 TEL (011) 661-8054	共立女子大 学 (文学部文学専攻英文学コース)	札幌テレビ放送(株)
※	室松 慶子	女	赤 平	アメリカ	Indiana University (インディアナ大学)	〒065 札幌市東区北9条東1丁目 共和女子学生会館1023 TEL (011) 721-8521 〒079-04 滝川市江部乙町東10丁目9-49 TEL (0125) 75-2367	北 大 (文学部文学科英語英米文学専攻課程)	
※	加藤 晃	男	札幌東	カナダ	University of Toronto (トロント大学)	〒065 札幌市東区北23条東5丁目1-2 TEL (011) 711-8064	北 大 学 院 (経済学研究科博士課程経済学専攻)	北大経済学部助手
※	加藤 正人	男	札幌幌南	カナダ	University of Oregon (オレゴン大学)	〒061-21 札幌市南区澄川2条3丁目8-17喜澄荘3号 TEL (011) 814-2427 〒050 登別市鷺別町4丁目6-13 TEL (01438) 6-4423	札幌大学 (外国語学部英語学科)	

1987～88年度受け入れ（2名）

種別	氏 名	性別	スポンサークラブ	留 学 先	ホストクラブ	カウンセラー
※	Lena Annette Marshall	女	San Francisco, Ca., U.S.A.	未 定	札幌西	石垣 博美
△	Angela Miyuki Nonaka	女	Lawrence, Ks., U.S.A.	未 定	札幌北	金岡 祐一

1987～88年度派遣（5名）

種別	氏 名	性別	スポンサー クラブ	留学国	留 学 先	住 所	出身校	勤務先
○	岩崎 弘昌	男	滝 川	西ドイツ	Kapelle der Staatsoper Hamburg (ハンブルグ国立 歌劇場オーケストラ)	〒062 札幌市豊平区西岡1条5丁目5-22 TEL (011) 851-6584	国立音大 (音楽学部 器楽オーボ エ)	(財)札幌交 響楽団
※	杉山 朱実	女	札幌北	フランス	Universite de Toulouse (ツールズ大学)	〒065 札幌市東区北13条東6丁目 光星グランドハイツ407号 TEL (011) 722-4554	北 大 (文学部)	
※	山田 康夫	男	函 館	アメリカ	California State Univer- sity, Sacramento (カリフォル ニア州立大学サクラメント校)	〒064 函館市弁天町20-6 TEL (0138) 22-5675	青 山 学 院 大 (英米文学)	
※	宮下 徹	男	北 広 島	アメリカ	University of Brown (ブラウン大学)	〒061-12 札幌郡広島町字大曲 172-928 TEL (011) 376-3378	北 大 (経済学部)	
△	以頭 紀子	女	札幌真駒内	アメリカ	Rutgers University (ラトガーズ大学)	〒005 札幌市南区石山3条5丁目 3-20 TEL (011) 592-0672	藤女短大 (英文科)	興亜火災海 上保険(株)

(9) そ の 他

■ファースト・アース・ラン (First Earth Run)

世界平和の願いを込めたメッセージを聖火に
託して地球を一周するファースト・アース・ラン
が札幌を訪れ、その歓迎レセプションを行った。

と き 1986年11月14日(金)

ところ 京王プラザホテル札幌

参加者 ガバナー代理・橋本利弘第5分区代理
(札幌東)、ロータリー関係12名

■ロータリーレートの変更

1986～87年度中にロータリーレートの変更が
あったので、各クラブに通知し送金関係の際に
遺漏なきよう指示した。

- 1986年6月1日 175円 ●1987年4月1日 146円
- 1986年8月1日 166円 (1ドル)
- 1986年9月1日 156円

■ポリオ・プラス講演者幹旋所

ポリオ・プラス・キャンペーンの一環とし、
1987年2月1日よりガバナー事務所内に第251
地区ポリオ・プラス講演者幹旋所を開設し、各ク
ラブ例会、IGF等に活用して貰った。

登録講演者は以下の4名。

望月 武義 (日本ポリオ・プラス委員、岩見沢)
河邨文一郎 (地区ポリオ・プラス委員会カウ
ンセラー、札幌西)

西條 正博 (地区ポリオ・プラス委員長、札幌)
三浦 祐晶 (地区ガバナー、札幌北)

■ポリオ・プラス計画記念テレホンカード50

日本ポリオ・プラス委員会でロータリー・ポ
リオ・プラス・プロジェクトを記念してチャリ
ティー・テレホンカードを発売した。

当地区としてはこれを受けて、各クラブに月
信で購入方を依頼、多大の成果を収めた。価格
はカード2枚1組2,000円、うち800円がポリオ
プラス・プロジェクト募金となった。

■ユニセフ創立40周年記念テレホンカード50

日本ユニセフ協会の依頼により、ユニセフ創
立40周年記念テレホンカード50を地区内各ク
ラブに購入方をお願いした。

価格はカード1枚1,000円で、そのうち300円
がユニセフ募金となり、全世界の戦争で家や両親
をなくし、飢えに苦しむ世界中の子供たちの救
援資金となった。

7. 米山記念奨学会

(1) 米山記念奨学会寄付金納入明細表

■地区内クラブ別

分区	クラブ名	年 額 1名当り(円)	61年7月～62年6月入金分 (円)			過 去 累 計 (円)		
			普通寄付金	特別寄付金	合 計	普通寄付金	特別寄付金	合 計
1	深 川	2,000	143,000	0	143,000	1,963,400	630,000	2,593,400
	羽 幌	1,000	42,500	0	42,500	435,000	200,284	635,284
	妹 背	2,000	38,000	0	38,000	504,000	19,000	523,000
	小 平	2,000	20,000	0	20,000	300,000	0	300,000
	留 萌	2,500	217,000	640,000	857,000	2,526,000	1,378,510	3,904,510
2	赤 平	2,000	99,000	0	99,000	1,221,800	1,246,700	2,468,500
	芦 別	1,000	56,000	600,000	656,000	1,519,300	600,000	2,119,300
	砂 川	1,500	94,500	60,000	154,500	999,000	1,461,600	2,460,000
	滝 川	2,000	179,000	0	179,000	2,104,850	330,000	2,434,850
3	美 唄	1,500	66,000 △41,500	330,000	354,500	892,000	710,000	1,602,000
	江 別	2,000	167,000	500,000	667,000	1,768,350	500,000	2,268,350
	岩 見 沢	2,000	169,000	210,000	379,000	2,119,350	2,673,800	4,793,150
	岩 見 沢 東	3,000	68,000	0	68,000	218,000	400,290	618,290
	栗 沢	2,000	92,000	0	92,000	1,049,650	0	1,049,650
	栗 山	2,000	115,000	0	115,000	1,119,000	27,500	1,146,500
	当 別	2,000	72,000	150,000	222,000	706,000	250,000	956,000
4	札 幌	2,500	400,000	575,000	975,000	6,545,050	1,749,200	8,294,250
	札 幌 西	3,000	405,000	1,026,400	1,431,400	5,001,200	6,464,721	11,465,921
	札 幌 手 稲	2,000	133,000	660,000	793,000	1,559,750	2,127,000	3,686,750
	札 幌 北	2,000	198,000	3,150,000	3,348,000	2,787,750	4,294,600	7,082,350
	札 幌 西 北	2,000	101,000	620,000	721,000	992,750	1,107,500	2,100,250
5	札 幌 南	2,500	332,500	1,330,000	1,662,500	4,728,450	4,676,200	9,404,650
	札 幌 東	2,000	286,000	310,000	596,000	3,857,400	1,555,000	5,012,400
	札 幌 幌 南	2,000	200,000	150,000	350,000	2,881,950	210,000	3,091,950
	札幌真駒内	3,000	144,000	300,000	444,000	1,652,000	1,261,424	2,913,424
	新 札 幌	2,000	89,000	295,222	384,222	232,000	369,222	601,222
6	岩 内	2,500	110,000	0	110,000	1,196,400	300,000	1,496,400
	俱 知 安	2,000	83,000	0	83,000	846,100	0	846,100
	小 樽	1,500	131,000	45,000	176,000	3,126,950	1,337,641	4,464,591
	小 樽 南	2,000	134,000	508,000	642,000	2,079,000	508,000	2,587,000
	小 樽 銭 函	1,000	20,000	0	20,000	326,000	0	326,000
	蘭 越	2,000	47,000	35,790	82,790	794,800	67,790	862,590
	余 市	1,500	70,500	0	70,500	963,700	20,000	983,700
7	千 歳	2,000	190,000	111,665	301,665	2,068,700	1,063,695	3,132,395
	恵 庭	2,000	83,000	0	83,000	854,000	0	854,000
	北 広 島	3,000	74,000	0	74,000	344,000	0	344,000
	白 老	2,000	57,000	0	57,000	516,500	4,895	521,395
	苦 小 牧	3,000	241,500	0	241,500	2,733,650	584,000	3,317,650
	苦 小 牧 北	2,500	160,000	428,194	588,194	1,417,000	615,998	2,032,998
8	え り も	3,000	70,500	0	70,500	471,700	74,000	545,700
	三 石	2,000	38,000	0	38,000	450,750	17,000	467,750
	様 似	2,000	71,000	0	71,000	905,100	0	905,100
	静 内	1,500	79,500	0	79,500	849,200	10,000	859,200
	浦 河	2,000	98,000	300,000	398,000	1,257,000	389,761	1,646,761

分区	クラブ名	年 1名当り円	61年7月～62年6月入金分 (円)			過 去 累 計 (円)		
			普通寄付金	特別寄付金	合 計	普通寄付金	特別寄付金	合 計
9	伊 達	2,000	124,000	20,000	144,000	1,778,800	34,718	1,813,518
	室 蘭	2,000	201,000	0	201,000	2,886,800	644,688	3,531,488
	室 蘭 東	2,000	134,000	0	134,000	2,390,550	61,865	2,452,415
	室 蘭 北	2,000	116,000	0	116,000	1,232,750	5,644	1,238,394
	登 別	2,000	95,000	0	95,000	974,500	98,791	1,073,291
	洞 爺 湖	2,000	37,000	0	37,000	600,000	2,249	602,749
10	函 館	2,000	245,000	0	245,000	4,056,100	359,500	4,415,600
	函 館 亀 田	2,000	97,000	0	97,000	920,250	44,000	964,250
	森	2,000	64,000	0	64,000	929,600	0	929,600
	七 飯	2,000	62,000	0	62,000	549,000	0	549,000
	長 万 部	2,000	45,000	0	45,000	699,950	14,000	713,950
11	江 差 (半)	1,000	28,000	0	28,000	644,100	0	644,100
	函館五稜郭	2,000	118,000	0	118,000	1,566,750	0	1,566,750
	函 館 東	3,000	232,500	70,000	302,500	3,631,000	5,848,612	9,479,612
	函 館 北	2,000	127,000	0	127,000	1,793,250	0	1,793,250
	松 前	1,000	12,500	0	12,500	348,250	0	348,250
そ の 他				0	0		※300,000	300,000
地 区 合 計			7,381,000	12,425,271	19,806,271	95,886,700	46,248,798	142,135,498

注：1. (半)は半期分

2. ※は1980～81年度地区年次大会記念寄付

■国内地区別

地 区	61年7月～62年6月入金分(円)			会員数	1人当り 平均額円	過 去 累 計(円)		
	普通寄付金	特別寄付金	合 計			普通寄付金	特別寄付金	合 計
250地区	5,653,900	7,776,480	13,430,380	2,951名	4,551	69,642,610	57,907,601	127,550,211
251地区	7,381,000	12,425,271	19,806,271	3,659名	5,413	95,886,700	46,248,798	142,135,498
252地区	7,451,250	9,212,263	16,663,513	3,184名	5,233	85,476,850	38,504,555	123,981,405
253地区	8,920,250	6,700,987	15,621,237	4,111名	3,799	98,386,700	44,326,140	142,712,840
254地区	7,301,850	5,403,600	12,705,450	3,275名	3,879	96,425,850	37,847,494	134,273,344
255地区	12,681,000	44,286,233	56,967,233	4,165名	13,677	134,338,450	247,772,738	382,111,188
256地区	14,132,750	21,195,428	35,328,178	4,477名	7,891	140,827,600	121,148,215	261,975,815
257地区	14,222,500	37,957,760	52,180,260	4,942名	10,558	138,309,335	268,153,391	406,462,726
258地区	14,883,750	39,953,397	54,837,147	4,031名	13,603	153,132,993	397,406,969	550,539,962
275地区	14,170,200	43,697,925	57,868,125	3,803名	15,216	136,721,750	377,035,905	513,757,655
259地区	17,935,000	55,919,826	73,854,826	5,268名	14,019	157,166,600	401,166,656	558,333,256
279地区	8,562,220	32,315,118	40,877,338	3,539名	11,550	106,288,770	140,215,320	246,504,090
260地区	17,188,400	53,736,060	70,924,460	6,688名	10,604	183,309,000	304,702,262	488,011,262
261地区	5,937,000	12,872,060	18,809,060	2,634名	7,140	68,722,900	83,918,271	152,641,171
262地区	10,415,000	18,776,100	29,191,100	3,614名	8,077	108,755,000	97,793,974	206,548,974
263地区	9,736,500	24,570,336	34,306,836	3,604名	9,519	101,343,115	156,018,960	257,362,075
265地区	18,999,630	92,974,559	111,974,189	5,160名	21,700	189,216,270	602,715,770	791,932,040
264地区	15,638,500	40,672,657	56,311,157	3,074名	18,318	130,832,600	281,865,185	412,697,785
266地区	18,685,750	57,088,560	75,774,310	4,486名	16,891	168,124,700	454,112,670	622,237,370
267地区	7,457,500	6,554,825	14,012,325	3,436名	4,078	93,287,700	47,878,343	141,166,043
268地区	9,116,320	16,237,225	25,353,545	3,489名	7,266	102,159,050	121,709,727	223,868,777
269地区	7,809,750	20,960,914	28,770,664	2,875名	10,007	76,744,050	77,272,921	154,016,971
270地区	8,249,000	9,326,331	17,575,331	3,480名	5,050	92,135,850	94,201,866	186,337,716
271地区	6,806,000	16,936,399	23,742,399	3,278名	7,242	80,470,740	105,715,665	186,186,405
274地区	5,199,450	8,442,247	13,641,697	2,376名	5,741	58,213,300	103,192,075	161,405,375
272地区	6,013,200	10,597,695	16,610,895	2,633名	6,308	63,071,970	46,897,966	109,969,936
273地区	5,017,250	4,411,172	9,428,422	2,611名	3,611	52,872,900	20,805,620	73,678,520
999地区		300,000	300,000				12,112,642	12,112,642
合 計	285,564,920	771,301,428	996,866,348	100,843名	9,885	2,981,863,353	4,788,647,699	7,770,511,052

注：1. 会員数は昭和61年12月31日現在（「ロータリーの友」昭和62年3月号より）

2. 999地区（その他欄）の内訳

国際ロータリー東京大会賛助剰余金10,379,693円 ロータリー日本50年史委員会1,000,000円

日韓親善会議に於ける韓国よりの個人寄付196,670円 トロント大会朝食会委員会97,230円

ウィリアム・R・ロビンス R I 元会長110,495円 台北士林扶輪社300,000円 その他28,554円

(2) 米 山 奨 学 生

前年度より継続（9名）

氏 名	性別	国 籍	種類	支給期間	大 学 名	専 攻	世話クラブ	カウンセラー
全 権雨	男	韓 国	Y D	59.4～62.3	北海道大学	砂 防 工 学	札 幌 南	田畑 武夫
謝 寛永	男	台 湾	Y D	60.4～62.3	北海道大学	漁 業 学	函 館 北	安藤 勝美
朴 日煥	男	韓 国	Y D	60.4～62.3	北海道大学	機 械 工 学	札幌真駒内	太田 寛
鄭 朝燦	男	台 湾	Y D	61.4～63.3	北海道大学	社 会 環 境 学	札 幌 西 北	武田 忠和
李 南赫	男	韓 国	Y M	61.4～63.3	酪農学園大学	肉製品製造学	江 別	土谷 茂樹
李 相龍	男	韓 国	Y D	61.4～63.3	北海道大学	農 業 生 物 学	札 幌 北	小林 博
平栗ソフィア 瑠美子	女	ブ ラ ジ ル	Y M	61.4～63.3	北海道大学	法 学	札 幌 幌 南	田所 一栄
李 大雄	男	香 港	Y R	61.4～62.3	北海道大学	資 源 増 殖	函館五稜郭	池上 謙一
五十嵐イサベル マリア	女	アルゼンチン	Y R	61.4～62.3	北海道大学	日 本 語 教 育	札 幌 東	藤井 清

今年度採用（8名）

氏 名	性別	国 籍	種類	支給期間	大 学 名	専 攻	世話クラブ	カウンセラー
林 啓瑞	男	台 湾	Y M	62.4～63.3	北海道大学	経 営 学	札 幌	小沢 保知
李 東勲	男	韓 国	Y D	62.4～65.3	北海道大学	衛 生 工 学	札 幌 手 稲	深宮 正吉
安 永熙	男	韓 国	Y D	62.4～64.3	北海道大学	生 物 化 学	札 幌 南	猪野毛健男
尹 世炯	男	韓 国	Y D	62.4～64.3	北海道大学	農 学	札 幌 西	佐野 法重
崔 麟和	男	韓 国	Y D	62.4～64.3	北海道大学	林 学	札 幌 東	武田 俊男
李 栄大	男	韓 国	Y M	62.4～66.3	北海道大学	環 境 保 全 学	札幌真駒内	岸村 茂雄
成 慶一	男	韓 国	Y D	62.4～65.3	北海道大学	畜 産 学	札 幌 北	金田 弘夫
姜 正夫	男	韓 国	S Y (OB部門)	62.7～62.12	勤務先 農林水産省家畜衛生 試験場北海道支場		札 幌 南	嘉會 巖

注：Y D 大学院博士課程
Y M 大学院修士課程
Y R 大学院研究生
S Y 特別米山奨学生

(3) 米山功労者

留 萌 香城 芳麿
 芦 別 野口 恂 中野 重雄
 美 唄 三浦 武美
 札 幌 坂本 忠
 札 幌 西 岡崎 庚午 片山 竹男
 札 幌 手稲 針谷 龍宣 辻 與一
 札 幌 北 三浦 祐晶 秦泉寺 寛
 茂木 常一 加藤 高正
 金田 弘夫 佐藤 研介
 堀居 信次 宮澤 正

札 幌 北 佐々木利昭 近藤 良一
 葛西 克巳
 札 幌 南 猪野毛健男 和田庄太郎
 菊池 正巳 竹山 涼一
 札 幌 東 丹田 均
 札幌真駒内 森永 忠輔
 小 樽 南 大島 昭夫
 浦 河 川越 清行
 函 館 東 陳 有饗

(計29名)

(4) 米山功労クラブ

クラブの特別寄付の合計額が100万円に達したとき米山功労クラブとして表彰される。

札幌東クラブ、札幌真駒内クラブ
 千歳クラブ

(計9クラブ)

留萌クラブ、札幌西クラブ
 札幌手稲クラブ、札幌北クラブ
 札幌西北クラブ、札幌南クラブ

(5) そ の 他

■ 米山記念奨学会評議員

米山記念奨学会の1986～87年度の当地区評議員が次の通り決定し各々就任した。

三浦 祐晶 (地区ガバナー、札幌北)
 坂本 忠 (地区ガバナー・ノミニー
 札幌)
 斉藤 久名 (地区米山記念奨学会委員長
 札幌西)

■ 米山記念奨学会理事

米山記念奨学会の1986～87年度理事に、当地区より森松定男パスト・ガバナー（札幌南）が決定し就任した。

8. 情報資料室

(1)『情報資料室ニュース』各号の主な内容

1号 1986. 7. 31	愉快で楽しいロータリーを ガバナー 三浦 祐晶	ロータリー情報委員長さんへのお願い	1986～87年度情報資料室委員の紹介
2号 1986. 9. 30	公式訪問を終えて 第1分区分代理 石川 健治 第8分区分代理 富越 誠也	定款・細則改正について 地区大会とご登録のお願い 地区大会委員長 佐藤 鉄弥	「声」職業奉仕に関して 登別RC 吉原 暲 クラブ奉仕について 室蘭東RC 一戸 豊信 「ロータリーのためのQ & A」 「貸し出し図書・スライド・フィルムリスト」
3号 1986. 11. 30	ロータリー随想 バスト・ガバナー 竹山 涼一 公式訪問に同行して 第2分区分代理 吉村外茂二 第9分区分代理 多田 定男 第10分区分代理 村上 栄一 第13分区分代理 下郡山信一		「声」社会奉仕について 小樽RC 本田 壮稜 「ロータリーのためのQ & A」 「ロータリー文庫通信第1号」
4号 1987. 1. 31	公式訪問あれこれ ガバナー 三浦 祐晶 公式訪問に同行して 第3分区分代理 河瀬 登 第4分区分代理 長谷井真信 第5分区分代理 橋本 利弘 第6分区分代理 杉江雄太郎 第7分区分代理 清水 進	手続要覧の使いかた 1986年度ロータリー研究会報告 ガバナー 三浦 祐晶	「声」ロータリー・モットーと マネージメント 札幌RC 越山 司 「ロータリーのためのQ & A」 「ロータリー文庫通信第2・3号」
5号 1987. 3. 31	国際協議会に参加して ガバナー・ノミニニー 坂本 忠 	ロータリーにおける女性会員問題 上半期のポリオ・プラス寄付金実績と幾つかの話題 地区ポリオ・プラス委員長 西條 正博	「声」ロータリークラブとして 地域に対する社会奉仕はどのように考えるべきか 岩見沢RC 吉本 嘉勝 ロータリーって何？ 北広島RC 宮崎 真 「ロータリーのためのQ & A」 「情報資料室新着蔵書ご紹介」 「ロータリー文庫通信第4号」
6号 1987. 6. 30	ロータリー情報委員会の任務 ガバナー 三浦 祐晶 ガバナーの資格 バスト・ガバナー 佐久間三八	ロータリー青少年指導育成研修会参加者の感想 ガバナー 三浦 祐晶 ガバナー・元・次期ガバナー懇談会報告 ガバナー 三浦 祐晶	「声」組織音痴とは？ 砂川RC 小泉 冽 初心者のKEYを忘れずに 栗沢RC 近藤 尚 ロータリー10年 札幌RC 浅野 国夫 札幌市内10クラブの共同キャンペーンを！ 札幌北RC 佐藤 鉄弥 ロータリーの 札幌RC 越山 司 「ロータリー文庫通信第5・6号」

(2) 備え付け貸し出し資料

■スライドセット

No	セ ッ ト 名	備 付 品	備 考
7	最 も 重 要 な 人 物	・台本（日本語） ・スライド40枚×4部 ・カセット（日本語）	新会員情報に適。 四大奉仕をそれぞれ解説。 二回に分けて利用するようすすめてある。 ・所要時間10分×4部
14	ザ・ロータリアン： 善意の歴史	・台本（日本語） ・スライド79枚（うちNo40欠） ・カセット（日本語）	ザ・ロータリアンとレビスタ・ロータリア の紹介に始まり、その利用に及ぶ。 ・所要時間15分
15	広 報 活動しているロータリー	・台本（日本語）・スライド60枚 ・カセット（日本語）	奉仕活動とその広報活動について説明。 ・所要時間15分
18	ロータリー：奉仕の話	・台本（日本語）・スライド65枚 ・カセット（日本語）	一般向けに作られているが、新会員情報用 にも好適。 ・所要時間20分
22	平和へのともしび 活躍している国際奉仕	・台本（日本語）・スライド80枚 ・カセット（日本語）	世界各地の国際奉仕の実例集 ・所要時間13分
23	はばたく財団学友	・台本（日本語）・スライド80枚 ・カセット（日本語）	財団学友（奨学生、GSE）が自らの体験を 通じて財団の意義を説く。・所要時間15分
P 1	ポリオ・プラス —われらの挑戦—	・台本（日本語）・スライド43枚 ・カセット（日本語） ナレーターは、河邨文一郎PG	RI第251地区 ポリオ・プラス委員会特別製作 ポリオの悲惨な症状にはじまり、ポリオ・ プラス・キャンペーンの意義を説く。 ・所要時間22分
P 2	ポリオ・プラス・ プロジェクト	・台本（日本語）・スライド28枚 ・カセット（日本語）	日本ポリオ・プラス委員会製作 ポリオプラス・プロジェクトの概要を説明。 ・所要時間10分
P 3	何故ポリオ・プラス なのでしょう	・台本（日本語）・スライド80枚 ・カセット（日本語）	RI製作 ポリオの症状、予防接種の効果を説明し、 ポリオ・プラス計画の意義を説明。 ・所要時間15分

■16mmフィルム（カラー・サウンド）

／	平和のための財団	・リール巻 ・ケース共	ロータリー財団の全般的解説映画 ・所要時間22分
---	----------	-------------	-----------------------------

■図書

No.	図 書 名
005	【火種はみんな持っている】 昭和40年 八幡ロータリークラブ刊 A 5 判, 152ページ 松本 兼二郎氏 講演寄稿選集
006	【Rotary Q&A】 昭和59年刊 B 5 判, 46ページ 森 滋郎氏・平島 健次郎氏 (第268地区 パストガバナー)共著
007	【ロータリー入門書】 昭和50年刊 改訂第7版 新書版, 147ページ 前原 勝樹氏 著
008	【ロータリー社会奉仕事例集】 昭和51年12月刊 新書版, 229ページ 前原 勝樹氏 著
009	【ロータリー職業奉仕事例集】 昭和50年刊 新書刊, 318ページ 前原 勝樹氏 著
010	【前原ガバナー講話集】 昭和50年刊 新書刊, 87ページ
011	【ようこそロータリーへ】 昭和58年 東京江北R.C.刊 改訂増補版 新書判, 77ページ 佐藤 千寿氏 著
012	【フォアウェイ・テストは 前進する】 昭和47年 大阪ロータリークラ プ 四つのテスト委員会刊 B 6 判, 39ページ

No.	図 書 名
E-1	【Rotary ?】 1934年刊 版權シカゴ・ロータ リー・クラブ 英文 変形A 5 判, 293ページ
E-2	【The Golden Strand】 1966年刊 版權シカゴ・ロータ リー・クラブ 英文 変形A 5 判, 291ページ オーレン・アーノルド氏 著
001	【ロータリー・モザイク】 1977年 ロータリーの友刊 A 5 判, 327ページ ハロルド T. トーマス氏 著 松本 兼二郎氏 訳
002	【我が自叙伝】 昭和55年 記者刊 A 5 判, 167ページ ハーバート J. テーラー氏 著 菅野 多利雄氏 訳
003	【ロータリー発生史】 昭和46年 千種会刊 B 5 判, 53ページ 小堀 憲助氏 著
004	【歌と世相で綴る ロータリー75年史】 1980年刊 B 5 判, 4 ページ 神戸東ロータリークラブ 創立75周年記念委員会 編

■図書

No.	図 書 名
013	【職業奉仕の勘どころ】 昭和46年刊 第266地区職業奉仕 委員会 編 B 6 判, 93ページ
014	【ロータリーでいう職業奉仕】 昭和47年 第258地区ガバナー 事務所刊 A 5 判, 57ページ 神守 源一郎氏 著
015	【第268地区 職業奉仕委員会報告】 昭和59年刊 B 5 判, 20ページ
016	【第268地区職業分類基準表】 1983年6月刊 A 5 判, 61ページ
017	【サービス思想の 意味するもの】 昭和47年 大阪ロータリークラ ブ刊 B 6 判, 66ページ
018	【ロータリー・ニュース】 昭和48年 神戸ロータリークラ ブ刊 A 5 判, 78ページ 直木 太郎氏 著
019	【ロータリー進化論】 昭和61年刊 B 6 判, 19ページ 前原 勝樹氏 著

No.	図 書 名
020	【ポール・ハリスの 故地をたずねて】 1981年第256地区桐生大会記念 講演 B 6 判, 25ページ 前原 勝樹氏 著
021	【ロータリー夜話】 昭和62年2月 刊 B 6 版, 116ページ 津田 進氏 著

9. 地区資金収支決算書

(1) 一般地区資金

【収入の部】

科 目	区 分	予算額(円)	収入決算額(円)
前 期 繰 越 金		1,000,000	1,141,113
地 区 資 金 (上 期)		12,425,000	12,463,500
(下 期)		12,425,000	12,775,000
雑 収 入		150,000	1,693,414
R I 助 成 金 収 入		0	1,801,032
月 信 購 読 料 収 入		0	1,029,000
合 計		26,000,000	30,903,059

【支出の部】

科 目	区 分	予算額(円)	支出決算額(円)
1. 地 区 大 会 費		1,200,000	1,200,000
(1)地 区 出 席 表 彰 費		1,000,000	1,000,000
(2)ガ バ ナ ー 記 念 品 代		200,000	200,000
2. 助 成 費		1,550,000	1,561,000
(1)地 区 協 議 会		800,000	800,000
(2)I . G . F .		600,000	611,000
(3)クラブ会長エレクト研修セミナー		150,000	150,000
3. 負 担 金		1,420,000	1,442,200
(1)日本ロータリーガバナー会		710,000	721,100
(2)日 本 ロ ー タ リ ー 文 庫		710,000	721,100
4. 会 議 費		2,980,000	2,235,880
(1)地 区 諮 問 委 員 会		300,000	287,984
(2)地区ガバナー指名委員会		200,000	135,550
(3)分 区 代 理 会 議		330,000	526,859
(4)地区クラブ奉仕委員会		50,000	3,020
(5)地区職業奉仕委員会		50,000	37,540
(6)地区社会奉仕委員会		100,000	0
(7)地区青少年奉仕委員会		100,000	88,000
(8)地区インターアクト委員会		150,000	150,000
(9)地区ローターアクト委員会		150,000	150,000
(10)地区国際奉仕委員会		100,000	4,000
(11)地区国際共同委員会		100,000	0
(12)地区世界社会奉仕委員会		150,000	6,000
(13)地区青少年交換委員会		200,000	200,000
(14)地区ロータリー財団委員会		100,000	45,000
(15)地区奨学生・学友委員会		50,000	6,000
(16)地 区 G . S . E . 委 員 会		50,000	1,000

科 目	区 分	予算額(円)	支出決算額(円)
(17)地 区 ポ リ オ ・ プ ラ ス 委 員 会		50,000	52,827
(18)地 区 広 報 委 員 会		50,000	19,000
(19)地 区 増 強 ・ 拡 大 委 員 会		150,000	1,000
(20)地 区 米 山 記 念 奨 学 会 委 員 会		50,000	17,848
(21)そ の 他 の 会 議 予 備 費		500,000	504,302
5. 旅 費		3,600,000	3,286,950
(1)全 国 ガ バ ナ ー 会 議		600,000	566,060
(2)全国バスト・ガバナー会議		1,300,000	1,300,000
(3)全国ガバナー・ノミニー会議		400,000	214,960
(4)ガバナー・ノミニー国際協議会		500,000	500,000
(5)全 国 地 区 連 絡 会 議		300,000	145,640
(6)そ の 他 の 会 議 予 備 費		500,000	560,290
6. 総 務 費		12,750,000	15,146,585
(1)ガ バ ナ ー 事 務 所 費		6,700,000	8,150,774
(2)地 区 幹 事 事 務 費		500,000	183,080
(3)分 区 代 理 事 務 費		600,000	600,000
(4)備 品 費		800,000	800,000
(5)消 耗 品 費		1,300,000	1,325,361
(6)通 信 送 料 費		2,000,000	2,045,046
(7)地 区 要 覧 費		350,000	600,000
(8)雑 費		500,000	1,442,324
7. 地区情報資料室費		1,000,000	1,030,528
8. 予 備 費		1,500,000	0
9. 公 式 訪 問 費		0	1,020,686
10. ガバナー月信費		0	2,853,164
合 計		26,000,000	29,776,993

【一般資金剰余】

年 度 総 収 入	30,903,059 円
年 度 総 支 出	29,776,993 円
年 度 資 金 剰 余	1,126,066 円

(2) 特別地区資金

【収入の部】

科 目	区 分	予算額(円)	収入決算額(円)
前期繰越金		1,000,000	1,809,128
特別地区資金(上期)		20,235,000	20,297,700
(下期)		15,265,000	15,695,000
合 計		36,500,000	37,801,828

【支出の部】

科 目	区 分	予算額(円)	支出決算額(円)
1. 地区大会分担金		8,875,000	8,900,000
2. 地区協議会分担金		4,437,500	4,437,500
3. インタークト事業費		2,130,000	1,740,082
4. ロータークト事業費		2,840,000	2,302,870
5. 青少年交換事業費		7,100,000	6,597,420
6. 世界社会奉仕事業費		2,130,000	462,533
7. 財団奨学生費		710,000	705,500
8. G.S.E.事業費		3,550,000	3,550,000
9. 青少年奉仕活動事業費		2,485,000	639,180
10. 規定審議会地区代議員費		177,500	177,500
11. 諸事業予備費		2,065,000	1,908,240
合 計		36,500,000	31,420,825

【特別地区資金剰余】

年 度 総 収 入	37,801,828 円
年 度 総 支 出	31,420,825 円
次 期 繰 越 金	6,381,003 円

外に 1. G.S.E.事業費繰越金	11,261,132 円
内訳 1985～86年度繰越	7,711,132 円
1986～87年度繰越	3,550,000 円
2. 規定審議会地区代議員費繰越金	351,416 円
内訳 1985～86年度繰越	173,916 円
1986～87年度繰越	177,550 円
3. W.C.S.事業費繰越金	562,600 円

昭和62年 8 月 31 日

地区会計 茂 木 常 一

(3) 監 査 報 告

上記決算につき監査を実施したところ適正であることを認めた。

昭和62年 9 月 5 日

地区資金委員長 加 藤 高 正

10. そ の 他

(1) 地区外公式行事

年 月 日	行 事	場 所
1986年	7月1日	ガバナー会
		東京プリンスホテル
		現・次期・元ガバナー懇談会
		東京プリンスホテル
		ロータリーの友委員会
		東京プリンスホテル
	7月2日	アジア第1・第3ゾーン拡大セミナー
		東京帝国ホテル
	7月3日	アジア第1・第3ゾーン会員増強セミナー
		東京帝国ホテル
	7月4日	地区青少年交換委員長全国会議
		a b c 会館（東京）
	8月20日	日韓親善連絡委員会（～22日）
		済州島（韓国）
	8月28日	米山記念奨学会評議員会
		東京プリンスホテル
	9月1日	ロータリーの友委員会
		a b c 会館（東京）
	9月7日	ガバナー会規約草案委員会
		銀座東急ホテル（東京）
	9月12日	アジア第1・第3ゾーン財団増進セミナー
		東京ステーションホテル
1987年	9月24日	地区ガバナー・ノミニエ懇談会
		経団連会館（東京）
	10月31日	ガバナー会
		クラブ関東（東京）
	11月5日	ロータリーの友委員会
		ホテルニューオータニ博多
	11月10日	地区世界社会奉仕委員長全国会議
		東京ステーションホテル
	12月2日	地区青少年交換委員長全国会議
		a b c 会館（東京）
		『ロータリーの友』第2回地区ガバナー座談会
		東京プリンスホテル
	12月7日	地区ガバナー・ノミニエ研修会
		京王プラザホテル東京
	12月8日	第15回ロータリー研究会（～9日）
		京王プラザホテル東京
	1月14日	ロータリーの友委員会
		東京プリンスホテル
	2月27日	ガバナー会
		クラブ関東（東京）
		国際協議会（～3月7日）
		米国ナッシュビル
	3月2日	ロータリーの友委員会
		a b c 会館（東京）
	3月7日	ローターアクト地区代表会議（～8日）
		ホテル日航成田
	3月28日	第4回ロータリー日韓親善会議（～29日）
		ホテルサンフェニックス（宮崎）
	5月6日	ロータリーの友委員会
		郵便貯金会館（東京）
	6月7日	国際ロータリー年次大会（～10日）
		西独ミュンヘン
	6月30日	ガバナー会
		東京プリンスホテル
		日本ポリオ・プラス委員会
		東京プリンスホテル

(2) 海外地区並びにクラブからの来信

- トラブゾンRC（トルコ、D243）より、身体障害児のための教育施設の設立に対する援助依頼
- コナックRC（トルコ、D243）より、精神障害児のための職業学校の開校式案内
- マニラRC（フィリピン、D243）より、「ロータリー眼内レンズ（人工水晶体）顕微鏡下手術コース」の開講案内と地区内眼科医（ノンロータリアン可）への受講呼びかけ依頼
- 第381地区（フィリピン）ガバナーより、年次大会（1987.2.19～21、於マニラ国際ホテル）の案内並びにメッセージ送付依頼
- 第330地区（タイ）パスト・ガバナーより、WCSプロジェクトとして消防車の寄贈依頼
- ローデポート南RC（南アフリカ、D930）国際奉仕委員長より、国際理解を深める一つとして日本らしいプレゼントが欲しいと10ドルを送金（当地区より箸、絵葉書、キタキツネのステッカー等送付）
- 当地区と姉妹提携を結んでいる第381地区（フィリピン）の直前ガバナーより、WCSプロジェクト交換の申し入れ
- バンガローRC（インド、D319）より、バンガローの輸出品の紹介と斡旋依頼
- 第210地区（イタリア）青少年交換委員会より、夏休みを利用した1、2ヶ月の短期交換の申し入れ
- 第424地区（エルサルバドル）の救済委員会より、エルサルバドルの地震災害に対する救援依頼
- フェアビューRC（フィリピン、D380）会長より、道内水産会社との協同企業体要望
- グッドウッドRC（南アフリカ、D935）会長より、『South Africa—who cares（誰が南アフリカを保護するか）』と題した本の送付と深刻な不況に悩む南アフリカに対する援助依頼
- 第960地区（パプアニューギニア）ガバナー代理より、パプアニューギニア政府が建設中のラエ病院小児病棟への物資援助依頼
- 381地区（フィリピン）世界社会奉仕委員長とマニラRC会長より、北広島RC、岩見沢RC、静内RCの世界社会奉仕（消防車寄贈）に対する礼状
- 第452地区（ブラジル）ガバナーより、WCSプロジェクトを通じブラジルの貧困地帯に対する援助依頼
- ラパスRC（ボリビア、D469）会長よりボリビアの金融恐慌対策に対する協力依頼
- バリンタワクRC（フィリピン、D380）会長国際奉仕委員長より、RI世界社会奉仕プロジェクト№1575（恵まれない家庭の子供に奨学金を支給する）に対する参加協力要請

■セザンヌRC（フランス、D175）パスト・ガバナーより、シャンパン売り上げ金により医療の充実していない国々を援助する運動に対する協力依頼

■フィレンツェ北RC（イタリア、D207）会長より、設立予定のロータリー博物館に展示、陳列する資料提供依頼

(3) 記念式典開催状況

地区内各クラブ、ローターアクト・インターアクトクラブの記念式典開催状況は次の通りである。

■ロータリークラブ

ク ラ ブ 名	周 年	日 時	会 場
妹 背 牛 R C	創立20周年	61. 8 .31(日)	妹 背 牛 町 公 民 館
室 蘭 R C	創立50周年	61.10.23(木)	室 蘭 プ リ ン ス ホ テ ル
札 幌 西 北 R C	創立10周年	62. 4 .21(火)	札 幌 プ リ ン ス ホ テ ル
岩 内 R C	創立25周年	62. 5 .16(土)	ホ テ ル う き よ (岩 内)
苦 小 牧 R C	創立30周年	62. 5 .31(日)	ホ テ ル ニ ュ ー 王 子 (苦 小 牧)
江 差 R C	創立25周年	62. 6 .27(土)	辻 旅 館 (江 差)

■ローターアクトクラブ

ク ラ ブ 名	周 年	日 時	会 場
室 蘭 R A C	創立15周年	61. 8 .24(日)	室 蘭 プ リ ン ス ホ テ ル
函 館 R A C	創立10周年	61. 9 . 6 (土)	函 館 国 際 ホ テ ル
札 幌 西 R A C	創立15周年	61.10. 5 (日)	共 済 サ ロ ン (札 幌)
岩 内 R A C	創立10周年	62. 4 .26(日)	ホ テ ル う き よ (岩 内)

■インターアクトクラブ

ク ラ ブ 名	周 年	日 時	会 場
函館ラ・サール I A C	創立20周年	61.10.27(月)	ホ テ ル ア カ シ ヤ (函 館)

(4) 物故会員(1986.7.1~1987.6.30)

氏 名	クラブ名	ご逝去年月日	行 年	ロータリー歴
木 原 菊 男	美 唄	1986年 7 月29日	58 才	1973年 5 月入会
池 田 正 明	岩 内	〃 8 月19日	50 才	1973年10月 〃
神 部 和 典	滝 川	〃 8 月31日	51 才	1976年 1 月 〃
大 竹 幸次郎	七 飯	〃 9 月 1 日	75 才	1970年 4 月 〃
伊 藤 信	札 幌	〃 9 月 1 日	37 才	1985年 1 月 〃
加 藤 三 義	札 幌 南	〃 9 月 3 日	68 才	1982年 4 月 〃
伊 藤 外 一	札幌真駒内	〃 10月20日	74 才	1982年11月 〃
森 田 博	苫小牧北	〃 10月20日	56 才	1978年 7 月 〃
川 田 稔	小 樽	〃 10月26日	78 才	1938年 3 月 〃
鈴 木 栄 寿	登 別	〃 11月17日	43 才	1985年 9 月 〃
有 坂 隆 祐	札 幌 南	〃 11月27日	70 才	1958年 2 月 〃
鈴 木 松 雄	留 萌	〃 12月17日	62 才	1981年 7 月 〃
松 井 修 一	札 幌 東	1987年 1 月19日	60 才	1972年 7 月 〃
伊 達 廉 夫	伊 達	〃 1 月28日	81 才	1964年 1 月 〃
藤 原 祥 三	静 内	〃 3 月15日	59 才	1973年11月 〃
木 村 穆	北 広 島	〃 3 月19日	51 才	1980年 4 月 〃
上 出 一 雄	函 館 東	〃 3 月25日	75 才	1977年 4 月 〃
北 岡 体 一	千 歳	〃 4 月 7 日	73 才	1969年 2 月 〃
坂 牛 直太郎	小 樽	〃 4 月25日	95 才	1933年12月 〃
細 川 信 蔵	恵 庭	〃 6 月 2 日	68 才	1987年 4 月 〃
山 賀 勇	小 樽	〃 6 月 6 日	81 才	1957年 7 月 〃
中 村 清一郎	苫小牧	〃 6 月20日	92 才	1957年 1 月 〃
平 田 二 吉	札 幌 南	〃 6 月23日	64 才	1973年 1 月 〃

(敬称略)

(5) 地区内各月実施行事内容

月	日	曜	行	事	会	場
1986年 6	13	金	第1回情報資料室会議		ガバナー・エレクト事務所	
	14	土	第1回ポリオ・プラス委員会		センチュリーローヤルホテル(札幌)	
			第1回諮問委員会		〃	
			第1回世界社会奉仕委員会		札幌国際ホテル	
	15	④	第1回分区分代理・地区委員長合同会議		〃	
7	8	火	第1回青少年交換委員会		札幌国際ホテル	
	10	木	地区役員会		ガバナー事務所	
	19	土	ローターアクト地区運営委員会		京王プラザホテル札幌	
	20	④	ローターアクト提唱クラブ委員長会議		共済サロン(札幌)	
			第2回分区分代理会議		〃	
	22	火	地区役員会		ガバナー事務所	
			ロータリー財団、ポリオ・プラス合同委員会		北海道防災センタービル(札幌)	
	25	金	第255地区・第251地区インターアクト交歓会		アサヒビール百景園(札幌)	
	27	④	1987～88年度派遣交換学生選考試験		ベテル英語センター(札幌)	
8	1	土	オーストラリア交換学生チミケップキャンプ参加(～6日)		共済サロン(札幌)	
	6	木	オーストラリア交換学生第250地区研修旅行(～10日)			
	9	土	アメリカ・カナダ派遣交換学生オリエンテーション			
			アメリカ・カナダ交換学生ホスト・クラブ、ホスト・スクール、ホスト・ファミリーオリエンテーション			
	11	月	第1分区分会員増強委員長会議		富久元(留萌)	
	13	水	地区役員会		ガバナー事務所	
	14	木	アメリカ・カナダ派遣交換学生壮行会		共済サロン(札幌)	
	16	土	第2回世界社会奉仕委員会		北海道厚生年金会館(札幌)	
	19	火	第2分区分会員増強会議		都会館(芦別)	
	20	水	第10・11分区分合同会員増強委員長会議		五島軒駅前支店(函館)	
	22	金	第4分区分会員増強委員長会議		三越デパート(札幌)	
	23	土	アメリカ・カナダ交換学生到着		室蘭プリンスホテル	
			アメリカ・カナダ派遣交換学生出発			
	24	④	室蘭RAC創立15周年記念式典			
	25	月	第2回情報資料室会議			
	26	火	第5分区分会員増強会議			
	31	④	妹背牛RC創立20周年記念式典		札幌ローヤルホテル	
9	4	木	地区役員会		妹背牛町公民館	
	5	金	アメリカ・カナダ交換学生オリエンテーション		ガバナー事務所	
	6	土	函館RAC創立10周年記念式典		共済サロン(札幌)	
			地区大会分科会合同会議		函館国際ホテル	
	13	土			センチュリーローヤルホテル(札幌)	

月	日	曜	行	事	会	場
9	16	火	第1回広報委員会		札幌グランドホテル	
	19	金	地区役員会		ガバナー事務所	
	21	㊤	第2回諮問委員会・第1回ガバナー指名委員会		センチュリーローヤルホテル(札幌)	
10	5	㊤	札幌西RAC創立15周年記念式典		共済サロン(札幌)	
			1987～88年度ロータリー財団奨学生面接試験		ホテルアカシヤ(札幌)	
	6	月	伊藤善久RI日本支局職員来道(～10日)			
	8	水	大橋章一RI会長代理ご夫妻歓迎夕食会		札幌パークホテル	
	9	木	地区大会親睦ゴルフ大会		クラーク・カントリークラブ(札幌)	
			〃 会長・幹事懇談会		札幌パークホテル	
	10	金	〃 本会議		北海道厚生年金会館(札幌)	
			〃 記念大懇親会		札幌パークホテル	
	11	土	〃 朝食会		札幌第一ホテル	
			〃 本会議		北海道厚生年金会館(札幌)	
11	18	土	インターアクト年次大会(～19日)		札幌オリンピック手稲山	
	21	火	地区役員会		記念ランド研修センター	
	23	木	室蘭RC創立50周年記念式典		ガバナー事務所	
	27	月	函館ラ・サール高等学校IAC創立20周年記念式典		室蘭プリンスホテル	
					ホテルアカシヤ(函館)	
11	1	土	第2回青少年交換委員会		ベテル英語センター(札幌)	
			1987～88年度ロータリー財団奨学生第1回オリエンテーション		ホテルアカシヤ(札幌)	
			ローターアクト年次大会(～2日)		ローヤル(伊達)	
	8	土	RA五大学交流会		ホテルサンプラザ(岩見沢)	
	12	水	地区役員会		ガバナー事務所	
	13	木	GSE委員会		〃	
12	14	金	「ファースト・アース・ラン」聖火到着歓迎式典		京王プラザホテル札幌	
	21	金	地区役員会		ガバナー事務所	
	3	水	増強・拡大打ち合せ会		センチュリーローヤルホテル(札幌)	
			第3回諮問委員会		〃	
			第2回ガバナー指名委員会		〃	
12	9	火	地区役員会		ガバナー事務所	
	18	木	新春鼎談		センチュリーローヤルホテル(札幌)	
	23	火	地区役員会		ガバナー事務所	
	26	金	第3回青少年交換委員会		札幌ローヤルホテル	
			1986～87年度オーストラリア交換学生送別会		〃	
1987年 1	5	月	地区役員会		ガバナー事務所	
	13	火	オーストラリア交換学生受け入れ協議会		共済サロン(札幌)	
			第4回青少年交換委員会		〃	

月	日	曜	行 事	会 場
1	17	土	第1回米山記念奨学会委員会 米山奨学生を囲む懇談会	センチュリーローヤルホテル(札幌)
	22	木	地区役員会	ガバナー事務所
	24	土	第3回分区代理会議(～25日) 第1回インターアクト委員会	定山溪グランドホテル(札幌) 法華クラブ(札幌)
	27	火	第3回世界社会奉仕委員会	北海道防災センタービル(札幌)
	31	土	第5回青少年交換委員会	ベテル英語センター(札幌)
2	1	㊤	R A グラム研修旅行団結団式	(株)日本旅行営業本部
	2	月	地区役員会	ガバナー事務所
	4	水	第4回諮問委員会 坂本ガバナー・ノミニー国際協議会壮行会	札幌国際ホテル
	5	木	韓国(第370地区)ローターアクター歓迎レセプション	ホテルアカシヤ(札幌)
	6	金	第5回青少年交換委員会 オーストラリア交換学生オリエンテーション オーストラリア交換学生・第250地区受け入れ交換学生合同歓迎会	センチュリーローヤルホテル(札幌)
	8	㊤	R A グラム島研修旅行(～12日)	
	9	月	地区役員会	ガバナー事務所
	10	火	第2回インターアクト委員会	葵亭(札幌)
	13	金	ロータリー財団・ポリオ・プラス合同委員会	共済サロン(札幌)
	15	㊤	第10・11分区合同 I G F	森町福祉センター
	18	水	地区役員会	ガバナー事務所
	22	㊤	第7分区 I G F	恵庭市民会館
	26	木	地区役員会	ガバナー事務所
	28	土	オーストラリア派遣交換学生オリエンテーション及び壮行会	共済サロン(札幌)
3	6	金	地区役員会	ガバナー事務所
	8	㊤	第9分区 I G F	室蘭プリンスホテル
	10	火	第6回青少年交換委員会	札幌第一ホテル
	13	金	地区役員会	ガバナー事務所
	15	㊤	第3分区 I G F	岩見沢文化センター
	22	㊤	1987年度米山奨学生選考会	札幌パークホテル
	23	月	1987～88年度ロータリー財団奨学生第2回オリエンテーション	ホテルアカシヤ(札幌)
	25	水	レイ・フィールズ第510地区青少年交換委員ご夫妻来札歓迎会	札幌国際ホテル
4	28	土	第6分区 I G F	北海ホテル(小樽)
	4	土	アメリカ・カナダ交換学生第250地区第5分区 I G F 参加(～6日)	
	5	㊤	クラブ会長エレクト研修セミナー	ホテル新札幌
	6	月	地区役員会	ガバナー事務所

月	日	曜	行	事	会	場
4	11	土	第4・5分区合同 I G F		札 幌	ロ ー ヤ ル ホ テ ル
	13	月	札幌市内 R C カパラス R I 会長歓迎合同例会		札 幌	パ ー ク ホ テ ル
	18	土	第7回青少年交換委員会		札 幌	国 際 ホ テ ル
			1986～87年度オーストラリア派遣学生帰国歓迎会			〃
	21	火	札幌西北 R C 創立10周年記念式典		札 幌	プ リ ン ス ホ テ ル
	23	木	第1回青少年奉仕委員会		センチュリーローヤルホテル(札幌)	
	26	㊥	岩内 R A C 創立10周年記念式典		ホ テ ル	う き よ (岩 内)
	27	月	第16回ロータリー研究会実行委員会		札 幌	パ ー ク ホ テ ル
			第3回ガバナー指名委員会			〃
	30	木	1987～88年度ロータリー財団奨学生第3回オリエンテーション		ホ テ ル	ア カ シ ヤ (札 幌)
5	6	水	地区役員会		ガ バ ナ ー	事 務 所
	9	土	地区協議会前夜懇談会		札 幌	国 際 ホ テ ル
	10	㊥	地区協議会		共 済	サ ロ ン (札 幌)
			アメリカ・カナダ交換学生函館研修旅行(～12日)			
	15	金	1987年度米山奨学生オリエンテーション		札 幌	国 際 ホ テ ル
	16	土	岩内 R C 創立25周年記念式典		ホ テ ル	う き よ (岩 内)
			交換学生受け入れ高校懇談会		共 済	サ ロ ン (札 幌)
			第3回インターアクト委員会		法 華	ク ラ ブ (札 幌)
	17	㊥	第2分区 I G F		芦 別	福 祉 セ ン タ ー
	24	㊥	第8分区 I G F		え り も 町	福 祉 セ ン タ ー
			第15回ローターアクト地区協議会		室 蘭	文 化 セ ン タ ー
	26	火	第4回ガバナー指名委員会		センチュリーローヤルホテル(札幌)	
	31	㊥	苫小牧 R C 創立30周年記念式典		ホ テ ル	ニ ュ ー 王 子 (苫 小 牧)
6	1	月	地区役員会		ガ バ ナ ー	事 務 所
	4	木	1986～87年度アメリカ・カナダ交換学生送別会		共 済	サ ロ ン (札 幌)
	19	金	1987～88年度ロータリー財団奨学生壮行会		ホ テ ル	ア カ シ ヤ (札 幌)
	20	土	R A 五大学交流会		ホ テ ル	函 館 ロ イ ヤ ル
	21	㊥	第1分区 I G F		留 萌	中 央 公 民 館
			インターアクト1日研修会(地区協議会)		札 幌	商 業 高 等 学 校
	22	月	青少年指導育成研修会打ち合せ会		センチュリーローヤルホテル(札幌)	
	28	㊥	青少年指導育成研修会		大 同	生 命 ビ ル (札 幌)
	29	月	地区役員会		ガ バ ナ ー	事 務 所
7	2	木	インターアクト顧問教師第255地区研修旅行(～4日)			

(6) 表彰

■ R I 会長賞

留萌クラブ
美唄クラブ
札幌クラブ
札幌手稲クラブ
札幌真駒内クラブ
倶知安クラブ
小樽クラブ
蘭越クラブ
千歳クラブ
北広島クラブ
苫小牧北クラブ
三石クラブ
静内クラブ
室蘭北クラブ

■ R I 世界社会奉仕プロジェクト特別賞

札幌西クラブ

■ 地区表彰

●《永年100%出席者》

35年（1名）

〔小樽〕堀岡清

30年（5名）

〔芦別〕野口恂〔札幌南〕秋山宏、多田久志
〔函館〕杉野幸七〔函館東〕大鎌政雄

25年（19名）

〔留萌〕東典俊〔滝川〕中田治巳〔岩見沢東〕
安井辰雄〔札幌西〕川守田勇一〔札幌南〕和田
庄太郎〔札幌東〕福山達彦、名塩良一郎〔岩内〕
広田満男〔小樽〕井上清、角江哲雄〔小樽南〕

猪股昌介〔伊達〕木幡圭三、国本亮太郎〔室蘭〕
佐藤善弘、栗林徳光〔室蘭東〕市来仲、前田忠
蔵〔函館〕松田照住〔函館五稜郭〕庄司正保

20年（34名）

〔妹背牛〕江幡一雄、藤原康男〔留萌〕加藤勝
広、久保田八十八、沢井定七〔赤平〕高橋竹次
西沢良知、森茂〔滝川〕吉田英治〔岩見沢東〕
亀田富三〔札幌〕半澤道郎、林英夫〔札幌西〕
平佐忍、市原博〔札幌南〕中村康、竹山涼一
〔札幌東〕三浦寅夫〔札幌幌南〕今崎孝俊、友寄
英正、見上権治郎、金野茂、高木繁光〔小樽〕
高橋政幸〔小樽南〕西信博〔苫小牧〕須飼康綱
〔浦河〕藤井正〔伊達〕小笠原栄一〔函館〕大
総一郎、深瀬寛、能登幸恵、小野俊男〔函館東〕
杉本力夫〔函館北〕宮崎英一、下郡山信一

15年（89名）

〔留萌〕越野俊興、香城芳麿、松本孝一、平井
誠治、菊田富夫、松原照雄、川合正修、中本昭
雄、渡部英次、福田信也〔赤平〕北野正昭、相
馬寛〔砂川〕佐藤忠蔵、山下昭治〔滝川〕安彦
清、坪谷六郎〔江別〕細田正次、雉子谷松次、
鍋島清二、西照夫〔岩見沢東〕竹山俊男〔札幌〕
伊藤太郎、加森公人〔札幌西〕金本正、遠藤章、
畠山三代喜〔札幌手稲〕石田誠、小畑藤五郎、
乙黒定七、鈴木義雄〔札幌北〕原田州人、金岡
祐一、金田弘夫、加藤博吉、近藤良一、森川文
太郎、村川舜一、長村和雄、佐藤一郎、高原一
雄〔札幌南〕今井三男、伊藤孝〔札幌東〕藤田
八束、村山富夫、野村昭光、山口進、吉島貞男
〔札幌幌南〕丸山進弘、沢田清一、江指栄太郎
〔岩内〕篠崎俊雄、佐藤信義〔倶知安〕田尻文
雄〔小樽〕長谷川重春、板谷宮吉〔小樽南〕唐
橋宥、駒木喬〔余市〕石垣彰一、古江英吉〔千
歳〕中浦忠男、斉藤弘、加藤武仁、丹治秀一
〔恵庭〕小原健栄、伊藤進〔苫小牧〕斑目広行
宮崎善夫、吉鶴松生〔苫小牧北〕山田正喜、杉

浦英城、川端納、伊藤竹雄〔静内〕岡本弘〔伊達〕山崎満晴〔室蘭〕青木春雄〔室蘭東〕板田松市〔室蘭北〕太田泰正〔登別〕石山春男、伊奈昭夫、村上忠雄、堅田勇〔函館〕池見厚一〔函館亀田〕松崎和夫〔長万部〕加藤忠助、横手正夫、米林仁行〔函館五稜郭〕奥山三雄〔函館東〕島田栄一〔函館北〕椎谷龍彦

10年（90名）

〔妹背牛〕村上正明、野寺繁信、高橋靖了〔留萌〕東昇、東一俊、鈴木隆雄、石川登喜雄〔赤平〕神山寛郎、渋谷俊彦〔砂川〕岩田晟、沖中馨、菅野啓一、吉田邦雄〔滝川〕石元幸男、今野陽一、村尾稔〔美唄〕藤井俊一、後藤三雄、三浦由魏、中込茂、関宏、竹松洋〔当別〕土岐楸、大越利之、佐藤盛男、下段寿之〔札幌〕藤沼福雄、堀寛〔札幌西〕振吉巳歳男、片山竹男、松山壽壺朗、守田利浩、大金武夫〔札幌手稲〕阿部弘、飯田英年、築山一三〔札幌北〕北村博稔、中島昌八〔札幌西北〕原芳男、小泉正造、森本正夫、須田清勝、菅原孝悦、竹林照格、多米豊、富岡公治〔札幌南〕岩城秀晴、沢田直俊、佐藤幸信〔札幌東〕伊藤光治、小野道男、塚原房樹、小柴求〔札幌幌南〕金山富晴、高田春夫、富田保、近藤浩〔札幌真駒内〕林下忠雄〔新札幌〕清水高〔倶知安〕原実、中野隆司〔小樽〕川村治男、神野昭治、伊藤保彦〔小樽南〕浜口貞雄、中川武弥、大島昭夫〔蘭越〕藤澤辰雄〔余市〕森杉夫、佐藤隆、荒木雅〔千歳〕井上正雄〔苫小牧〕遠藤重明〔苫小牧北〕高田鉄男、阿部政好〔静内〕奥野七郎〔室蘭〕原田喜市郎、奈良守房、寺尾幸正〔室蘭東〕小野瀬宏勝〔室蘭北〕熊谷弘夫〔洞爺湖〕斉藤武司〔函館〕阿部幸太郎、金子宏〔函館亀田〕西川忠弘〔長万部〕北川武雄〔函館五稜郭〕佐藤康夫〔函館北〕安藤勝見、伊藤康男、三沢洋大

（計 268名）

- 《スター・フェロー》
14名（47ページ参照）
- 《ポール・ハリス・フェロー》
121名（47ページ参照）
- 《ポール・ハリス・準フェロー》
67名（48ページ参照）
- 《メモリアル・コントリビューター》
2名（48ページ参照）
- 《ポリオ・プラス協力法人》
5法人（48ページ参照）
- 《ロータリー財団貢献優秀クラブ》
赤平クラブ
浦河クラブ
小樽銭函クラブ
函館クラブ
札幌真駒内クラブ
札幌東クラブ
札幌北クラブ
札幌クラブ
苫小牧北クラブ
函館亀田クラブ
- 《米山功労クラブ》
9クラブ（54ページ参照）
- 《米山功労者》
29名（54ページ参照）
- 《出席優秀（年間100%）クラブ》
留萌クラブ
砂川クラブ
室蘭東クラブ
函館五稜郭クラブ

■地区ガバナー特別表彰

●《会員増強優秀10クラブ》

岩見沢東クラブ、三石クラブ、恵庭クラブ
美唄クラブ、千歳クラブ、札幌真駒内クラブ、松前クラブ、苫小牧北クラブ、新札幌クラブ、倶知安クラブ、羽幌クラブ

●《奉仕活動優秀クラブ》

羽幌クラブ、留萌クラブ、岩内クラブ

●《ポリオ・プラス計画貢献優秀3クラブ》

浦河クラブ、札幌北クラブ、美唄クラブ

●《青少年奉仕活動優秀クラブ》

余市クラブ、洞爺湖クラブ、函館亀田クラブ

●《高齢者奉仕活動優秀クラブ》

札幌南クラブ、小樽クラブ、苫小牧北クラブ

●《インター・ローター提唱クラブ》

岩見沢クラブ、札幌幌南クラブ

●《ホームクラブ出席優秀(永年100%)者》

30年以上（1名）

〔室蘭〕尾道孝章

25年以上（5名）

〔赤平〕長谷川芳晴〔芦別〕野口恂、中野重雄

〔岩内〕平野了〔室蘭〕佐藤善弘

20年以上（7名）

〔妹背牛〕江幡一雄〔岩見沢東〕山田功〔倶知安〕名畑暢夫、中井宏治〔室蘭〕拓植重夫〔森〕鎌田忠、村上栄一

15年以上（21名）

〔留萌〕富山惟夫〔芦別〕吉村外茂二、大崎克彦、久保邦夫〔岩見沢〕河瀬登、三嶋茂雄〔岩

見沢東〕安井辰雄〔小樽南〕太田秀夫〔苫小牧〕吉鶴松生〔苫小牧北〕田辺信夫〔えりも〕西川周三、坂田達、川村貫一、芹恭信〔室蘭〕阿部昭治、上田智夫〔洞爺湖〕朝倉英隆、三浦昭三、岡村興二〔森〕川村伊佐男、吉田清吾

10年以上（26名）

〔小平〕木下昭一〔留萌〕石川健治、金森邦輝〔赤平〕森茂、相馬寛、柿沼利雄〔芦別〕岩間珠一、関口孝八、折内義道、依本蕃、大鎌幸雄、森沢勲、川島昭二、橋浦弘〔岩見沢〕牧陽一〔札幌〕小原啓三郎〔恵庭〕村上利雄〔室蘭〕鴨井清成、早坂勝美、大橋庄一、幸松清〔洞爺湖〕秋田昌昭、阿野康春、西村勝治、斉藤武司、若狭幸蔵

（計 60名）

(7)『ガバナー月信』各号の主な内容



RI会長メッセージとプロフィール
第251地区ガバナー挨拶とプロフィール
直前ガバナー・役員への感謝のことは
地区大会ご案内
地区資金予算書

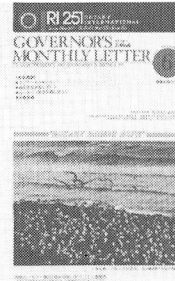


ガバナー・メッセージ
「奉仕」について

ガバナー公式訪問日記抄〈その2〉
ロータリー村落共同体の創設に当って
意義ある業績賞
第251地区年次大会速報
米山月間・職業奉仕月間に当って
1987年度米山奨学生募集のお知らせ
ロータリー財団月間に向けて
ポリオ・プラス寄付の免税措置について
第6回全国ロータリークラブ野球大会
災害急報
地区世界社会奉仕委員会の活動計画



ガバナー・メッセージ
希望の第一歩を（新年度の重点目標）
地区を支える人々
第251地区組織図とクラブ会長・幹事



ガバナー・メッセージ
地区大会を願ひて

ガバナー公式訪問日記抄〈その3〉
年次大会レポート
災害急報
ロータリー財団月間に因んで



ガバナー・メッセージ
エバンストンを訪ねて
青少年活動月間に向けて
ポリオ・プラス・プログラムについて
地区大会へのお誘い
RI会長賞プログラム
第24回RI親睦ゴルフ大会開催について



ガバナー・メッセージ
公式訪問を終えて

ガバナー公式訪問日記抄〈その4〉
ポリオを知ろう
ファースト・アース・ラン
世界理解月間に向けて
地区青少年交換委員長全国会議の報告
災害急報
1987年ミュンヘン国際大会



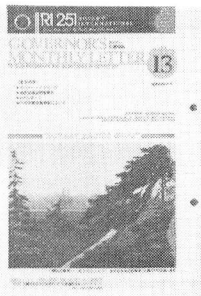
ガバナー・メッセージ
公式訪問に思う
ガバナー公式訪問日記抄〈その1〉
RI会長メッセージ
我らの年度に希望の花を
青少年活動月間に因んで
米山月間に向けて
職業奉仕月間に向けて
ユニセフ創立40周年記念テレホンカード40
災害急報
会員増強レポート



ガバナー・メッセージ
新しい年を迎えて
—公式訪問を終えて—その2
新春ロータリー座談会
日韓親善会議へ参加を！
RI第370地区（韓国）ロータリーアクト歓迎レセプション
IGFについて
世界理解月間に向けて
ポリオ・プラス講演者幹旋所開設
1987年度米山SY奨学生募集のお知らせ
第24回RI親睦ゴルフ大会参加者再募集
1985～86年度地区資金収支決算書



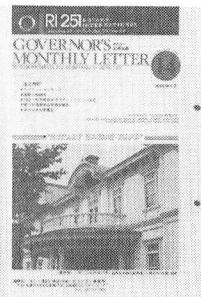
ガバナー・メッセージ
世界理解月間に寄せて
世界理解活動の実践
ロータリー創立記念日を迎えて
地区米山委員会と奨学生を囲む懇談会
災害急報
ロータリー財団奨学生申請についてのお知らせ
250・251地区交換学生合同歓迎会レポート



ガバナー・メッセージ
有終の美
地区協議会報告
IGFレポート(第2・8分区)
交換学生からのお便り
1987年度米山奨学生オリエンテーション
交換学生受け入れ高校担当者との懇談会を終えて
1986~87年度RI会長賞受賞申請について



ガバナー・メッセージ
ポリオ・プラス計画について
RAグアム島研修旅行レポート
IGFレポート(第7・10・11分区合同)
ポリオ・プラス特別月周に因んで
雑誌月周に向けて



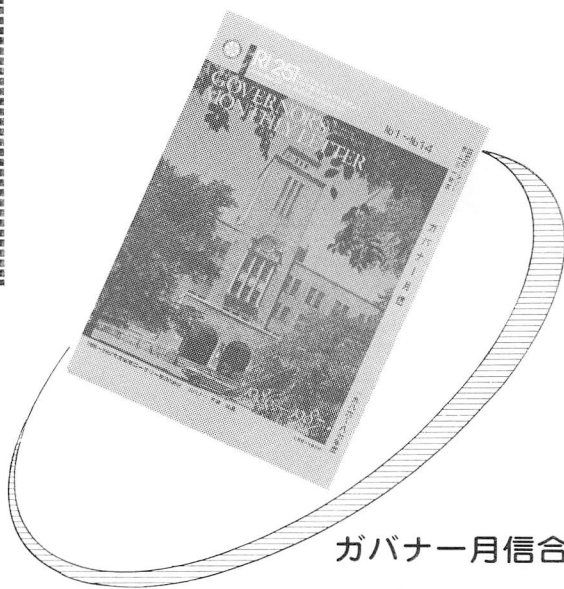
ガバナー・メッセージ
任務を終えて
ミュンヘン1987年国際大会報告
大橋康次君ガバナー・ノミニーに決定
IGFレポート(第1分区)
日本ポリオ・プラス委員会報告
第24回IGFRに参加して
青少年指導育成研修会を終えて
任務を終えて
年次大会収支決算報告
グラフィック・メモリー1986~87



ガバナー・メッセージ
私のロータリー
—雑誌月周に思う—
第4回日韓親善会議
クラブ会長エレクト研修セミナー報告
IGF(第9・3・6分区)
災害急報
レイ・フィールズ氏ご夫妻歓迎会
高齢者に対する奉仕活動
1987~88年度第251地区分区代理
クラブ会長・幹事ご紹介



ガバナー・メッセージ
IGFについて
坂牛バスト・ガバナーを偲んで
カバラスRI会長歓迎合同例会
IGFレポート(第4・5分区合同)
1987~88年度交換学生募集のお知らせ
財団奨学生からのお便り
ロータリー青少年指導育成研修会のお知らせ



ガバナー月信合本
(No.1~No.14)

(8) 地区刊行物について

1986～87年度に地区として刊行した主な印刷物は以下の通りです。

- 地区名簿
- ガバナー月信 No.1～No.14
- 情報資料室スライド・フィルム・参考図書貸し出しリスト
- 情報資料室ニュースNo.1～No.6、号外1部、資料特集1部
- 地区協議会記録
- ロータリー財団月間資料
- 地区年次大会記録
- ロータリー青少年指導育成研修会資料
- ガバナー月信合本
- 情報資料室ニュース合本
- FELLOW No.4 (1987年9月刊行)
- 交換学生帰朝報告 (1987年9月刊行)
- REX名簿 第4版 (1987年9月刊行)
- ローターアクト年次大会報告書 (1987年9月刊行)
- ローターアクトグァム島研修旅行感想記 (1987年9月刊行予定)

(9) そ の 他

■ 会員増強目標カード

マット・カパラス R I 会長提唱による「会員増強誓約書」は「会員増強目標カード」と標題を変えて各ロータリアンからクラブを通じ提出されたものを R I 本部へ送付した。

■ マット・カパラス R I 会長の「希望をもたらす X'mas カード」

カパラス R I 会長はロータリアンでない人々に希望のメッセージをもたらす「Season's Greetings」を作成された。

このクリスマスカード (封筒付・20枚入り、1箱7ドル) は、裏面にロータリアンが世界中の何百万という人達に希望をもたらす方法が記載されている。当地区ではこれを各クラブに購入依頼方を要請した。

■ 第24回国際ロータリー親睦ゴルフ大会 (I.G.F.R.)

開催日 1987年5月25日～29日

開催地 川奈ホテル・ゴルフコース (静岡)

参加人員 15ヶ国、約180名

当地区参加者 (ガバナー推薦)

灰野 篁 (札幌北)

中島 昌八 (札幌北)

■ 第6回全国ロータリークラブ野球大会

開催日 1987年5月30日(土)～31日(日)

1987年6月20日(土)～21日(月)

開催地 甲子園球場並びに浜田阪神球場

参加クラブ数 19地区、29クラブ

当地区参加クラブ

伊達 R C (第9分區)

■ R I 日本支局・伊藤善久氏来訪

R I 日本支局スーパーバイザー・伊藤善久氏が、各クラブ活動の実際を学ぶと共に日本支局の職務の理解を深めることを目的として来道、当第251地区を訪問された。札幌地区では市内10クラブの会長・幹事並びに地区役員が出席し、懇談会が開催された。

と き 1986年10月6日(月)

ところ 札幌パークホテル

参加者 札幌市内各クラブ会長・幹事、地区役員、その他

その他室蘭地区、函館地区においても同様の懇談会がもたれた。

■スライド「ポリオ・プラスーわれらの挑戦」

河邨文一郎パスト・ガバナーがスライド「ポリオ・プラスーわれらの挑戦」を作成され、地区情報資料室に備えつけて貸し出したが、地区外からも要望が多く、スライド1組14,000円にて頒布した。

■R I 会長よりガバナーに感謝状

年度終了後、カパラスR I 会長より三浦ガバナーに“国際ロータリーへの奉仕”に対する感謝状が贈られた。

(10) ガバナー事務所

1985年11月1日、ガバナー・ノミニー事務所として開設。1986年7月1日よりガバナー事務所となり、1987年6月30日をもって次期ガバナー事務所に引き継ぎ、残務整理の後、9月30日事務所を閉鎖した。

事務所所在地

〒001 札幌市北区北10条西4丁目
北海道防災センタービル1F
☎(011)757-3333

ガバナー	三浦	祐晶
地区幹事	秦泉寺	寛
地区副幹事	近藤	良一
〃	金田	弘夫
〃	葛西	克巳
〃	堀居	信次
〃	越山	文哉
地区資金委員長	加藤	高正
地区会計	茂木	常一
事務局員	松本	久美子

